NEC

Aterm® WDR85FH

Aterm® WDR85FH ワイヤレスLANベース

Aterm® WDR85FH ワイヤレスLANセット カードタイプ

Aterm® WBR75H

Aterm® WBR75H ワイヤレスLANベース

Aterm® WBR75H ワイヤレスLANセット カードタイプ

取扱説明書

「ソフトウェアのご使用条件」は、11ページに記載されています。添付CD-ROMを開封する前に必ずお読みください。

マニュアル構成

本装置のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。

つなぎかたガイド（小冊子）

基本的な接続パターンを例にインターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。

取扱説明書（本書）

Aterm WARPSTARの基本機能についての説明書です。

機能詳細ガイド（CD-ROM:HTMLファイル）

本書には記載されていない、Aterm WARPSTARのより詳細な機能について解説しています。

用語解説（CD-ROM:HTMLファイル）

本書で使われている用語や、Aterm WARPSTARを活用するために知っておきたい用語の解説を五十音順で検索することができます。

お困りのときには（CD-ROM:HTMLファイル）

Aterm WARPSTARの利用中にトラブルが起きたときの対処法について問題の種類で検索して読むことができます。

※CD-ROMの操作方法について（☛本書P10「電子マニュアルの見かた」）

※ユーティリティの対応OSは、Windows® XP／2000 Professional／Me／98（日本語版）、Macintosh 8.6J／9.0J／9.1J／9.2J／X（クラシックモード）です。ただし、対応OSで使用される場合でもお客様が使用されているパソコンの環境などによっては、すべての動作を保証するものではありません。また、対応OS以外でご使用される場合は、動作の保証はいたしませんのであらかじめご了承ください。また、クイック設定WebはInternet Explorer 4.0以降、Netscape Communicator 4.0以降、Net Front for ⊿が動作可能な装置から利用することができます。

本書の見かた

必要に応じて、以下の順番でお読みください。また本書をご覧になる前に、別紙「つなぎかたガイド」をぜひご覧ください。

1章.はじめにお読みください

WARPSTARでできることや、ご使用になる前に知っておいてほしいことを記載しています。最初に必ずお読みください。

2章.WARPSTARに接続しよう

WARPSTARを設置して、回線に接続します。

3章.パソコンを接続しよう

パソコンを接続し、必要な設定を行います。

4章.回線の選択とWARPSTARの設定をしよう

インターネット接続するための設定をらくらくアシスタントで行います。

5章.アクセスマネージャを使ってインターネットに接続しよう

アクセスマネージャでインターネットに接続します。

6章.クイック設定Webで設定する

インターネット接続までのWARPSTARの設定をブラウザで行います。ETHERNETポート接続の場合には、ケーブル接続後、利用ができます。それ以外のポート接続でも、ドライバ等のインストール後利用ができるようになります。

7章.WARPSTARのセキュリティ機能について

必要に応じてセキュリティの設定を行います。

8章.WARPSTARを活用しよう

WARPSTARでお使いいただけるルータ機能について説明しています。

お知らせ

- 本書に書かれていないデータ通信機能の詳細や、「用語解説」「お困りのときには」は添付CD-ROMをご覧ください。
- 本文中では、Aterm WBR75H、Aterm WDR85FHを「WARPSTARベース」、Aterm WL11CA／WL11Uを「WARPSTARサテライト」と呼びます。

はじめに

このたびは、Aterm WARPSTAR Δ（エーターム　ワープスターデルタ）シリーズをお買い上げいただきまことにありがとうございます。
Aterm WDR85FHでは、内蔵モデムを使用してADSL網経由で、ネットワーク上のパソコンからインターネットに接続してご利用になることもできます。
Aterm WBR75Hは、ADSL/CATVブロードバンド接続やダイヤルアップ接続で、ネットワーク上のパソコンからインターネットに接続してご利用できる製品です。
「Aterm WBR75H」「Aterm WDR85FH」（以下WARPSTARベースと称します）に「Aterm WL11CA」を装着することによって、「Aterm WL11U」／「Aterm WL11CA」／「Aterm WL11E」（以下WARPSTARサテライトと称します）との間でワイヤレスで通信できます（他にWARPSTARサテライトカードタイプとしてWL11Cがありますが、本書では、WL11CAとWL11Cを総称してWL11CAと呼びます）。
本書では次のWARPSTARの設置・接続のしかたから、さまざまな機能における操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、WARPSTARを使いこなすために必要な事項を説明しています。本装置をご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

「Aterm WDR85FH」
「Aterm WDR85FH　ワイヤレスLANベース」
「Aterm WDR85FH　ワイヤレスLANセット（カードタイプ）」
「Aterm WBR75H」
「Aterm WBR75H　ワイヤレスLANベース」
「Aterm WBR75H　ワイヤレスLANセット（カードタイプ）」

ワイヤレスLANベースには、WARPSTARベースにワイヤレスで利用するための拡張スロット装着用のWL11CAを同梱しています。ワイヤレスLANセットは、WARPSTARベースに拡張スロット装着用のWL11CAとパソコン接続用のWL11CAを同梱しています。WDR85FH、WBR75Hを単体で購入された場合は、拡張カードスロット装着用のWL11CAとパソコン接続用のWARPSTARサテライトを、ワイヤレスLANベースを購入された場合は、パソコン接続用のWARPSTARサテライトをあとからご購入いただくことでワイヤレスLANをご利用になれます。

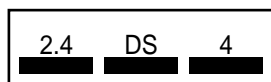
■ワイヤレス機器の使用上の注意

● 本装置は、2.4GHz 帯域の電波を使用しています。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

（1）本装置を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

（2）万一、本装置と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本装置の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

（3）その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Aterm（エーターム）インフォメーションセンターにお問い合わせください。

● 本装置は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

2.4　: 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
DS　: 変調方式を示す
4　: 想定される干渉距離が 40m 以下であること
■■■ : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

Windows® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Mac ロゴ、Macintosh は、米国 Apple Computer. Inc.の登録商標です。
iMac、Power Macintosh G3 は、米国 Apple Computer. Inc.の登録商標です。
Netscape Communicator は米国 Netscape Communications Corporation の登録商標です。
“ Play Station® ” は株式会社ソニー・コンピュータ・エンタテインメントの登録商標です。
その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

目次

「機能詳細ガイド」目次

添付 CD-ROM「ユーティリティ集」には WARPSTAR の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」が HTML ファイルで収録されています。ここではその概要を示します。電子マニュアルの見かたについては、P.10 を参照してください。

電子マニュアルの見かた

「機能詳細ガイド」や、「用語解説」、「お困りのときには」は、添付 CD-ROM（ユーティリティ集）の電子マニュアルをご覧ください。

1 パソコンを起動し、添付の CD-ROM（ユーティリティ集）を CD-ROM ドライブにセットする

Windows® の場合は、自動的にメニュー画面が表示されます。
Macintosh の場合は、［MENU］アイコンをダブルクリックすると、メニュー画面が表示されます。
ユーティリティや電子マニュアルのメニューが表示されます。

2 読みたいファイルのボタンをクリックする

※画面は Windows® の例です。

お知らせ

- 「用語解説」または「機能詳細ガイド」、「お困りのときには」をご覧になるには、WWW ブラウザがインストールされている必要があります。

ソフトウェアのご使用条件

お客様へのお願い

添付の CD-ROM を開封される前に必ずお読みください。

このたびは、弊社 Aterm シリーズをお求め頂きありがとうございます。
本製品に添付の CD-ROM には、弊社が提供する各種ユーティリティやドライバソフトウェアが含まれています。弊社が提供するソフトウェアのお客さまによるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「ＮＥＣが提供するソフトウェアのご使用条件」にご同意いただく必要がございます。

ご同意を頂けない場合は添付の CD-ROM を開封せずに、お求めになった取扱店に CD-ROM を含めた本製品一式をご返却くだされば、実際に支払われた本製品の代金をお返しします。添付の CD-ROM を開封された場合はご同意をいただけたものと致します。

ＮＥＣが提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社（以下「弊社」とします。）は、本使用条件とともに提供するソフトウェア製品（以下「許諾プログラム」とします。）を日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。なお、お客様が期待された効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

1．期間

（1） 本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付 CD-ROM を開封されたときに発効します。
（2） お客様は 1 ケ月以上事前に、弊社宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
（3） 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
（4） 許諾プログラムの使用権は、上記（2）または（3）により終了するまで有効に存続します。
（5） 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件にもとづくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、直ちに許諾プログラムおよびその全ての複製物を破棄するものとします。

2．使用権

（1） お客様は、許諾プログラムを一時に 1 台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つ Aterm シリーズに同数のコンピュータを一時に接続しご使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
（2） お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

3．許諾プログラムの複製、改変、および結合

（1） お客様は、滅失、毀損等に備える目的でのみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。

（2） お客様は、許諾プログラムの全ての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。
（3） 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

4. 許諾プログラムの移転等

（1） お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、ならびにお客様が保有する Aterm シリーズ、許諾プログラムおよびその他関連資料を全て引き渡すことを条件に、お客様は、許諾プログラムの使用権を当該第三者に移転することができます。
（2） お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。

5. 逆コンパイル等

（1） お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニア、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

6. 保証の制限

（1） 弊社は、許諾プログラムに関していかなる保証も行ないません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。
（2） 前項の規定に関わらず、お客様による本装置のご購入の日から 1 年以内に弊社が許諾プログラムの誤り（バグ）を修正したときは、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム（以下「修正プログラム」といいます。）または、かかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正プログラムまたは情報をアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量により為した場合に限ります。お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムと見なします。弊社では、弊社がその裁量により提供を決定した機能拡張のためのプログラムを提供する場合があります。このプログラムも許諾プログラムと見なします。
（3） 許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥（ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。）があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から 14 日以内にかかる日付を記した領収書（もしくはその写し）を添えて、お求めになった取扱店に許諾プログラムを返却されたときには弊社は当該記憶媒体を無償で交換するものとし（ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限ります。）これをもって記録媒体に関する唯一の保証とします。

7. 責任の制限

（1） 弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、また予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害について一切責任を負いません。また弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際にお支払いになった Aterm シリーズの代金額をもってその上限とします。

8. その他

（1） お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国から輸出してはなりません。
（2） 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

以上

安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

⚠危　険　：**人が死亡する、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。**

⚠警　告　：**人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**

⚠注　意　：**人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

STOP お願い　：**本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。**

■ 絵表示の例

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。記号の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。記号の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。記号の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警　告

設置場所

- **風呂、シャワー室への設置禁止**
  風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。

- **水のかかる場所への設置禁止**
  水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。

電源

- **商用電源以外の使用禁止**
  AC100Vの家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
  差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。

- **電源コードの取り扱い注意**
  電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
  電源コードが傷んだら、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。

電源

- **ぬれた手での操作禁止**
  ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

- **たこ足配線の禁止**
  本装置の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。

⚠ 警　告

こんなときは

● **発煙した場合**
万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

● **水が装置内部に入った場合**
万一、内部に水などが入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。

● **異物が装置内部に入った場合**
本装置の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● **電源コードが傷んだ場合**
電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。

● **破損した場合**
万一、落としたり破損した場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 警　告

禁止事項

- **本装置は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。**

- **分解・改造の禁止**
  本装置を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

- **ぬらすことの禁止**
  本装置に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。

- **ぬれた手での操作禁止**
  ぬれた手で本装置を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他のご注意

- **使用禁止区域での注意＊1**
  航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本装置の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。

- **ペースメーカを装着されている方の注意＊1**
  植込み型心臓ペースメーカを装着されている方は、本装置をペースメーカ装着部から22cm以上離して使用してください。電波により影響を受ける恐れがあります。

- **異物を入れないための注意**
  本装置の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

＊１：WBR75H、WDR85FHは、拡張カードスロットにWL11CAを挿入して、ワイヤレスLAN対応に拡張した場合。

⚠ 注　意

設置場所

● **火気のそばへの設置禁止**
本装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● **湿度の高い場所への設置禁止**
直射日光の当たるところや、温度の高いところ、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

● **油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止**
調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● **不安定な場所への設置禁止**
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

● **通風孔をふさぐことの禁止**
本装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。
・横向きに寝かせる
・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
・じゅうたんや布団の上に置く
・テーブルクロスなどを掛ける

● **横置き・重ね置きの禁止**
本装置を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。必ず添付の縦置きスタンドを使用して縦置きでご利用ください。また、本装置を壁などに近づけないでください。

● **温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本装置の内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。**

● **風通しの悪い場所への設置禁止**
本装置を風通しの悪い場所に置かないでください。風通しの悪い場所に設置すると本装置内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。

⚠ 注　意

電源

● **プラグの取扱注意**
電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● **移動させるときの注意**
移動させる場合は、本体の電源スイッチを切ったあと、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線をはずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● **アース線の取付**
万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

● **長期不在時の注意**
長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

● **電源プラグの清掃**
電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に１回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

禁止事項

● **乗ることの禁止**
本装置に乗らないでください。特に、小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

その他のご注意

● **雷のときの注意**
雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

● **取扱説明書に従って接続してください。**
間違えると接続機器が故障することがあります。

お願い

設置場所

- **本装置を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。**
  - ・ほこりや振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場合
  - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- **本装置をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。**
- **ワイヤレス親機とワイヤレス子機間で電波の届く範囲は見通しで５０～１００m 程度です。周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、距離が短くなります。＊１**
- **本装置とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。またコードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。＊１**

＊１：WBR75H、WDR85FH は、拡張カードスロットに WL11CA を挿入して、ワイヤレス LAN 対応に拡張した場合。

禁止事項

- **動作中に接続コード類がはずれたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。**
- **WARPSTAR ベースの電源を切ったあと、すぐに再び電源を入れないでください。５秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。**

日ごろのお手入れ

- **汚れたら、乾いた柔らかい布でふきとってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふきとってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。**

STOP お願い

無線LAN/USB-LANに関する注意

● **無線LANやUSB-LAN接続では、通信速度がETHERNETポートに接続した場合と比べ遅くなることがあります。**

ADSLに関する注意事項

● **通信速度は、パソコンの環境や接続プロバイダ、サーバ、接続時間帯により実際の実効速度とは異なります。**

● **ADSLを設置しているNTT局舎から設置場所までが離れている場合、あるいは十分な配線設備がない場合は、十分な通信速度が出ないか、または使用できないことがあります。**

● **設置場所の近くに幹線道路、線路、送電線、送信所など電波を発するものがある場合は、十分な通信速度が出ないか、またはADSL回線による接続が途切れることがあります。**

● **電話回線で着信があった場合は、ADSL回線による接続が途切れることがあります。**

● **近くにガス検知器等があると、十分な通信速度が出ないことがあります。**

● **次のような場合は、速度が遅くなることがあります。**
・ISDN回線などのノイズ源がある場合
・配線のルート変更で距離が伸びた場合
・電話回線の音声信号にデータを重畳させている場合
・スプリッタで分離していても配線状況が悪い場合
・テレビやパソコンのモニター、CSチューナー、BSチューナーの近くに置いた場合
・モジュラージャックからADSLモデム(＝Aterm)の距離が長い場合

● **温度による線路抵抗変化等の環境の変化があると、その環境に合わせた通信速度を保つため再トレーニングを行うことがあります。このため一時的に通信が中断することがあります。**

1 はじめにお読みください

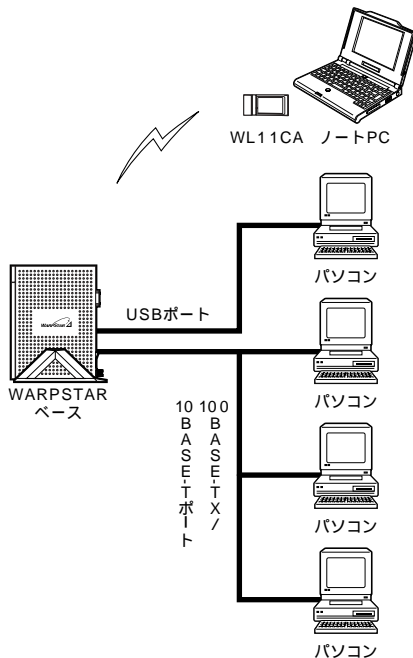
最初に必ずこの章の内容をご確認ください。

Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP operating systemの略です。
Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

1-1 WARPSTAR でできること

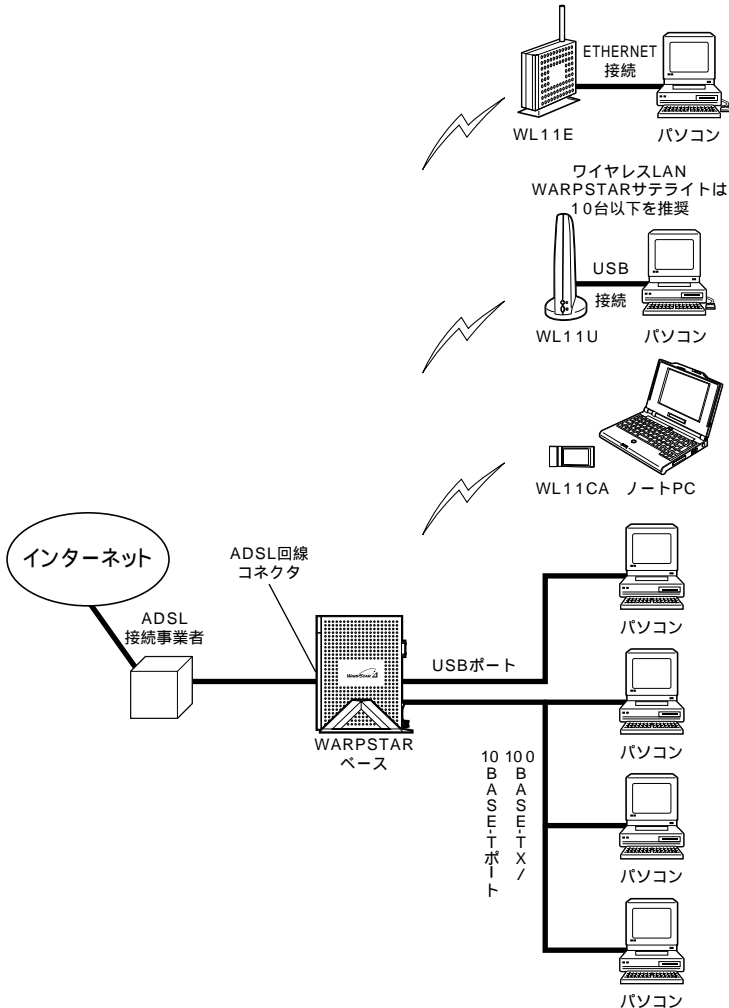
WARPSTAR は、外付け ADSL モデム／ CATV ケーブルモデムを接続してブロードバンド（ADSL/CATV 網）インターネットを利用できるブロードバンドルータです。WDR85FH は、内蔵 ADSL モデムを利用してブロードバンド網に接続できます。ここでは、ルータの仕組みや内蔵 ADSL モデムを利用したブロードバンド網への接続方法、WARPSTAR の便利な使いかたをご紹介しています。

ルータ機能

ルータは、LAN 内のデータの宛て先を監視して、データの流れを制御（ルーティング）する装置です。ルータに接続した複数台のパソコンからインターネットへの接続ができます。WARPSTAR に接続された複数台のパソコン間で LAN 機能を利用することができます。

● 100BASE-TX ／ 10BASE-T と USB-LAN 搭載

LAN 接続のためのポートとして、4 つの ETHERNET ポート（100BASE-TX ／ 10BASE-T 対応スイッチング HUB（自動切替））を搭載、さらに LAN ボードが不要な USB-LAN ポートも搭載しています。ブロードバンド接続のためのパソコンの複数接続やホームネットワークの構築にも柔軟に対応できます。
ETHERNET ポートは、パソコンだけでなく、ゲーム機なども利用可能なので、ブラウザで「クイック設定 Web」を利用して設定することで接続することができます。

内蔵ADSLモデムを使ったブロードバンドインターネット（WDR85FH）

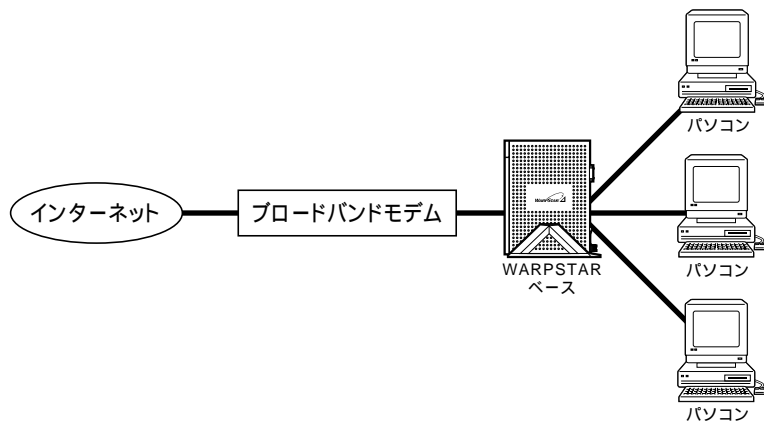
WDR85FHは、ADSLモデム内蔵のブロードバンドルータです。

●インターネット接続

ブロードバンド通信網を利用したインターネット接続ができます。

ADSLモデムが内蔵されていますので接続確認済みのADSL接続事業者と接続する場合は外付けモデムが不要です。

・接続できるブロードバンド接続事業者は、ホームページAterm Station（http://121ware.com/aterm/）にて順次ご案内いたしますので、事前にご確認ください。

外付けADSLモデム／CATVケーブルモデムでブロードバンドインターネット

FTTH／外付けADSLモデム／CATVケーブルモデムを接続してブロードバンド通信網を利用したインターネット接続ができます。
WARPSTARに接続された複数台のパソコンからインターネットに接続できます。

- **接続できるブロードバンド接続事業者は、ホームページAterm Stationにて順次ご案内いたしますので、事前にご確認ください。**
- **接続事業者によっては、WARPSTARのようなルータ機能を持つ装置の接続を制限している場合があります。ご利用にあたっては、あらかじめ接続事業者にご確認ください。**

※WDR85FHでは、内蔵ADSLモデムを使用しない設定とした場合に利用できます。

● WARPSTAR ベースの動作モード

お使いのインターネット接続回線に合わせて WARPSTAR ベースの動作モードを設定する必要があります。

・ADSL（PPPoA）モード：
　内蔵 ADSL モデムを使用して、PPPoA タイプの ADSL 接続事業者と接続する場合
・ADSL（PPPoE）モード：
　外付けの ADSL モデムを接続して、PPPoE タイプの ADSL 通信事業者と接続する場合
　内蔵 ADSL モデムでも ADSL 通信事業者が対応していれば、利用することができます。
・ローカルルータモード：
　外付けのルータタイプの ADSL モデムまたは CATV ケーブルモデムを接続して、ADSL ／ CATV 接続事業者と接続する場合

※外付けの TA ／アナログモデムを接続することによってダイヤルアップ接続との併用が可能です。ダイヤルアップ接続にはアクセスマネージャが必要です。

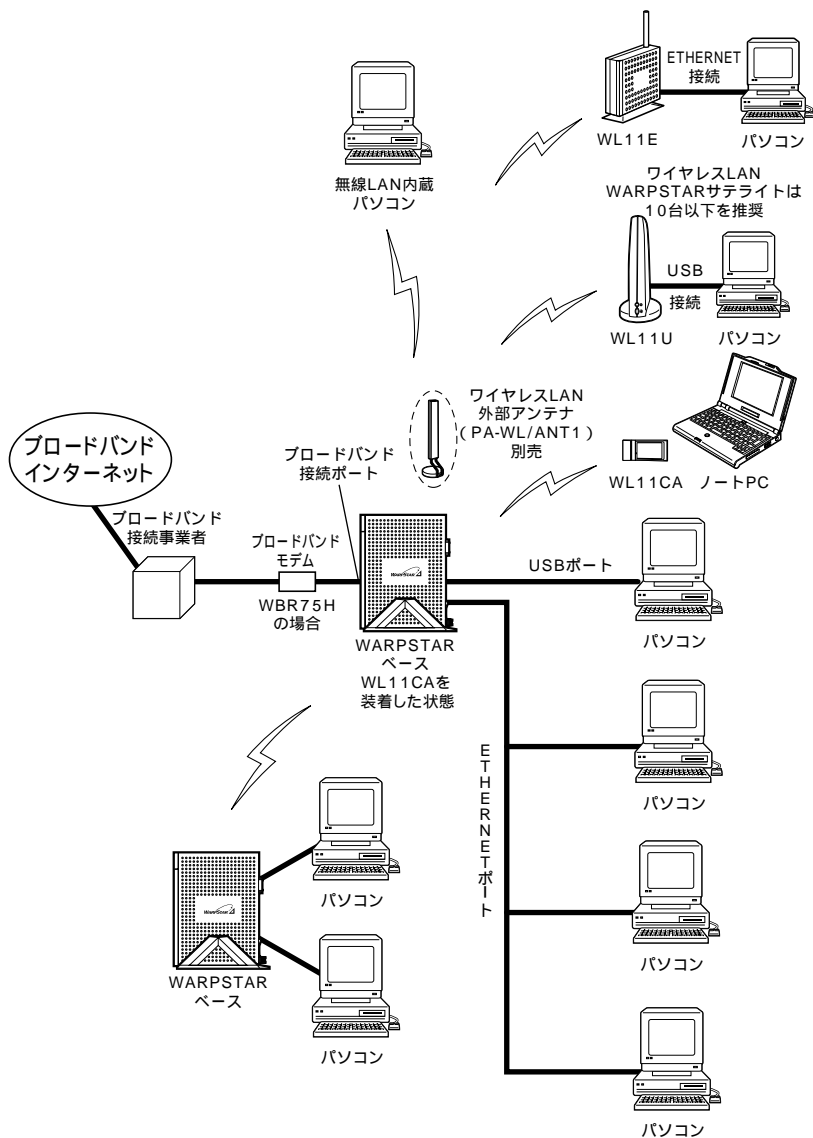
● Windows Messenger や MSN Messenger を利用する（UPnP 機能）

WARPSTAR とパソコンの UPnP 機能（Universal Plug & Play：ユニバーサルプラグアンドプレイ）を、それぞれ「使用する」に設定すると、特殊な設定を行なわなくても Windows Messenger や MSN Messenger を複数台のパソコンでご利用になれます。
WARPSTAR とパソコン側の設定が必要です。設定方法など詳細については「機能詳細ガイド」を参照してください。

●固定 IP アドレス対応（複数アドレス拡張）

プロバイダから割り当てられた複数のグローバル固定 IP アドレスを、WARPSTAR および WARPSTAR に接続されたパソコンにそれぞれ設定して、グローバル IP アドレスによるサブネットワークを構築できます。
複数のグローバル IP アドレスを付与するサービスを利用して、複数のインターネットサーバ公開などが可能になります。設定方法など詳細については「機能詳細ガイド」を参照してください。

無線LANとして使う

WARPSTARベースに無線カードWL11CAを装着することによって、WARPSTARサテライトに接続したパソコンからWARPSTARベースにワイヤレス接続ができます（ワイヤレスLAN IEEE802.11b準拠）。

●ファイルとプリンタの共有

WARPSTAR ベース、WARPSTAR サテライトに接続したパソコン間で、無線接続、有線接続に関係なくファイルやプリンタを共有することができます。（☛P8-2）

● WARPSTAR サテライトの増設

別売の WARPSTAR サテライトを増設することができます。
接続できるパソコンは ETHERNET ポート、USB-LAN 接続のパソコンも含めて全部で 32 台までです。インターネットへの同時接続利用は、10 台以下でのご使用をお勧めします。増設できる WL11E は 6 台までです。

・**WARPSTAR サテライトとして使用できるのは、Aterm WL11CA ／ WL11C ／ WL11U ／ WL11E です。（平成 14 年 3 月末現在）**
WL11CA は 128bitWEP に対応したカードタイプの WARPSTAR サテライトです。それ以外の機能は WL11C と同等です。WL11E をサテライトとして使用すると ETHERNET 接続でもワイヤレス LAN が利用できます。WL11E の設定方法につてはWL11E に添付の取扱説明書を参照してください。

※ WEP の機能を使うと暗号化処理が行われるため、無線区間の速度が若干遅くなります。
※無線 LAN の実効速度は理論値と異なります。

●Air Mac 対応のパソコンで使用することができます。
詳細については「機能詳細ガイド」を参照してください。

●ワイヤレス LAN 中継機能により様々なワイヤレス LAN が利用できます。
詳細については、「8-5　ワイヤレス LAN 中継を使う」を参照してください。（☛P8-32）

●無線 LAN 内蔵のパソコンの増設

無線 LAN 内蔵のパソコン（IEEE802.11b 準拠）を増設できます。
使用可能なパソコンはホームページ AtermStation を参照してください。
あらかじめ、無線 LAN の設定をしておく必要があります。無線 LAN の設定方法は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
らくらくアシスタントでの設定は「らくらくアシスタントで設定する（ETHERNET ポート）」（☛P3-9）を参照してください。

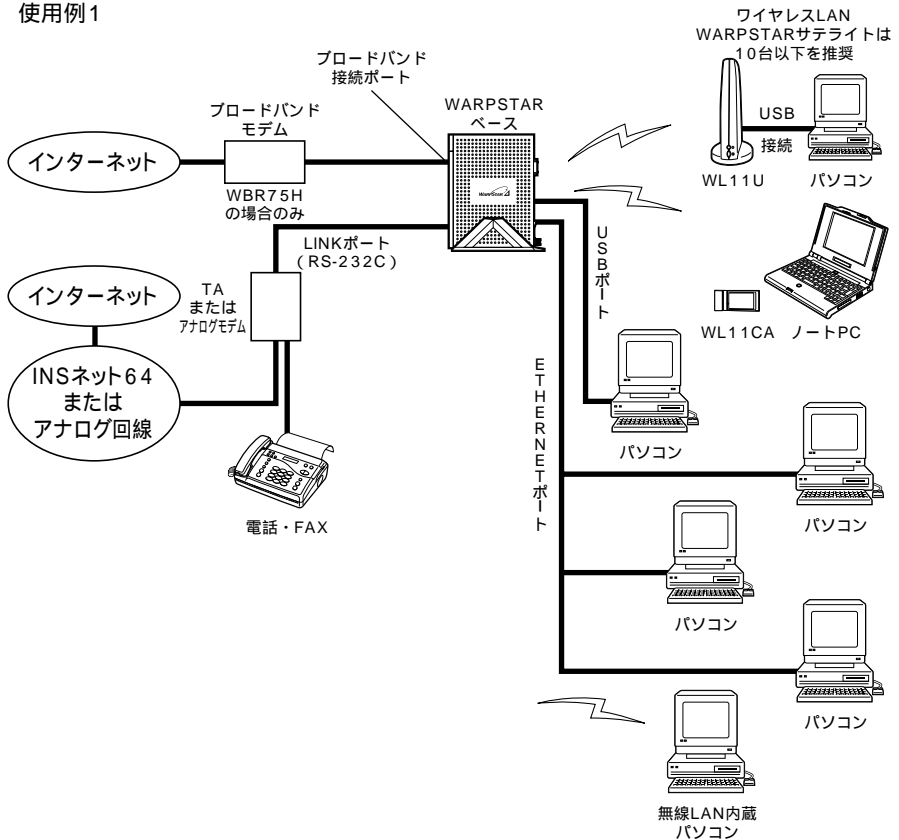
お知らせ

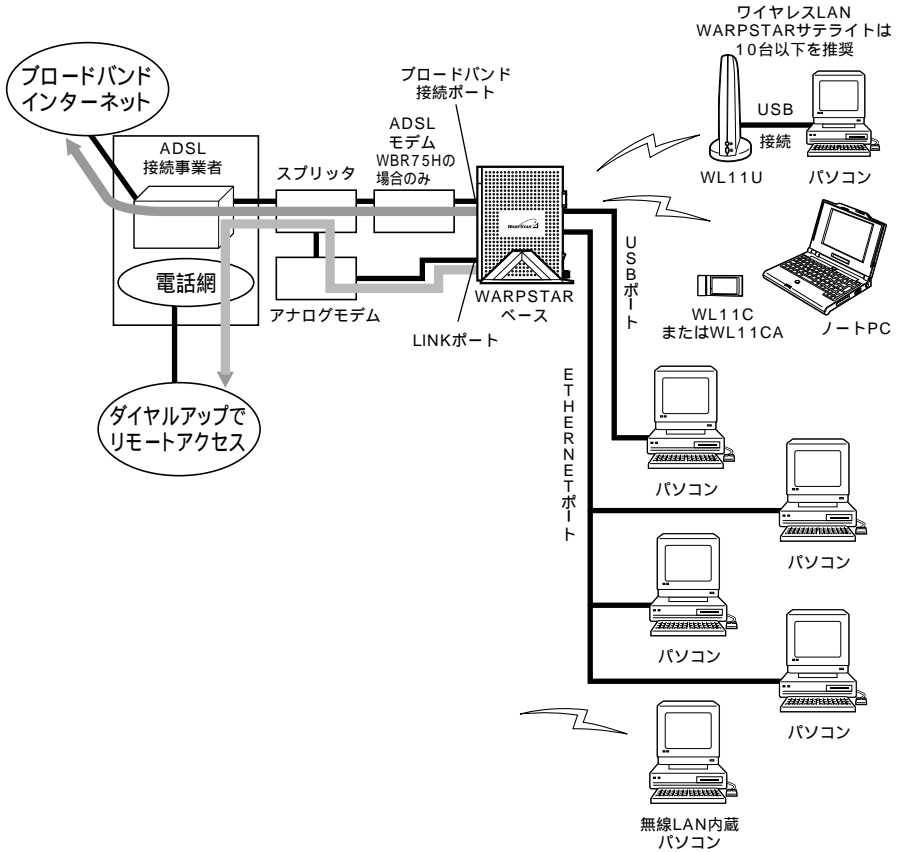
●WARPSTAR ベースとワイヤレス子機間の電波状態が悪いときは、別売のワイヤレス LAN 外部アンテナ（PA-WL/ANT1）〔121ware（http://121ware.com/）で購入可能〕をご使用ください。ただし、周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、改善状態は異なります。（改善できないこともあります。）

マルチラインで接続

WARPSTAR ベースに外付け TA またはアナログモデムを接続して、ダイヤルアップ（ISDN ／アナログ回線）接続でお使いになれます。
ダイヤルアップ（ISDN ／アナログ回線）接続とブロードバンド（ADSL ／ CATV 網）を用途に応じて使い分けることができます。
複数台のパソコンからブロードバンドとダイヤルアップの同時接続も可能です。

- **接続できる TA やアナログモデムは、ホームページ Aterm Station にてご案内いたしますので、事前にご確認ください。**

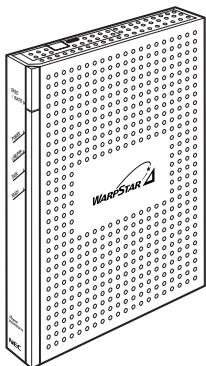
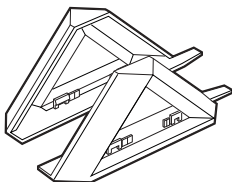
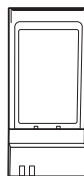
〈使用例1〉

※アクセスマネージャによる切り替えとなります。
※WBR75H、WDR85FH で無線 LAN 機能を使用するには、WARPSTAR ベースに装着する別売の WL11CA と WARPSTAR サテライトが必要です。
※ADSL 接続と ISDN を併用する場合、回線の問題があり、TA を接続すると速度が遅くなったり、つながらなくなる場合があります。

ブロードバンド
インターネット
ADSL
接続事業者
電話網
ダイヤルアップで
リモートアクセス
スプリッタ
アナログモデム
ADSL
モデム
WBR75Hの
場合のみ
ブロードバンド
接続ポート
LINKポート
WARPSTAR
ベース
ワイヤレスLAN
WARPSTARサテライトは
10台以下を推奨
USB
接続
WL11U
パソコン
USBポート
WL11C
またはWL11CA
ノートPC
ETHERNETポート
パソコン
パソコン
パソコン
パソコン
無線LAN内蔵
パソコン

※アナログモデムを接続する場合、ブロードバンド回線契約が電話と併用する契約であればスプリッタ（WDR85FH のみ添付）への接続となります。

1-2 セットを確認する

設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●構成品

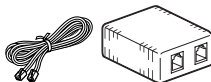
□WARPSTAR ベース
(WDR85FH または WBR75H)

□縦置きスタンド

□ WARPSTAR サテライト
(WL11CA)
(WBR75H、WDR85FH には同梱されていません。)

WL11CA
ワイヤレス LAN ベースには 1 つ、ワイヤレス LAN セット(カードタイプ)には 2 つ同梱されています。

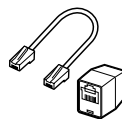
□ USB ケーブル

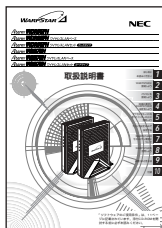
□ETHERNET ケーブル
(ストレート)

複数台のパソコンを接続する場合は市販の ETHERNET ケーブル(ストレート)をご購入ください。

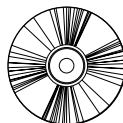
□ADSL 回線ケーブル
(WDR85FH のみ)

□スプリッタ
(WDR85FH のみ)

スプリッタは形状が異なる場合があります。

□クロス変換アダプタ/ケーブル
(WBR75H のみ)

ケーブルはストレートケーブルです。外付けの ADSL モデムや CATV ケーブルモデムに接続する場合にご利用いただけます。

□取扱説明書(本書)

□つなぎかたガイド

□CD-ROM
(ユーティリティ集)

□保証書

□無線注意シール
(ワイヤレス LAN セットにのみ同梱されています。)

1-3 各部の名前とはたらき

WARPSTARベース（WDR85FH）

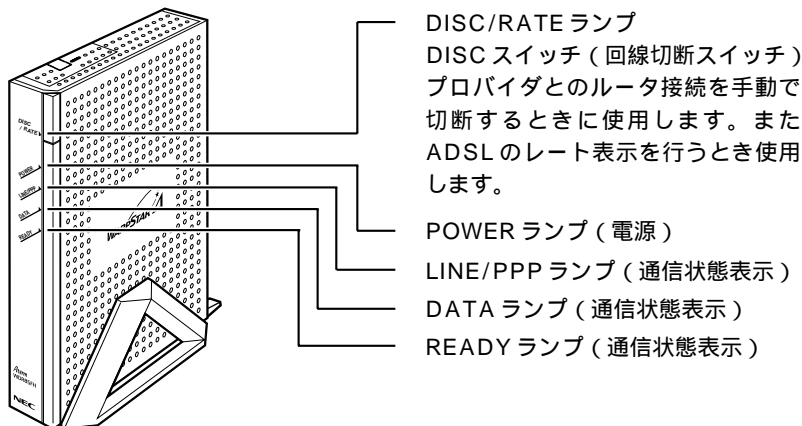
●前面図

① **DISC/RATEランプ**
DISCスイッチ（回線切断スイッチ）
プロバイダとのルータ接続を手動で切断するときに使用します。またADSLのレート表示を行うとき使用します。

② **POWERランプ（電源）**

③ **LINE/PPPランプ（通信状態表示）**

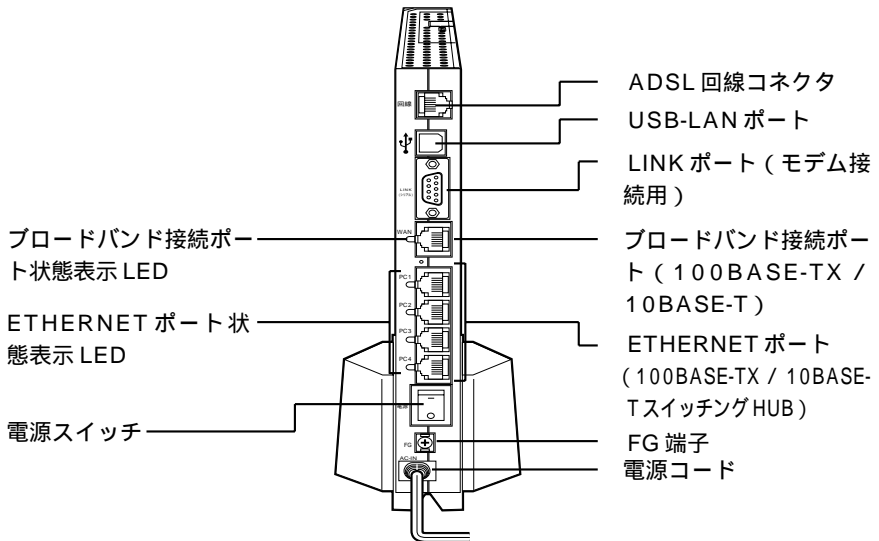
④ **DATAランプ（通信状態表示）**

⑤ **READYランプ（通信状態表示）**

【ランプ表示】

ランプの種類	ランプのつきかた（色）	本装置の状態
① DISC/RATE ランプ	緑（点灯）	WAN側（ADSLモデム／CATVケーブルモデムなど）と接続中
	赤（点灯）	DISCスイッチによってWAN側との接続を不可にしているとき
	橙（点灯）	POWER、LINE/PPP、DATA、READYランプでADSLモデムのレート（速度）を表示中
② POWERランプ（電源）	緑（点灯）	電源が入っているとき
	橙（点灯）	ファームウェアをバージョンアップしているとき
③ LINE/PPPランプ（通信状態表示）	赤（遅点滅）	内蔵ADSLモデムを使ったADSL回線の同期がとれていないとき
	赤（早点滅）	内蔵ADSLモデムを使ってADSL回線と接続するためのトレーニング中のとき
	橙（点灯）	内蔵ADSLモデムを使ったADSL回線の同期がとれているとき
	消灯	内蔵ADSLモデムを使用しない設定にしているとき
	緑（点滅）	PPPリンクを起動し、リンク確立待ち状態
	緑（点灯）	ADSL(PPPoA)、ADSL(PPPoE)接続、ダイヤルアップ接続でPPPリンクが確立しているとき
④ DATAランプ（通信状態表示）	緑（点滅）	LANで接続されたパソコンでデータ送受信中
⑤ READYランプ（通信状態表示）	緑（点灯）	USBポートにパソコンが接続されているとき（USBドライバが正しくインストールされているとき）

【レート表示】
ADSL モデムのレート（速度）は、下記のようにランプ表示されます。

	レート（速度）	ランプの種類				
		DISC/RATE	POWER	LINE/PPP	DATA	READY
Half	0～250Kbps 未満	橙	消灯	消灯	消灯	緑
	～500Kbps 未満	橙	消灯	消灯	緑	緑
	～750Kbps 未満	橙	消灯	緑	緑	緑
	750Kbps 以上	橙	緑	緑	緑	緑
Full	0～1Mbps 未満	橙	消灯	消灯	消灯	橙
	～2Mbps 未満	橙	消灯	消灯	橙	橙
	～3Mbps 未満	橙	消灯	橙	橙	橙
	～3Mbps 以上	橙	橙	橙	橙	橙

●背面図

①ADSL 回線コネクタ
内蔵 ADSL モデムを使用するときに添付の ADSL 回線ケーブルを使って ADSL 網と接続します。

②USB-LAN ポート
添付の USB ケーブルを使って、パソコンの USB ポートに接続します。

③LINK ポート（モデム接続用）
外付けのモデムや TA に接続します。

④ブロードバンド接続ポート（100BASE-TX ／ 10BASE-T）
ブロードバンドモデムとの接続に使用します（内蔵 ADSL モデムを使用しない設定をしたときのみ使用できます）。

⑤ETHERNET ポート（100BASE-TX ／ 10BASE-T スイッチング HUB）
パソコンまたはハブを接続します。

⑥FG 端子
アース線を取り付ける端子です（アース線は添付されていません）。

⑦電源コード
AC100V の家庭用電源コンセントに接続します。

⑧ブロードバンド接続ポート状態表示 LED
緑点灯：ブロードバンドモデムと接続され、リンクが確立しているとき

⑨ETHERNET ポート状態表示 LED
パソコンまたはハブが接続され、リンクが確立しているときに点灯します。

⑩電源スイッチ
電源の入／切を切り替えるスイッチです。電源を入れるときは「I」側を押します。

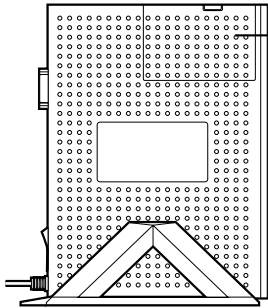
●側面図

①開閉カバー
拡張カードスロットを使用するとき、ディップスイッチを設定するときは、このカバーを開けます。（☛P3-17、10-5）

< カバー内部 >

①拡張カードスロット
ワイヤレスLAN通信を利用するときに、WL11CAを装着します。（☛P3-17）

②ディップスイッチ
特別な設定をするときに使用します。（☛P10-5）

お願い

●拡張カードスロットにWL11CAを装着する際は、必ずWARPSTARベースの電源を切ってから装着してください。

WARPSTAR ベース（WBR75H）

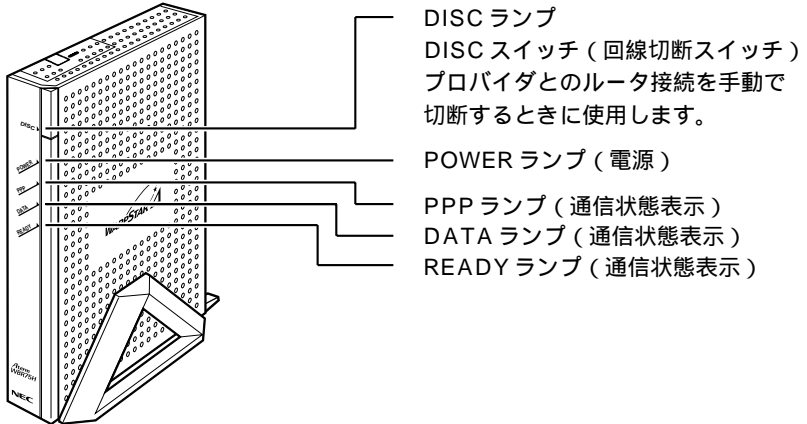
●前面図

① **DISC ランプ**
DISC スイッチ（回線切断スイッチ）
プロバイダとのルータ接続を手動で切断するときに使用します。

② **POWER ランプ（電源）**

③ **PPP ランプ（通信状態表示）**

④ **DATA ランプ（通信状態表示）**

⑤ **READY ランプ（通信状態表示）**

【ランプ表示】

ランプの種類	ランプのつきかた（色）	本装置の状態
① DISC ランプ	緑（点灯）	WAN 側（ADSL モデム／ CATV ケーブルモデムなど）と接続中
	赤（点灯）	DISC スイッチによって WAN 側との接続を不可にしているとき
② POWER ランプ（電源）	緑（点灯）	電源が入っているとき
	橙（点灯）	ファームウェアをバージョンアップしているとき
③ PPP ランプ（通信状態表示）	緑（点灯）	ADSL（PPPoE）接続、ダイヤルアップ接続で PPP リンクが確立しているとき
④ DATA ランプ（通信状態表示）	緑（点灯）	LAN で接続されたパソコンでデータ送受信中
⑤ READY ランプ（通信状態表示）	緑（点灯）	USB ポートにパソコンが接続されているとき（USB ドライバが正しくインストールされているとき）

●背面図

①USB-LAN ポート
添付の USB ケーブルを使って、パソコンの USB ポートに接続します。

②LINK ポート（モデム接続用）
外付けのモデムや TA に接続します。

③ブロードバンド接続ポート（100BASE-TX ／ 10BASE-T）
ブロードバンドモデムとの接続に使用します。

④ETHERNET ポート（100BASE-TX ／ 10BASE-T スイッチング HUB）
パソコンまたはハブを接続します。

⑤FG 端子
アース線を取り付ける端子です（アース線は添付されていません）。

⑥電源コード
AC100V の家庭用電源コンセントに接続します。

⑦ブロードバンド接続ポート状態表示 LED
緑点灯：ブロードバンドモデムと接続され、リンクが確立しているとき

⑧ETHERNET ポート状態表示 LED
パソコンまたはハブが接続され、リンクが確立しているときに点灯します。

⑨電源スイッチ
電源の入／切を切り替えるスイッチです。電源を入れるときは「I」側を押します。

●側面図

①開閉カバー
拡張カードスロットを使用するとき、ディップスイッチを設定するときは、このカバーを開けます。（☛P3-17、10-5）

< カバー内部 >

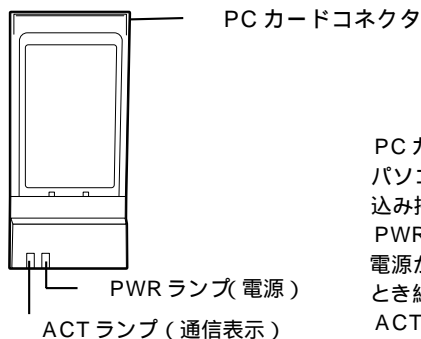
①拡張カードスロット
ワイヤレスLAN通信を利用するときに、WL11CAを装着します。（☛P3-17）

②ディップスイッチ
特別な設定をするときに使用します。（☛P10-5）

お願い

●拡張カードスロットにWL11CAを装着する際は、必ずWARPSTARベースの電源を切ってから装着してください。

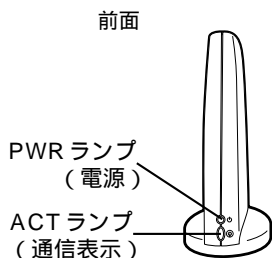
WARPSTARサテライト（WL11CA）／（WL11U）

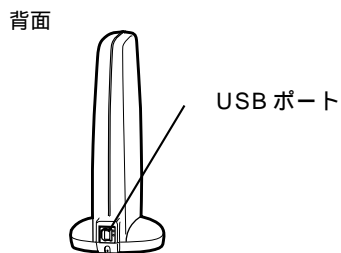
WL11CA

① PCカードコネクタ
パソコンのPCカードスロットに差し込み接続します。

② PWRランプ（電源）
電源が入っており、無線状態が正常なとき緑色で点灯します。

③ ACTランプ（通信表示）
データ通信中に緑色で点滅します。

WARPSTARサテライトとして、別売のWL11UやWL11Eを使うこともできます（Aterm WL11EについてはWL11Eに添付の取扱説明書を参照してください）。

WL11U（別売）

① PWRランプ（電源）
電源が入っているとき緑色で点灯します。

② ACTランプ（通信表示）
データ通信中に緑色で点滅します。

③USBポート
添付のUSBケーブルを使って、パソコンのUSBポートに接続します。

お願い

●PCカードコネクタには手を触れないでください。故障の原因となります。

●WL11CとWL11CAの違いについて

WL11CAは128bitWEP対応なので高いセキュリティを実現できます。
但し、WL11CAを親側カードとして装着し、128bitWEPを有効とした場合、子機（サテライト）として使用する機器も128bitWEPに対応している必要があります。
2001年11月現在128bitWEPで利用できるサテライトはWL11CAとWL11Eです。128bitWEPを使用しない場合、WL11CとWL11CAは同機能となります。

1-4 あらかじめ確認してください

WARPSTARを接続する前に次のことを確認しておきましょう。

回線契約とプロバイダの加入について

● ADSL接続契約

ADSL接続はアナログ回線の高周波数帯域を使い、ADSL接続事業者のネットワークを経由して高速にインターネットへ常時接続するサービスです。

ADSL接続に必要なもの

・ WARPSTARをお使いになる前に、ADSL接続事業者およびプロバイダとの契約を済ませておいてください。
・外付けADSLモデムの場合、事前に通信回線が開通していることをご確認ください。
・ADSLモデムは別途ご用意ください。
（WDR85FHで内蔵ADSLモデムを利用する場合は必要ありません。）
・外付けADSLモデムの場合ADSL回線が正しく接続されていることを確認しましょう。
（接続方法や確認は、ADSLモデムの取扱説明書等を参照してください。）

WARPSTARの設定に必要な情報
（契約時に入手した接続情報の書類を確認してください。）

・ IPアドレスなどの設定情報
・ ADSL接続のためのプロバイダからのユーザID
・パスワードなどの接続情報

● CATV（ケーブルテレビ）インターネット接続契約

CATVインターネット接続は、電話回線を使わずにCATVの同軸ケーブルを使用してインターネットに接続するサービスです。

CATVインターネット接続に必要なもの

・ WARPSTARをお使いになる前に、CATVインターネット接続事業者およびプロバイダとの契約を済ませておいてください。
・ CATVケーブルモデムはCATVインターネット接続事業者の指定に従い、ご用意ください。
・ CATVケーブルモデムと回線が正しく接続されていることを確認しましょう。
（接続の方法や確認は、CATVケーブルモデムの取扱説明書を参照してください。）
・事前に通信回線が開通していることをご確認ください。

WARPSTAR の設定に必要な情報

・ IPアドレスなどの設定情報
（契約時に入手した接続情報の書類を確認してください。）

● FTTH接続契約

FTTHは、光ファイバを用いたインターネット接続の方法です。

NTT東日本／西日本が提供するFTTHサービス「Bフレッツ」の場合に必要なもの

・ 回線終端装置は別途ご用意ください。
・ WARPSTARをお使いになる前に、Bフレッツの契約とプロバイダの契約を済ませておいてください。

※接続できるサービスについては、ホームページAterm Stationの「接続確認済ブロードバンド事業者リスト」でご確認ください。

パソコンの準備

お使いのパソコンがWARPSTARをご利用になれる環境になっているか確認してください。WARPSTARは以下の条件を満たす機器を接続することができます。

- **ETHERNETポートまたはUSBポートを装備していること**
  （USB-LAN接続はWindows® パソコンのみ可能です。）
- **TCP/IPプロトコルスタックに対応していること**
  （通常はWARPSTARのDHCPサーバ機能によって自動的にIPアドレスを割り当てます。パソコンの設定が、Windows® の場合は、「IPアドレスを自動的に取得する」、Macintoshの場合は、「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。通常はそのままでご使用になれます。DHCPサーバ機能を使用しない場合は、「機能詳細ガイド」を参照してください。）

なお、接続設定を行うにあたっては、WWWブラウザが必要となり、ご利用いただけるWWWブラウザは次のとおりです。

- **Internet Explorer 4.0以上**
- **Netscape Communicator 4.0（推奨6.1）以上**
- **Net Front for Δ（株式会社ACCESS）（“Play Station® 2”）**

また、WARPSTARをより便利に活用できる添付ユーティリティらくらくアシスタントは以下のOSにてご利用いただけます。

- **Windows® Me日本語版**
- **Windows® 98日本語版**
- **Windows® 98 SE日本語版**
- **Windows® 2000 Professional日本語版**
- **Windows® XP日本語版**
  ※WARPSTAR対応のOSをご利用の場合でも、お使いのパソコンの環境によっては、必要なネットワークコンポーネント（TCP/IP）がインストールされていない場合があります。必要なネットワークコンポーネントがインストールされているかどうかを確認し、インストールされていない場合は、添付のCD-ROMに収録されている「機能詳細ガイド」「1-2　ファイルとプリンタの共有」を参照してインストールしてください。
- **Mac OS 8.6J/9.0J/9.1J/9.2JおよびX日本語版（クラシックモード）**
  ※MacintoshはETHERNET接続およびAir Macにより利用できます。USB-LAN／WL11CA／WL11Uでは利用できません。

お知らせ

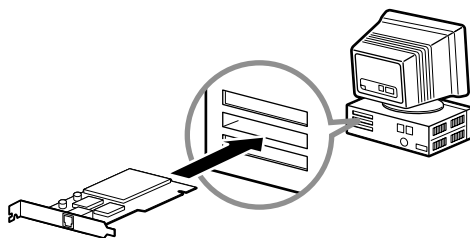
●OSのアップグレードなどパソコンの動作環境を変更される場合は、あらかじめホームページAterm StationからWARPSTARの最新のファームウェア、ユーティリティ、マニュアルなどをダウンロードしてください。

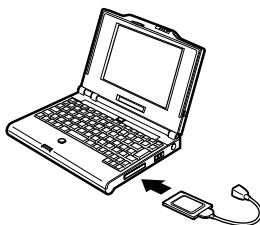
パソコンを LAN 対応にする

■ LAN ポートの準備

ETHERNET ポートで接続する場合は、パソコンに LAN ポート（100BASE-TX ／ 10BASE-T ポート）の準備が必要です。お使いのパソコンに LAN ポートがない場合は、WARPSTAR の設置を始める前に、100BASE-TX ／ 10BASE-T 対応の LAN ボードまたは LAN カードを取り付けて、増設してください。
取り付け後は、LAN ボード/カードの取扱説明書に従って正しく動作することを確認してください。正しく動作していない場合は、先に LAN ボード/LAN カードの問題を解決してから WARPSTAR の設置を行ってください。
また、LAN ポートがない場合には USB-LAN を使うこともできます。「3-2　WARPSTAR ベースの USB ポートにパソコンを接続する場合」（☞P3-11）

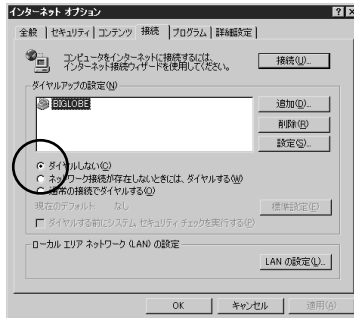
□デスクトップ型やタワー型のパソコンの場合

デスクトップ型やタワー型のパソコンの場合は、拡張スロットに LAN ボードを取り付けます（内蔵されている場合もあります）。スロットには PCI や ISA などの種類があるので、お使いのパソコンで空いているスロットの種類を確認してから対応した LAN ボードを取り付けてください。

□ノート型パソコンの場合

ノート型パソコンの場合は、PC カードスロットに LAN カードを取り付けます（内蔵されている場合もあります）。
PC カードスロットの規格や添付ソフトには種類があるので、お使いのパソコンに対応した ETHERNET ポートをご利用ください。

■ WWW ブラウザの設定変更

ダイヤルアップ接続を利用していた場合は、WWW ブラウザ（Internet Explorer 等）やメールソフトの設定を LAN 接続の設定に変更する必要があります。
ブラウザやメールソフトを起動したときに、アクセスマネージャの「プロバイダへの接続」が起動せずにダイヤルアップ接続が起動してしまう場合には、ダイヤルアップ接続する設定になっていますので設定を変更してください。
設定の変更方法についての詳細は、各ソフトウェアの製造メーカー（Microsoft 等）にご確認ください。

以下は Windows® Me ／ 98 ／ 98 SE ／ XP ／ 2000 で Internet Explorer 5.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。
お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェア等）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

① Internet Explorer のアイコンをダブルクリックして、Internet Explorer を起動します。
② ［ツール］の［インターネットオプション］を選択します。
③ ［接続］タブをクリックします。
④ ダイヤルアップの設定の欄で、［ダイヤルしない］を選択してください。

プロバイダ専用の CD-ROM やパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム（プロバイダへの申し込みソフト）は、ダイヤルアップ接続（モデムやターミナルアダプタの接続）専用のものがあります。その場合、WARPSTAR に LAN 接続されたパソコンからは実行できません。また、専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。
プログラムの使用方法等、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

1-5 設定方法の種類について

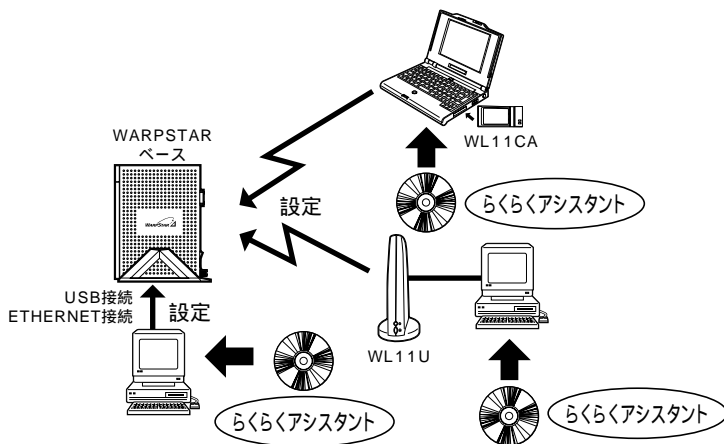
WARPSTAR の設定を行うには次の 2 つの方法があります。ご利用の環境に合わせて設定を行ってください。

ユーティリティで簡単設定／接続

パソコンをお持ちの場合、LAN 機能、インターネット接続の設定は、「らくらくアシスタント」を利用して簡単に設定することができます。また、WARPSTAR ベース、WARPSTAR サテライト（WL11CA）／（WL11U）に接続したどのパソコンからでも同じように設定を行うことができます。

※らくらくアシスタントで設定を行うと、アクセスマネージャを利用してのマルチライン接続やアプリケーションプロファイル機能がご利用になれます。

らくらくアシスタント

らくらくアシスタントは、WARPSTAR を使用できるように設定するユーティリティです。また、らくらくアシスタントでは、ドライバのインストールなどを行ったり、インターネット接続設定、バージョンアップなどを行うことができます。

※らくらくアシスタントは、お使いの機種によっては無効になる機能(ボタン)があります。らくらくアシスタントでの詳細な設定方法については、添付の CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」を参照してください。

アクセスマネージャ

らくらくアシスタントをインストールすると、同時にインストールされます。インターネットへの接続設定や、接続操作を行うユーティリティです。常時接続のインターネットとパソコンの接続を切り離したり、接続状態をチェックしたりできます。

・**アプリケーションプロファイル機能**
ネットワークゲーム等のアプリケーションに応じたTCP／UDPの設定を接続先と一緒にアクセスマネージャに登録できます。
利用時にアクセスマネージャで接続先を選ぶことにより設定することができます。

サテライトマネージャ

らくらくアシスタントをインストールすると、同時にインストールされます。WARPSTARサテライトで利用するユーティリティです。WARPSTARベース間の無線通信の設定をすることができます。

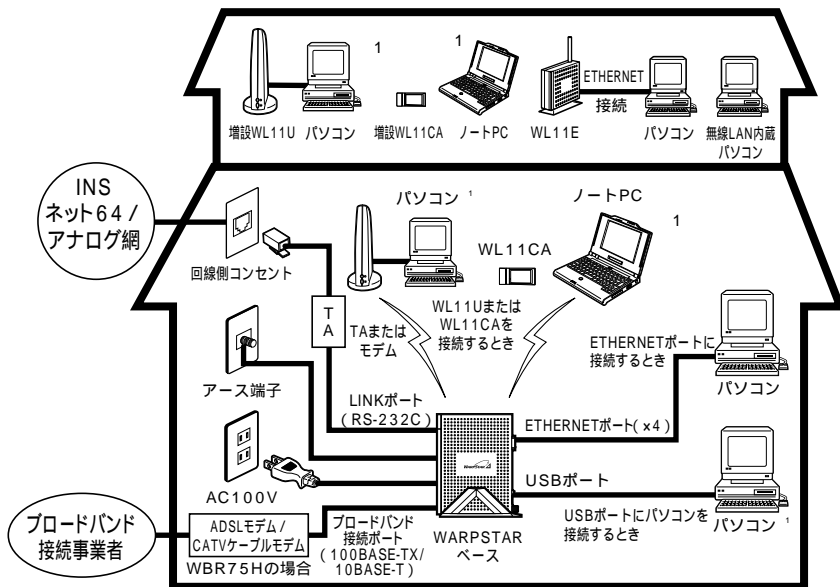
設定ユーティリティは以下のOSで使用できます。
・Windows® Me日本語版　・Windows® 98日本語版
・Windows® 98SE日本語版　・Windows® XP日本語版
・Windows® 2000 Professional日本語版
・Mac OS 8.6J　・Mac OS 9J
・Mac OS 9.1J　・Mac OS 9.2J
（Mac OS Xでご使用になる場合はクラシックモードでご利用ください）
Windows® XPおよびMacintoshではサテライトマネージャは使用できません。
Windows® XPでは、Windows® XPに内蔵されているワイヤレスネットワーク設定をご使用ください。

ブラウザで基本設定（クイック設定Web）

**WARPSTARベースのETHERNETポートに接続している場合は、パソコンのブラウザ機能があれば、らくらくアシスタントがなくてもブラウザを使ってWARPSTARのインターネットに接続するまでの設定をすることができます。
クイック設定Webを使用してインターネット接続設定を行うと、アクセスマネージャを使用せずにインターネットに接続することができますので、ゲーム機などを使用したインターネット接続も可能となります。**

ご利用できるWWWブラウザは次のとおりです。
・Internet Explorer 4.0以上
・Netscape Communicator 4.0（推奨6.1）以上
・Net Front for Δ（株式会社ACCESS）（“Play Station® 2”対応WWWブラウザ）
※USB-LANやサテライトからもらくらくアシスタントでドライバのインストールが終わってパソコンとの接続ができる状態になってからクイック設定Webの利用が可能です。
※設定できるインターネットの接続先は、自動接続の1ヶ所のみです。アプリケーションプロファイル、マルチラインは利用できません。

1-6 WARPSTARとパソコンの構成を決めよう

WARPSTARは次のような構成で接続することができます。
お使いの環境に合わせて、どのようにパソコンを接続するか決めましょう。
実際の接続作業は、2章の手順に従って行ってください。

※1　WARPSTARベースのUSB-LANポート、WARPSTARサテライト（WL11CA、WL11U）に接続するパソコンは、Windows® Me／98／98SE／XP／2000のみ対応可能です。Macintoshはご利用になれません。

※2　WBR75H、WDR85FH単体で購入された場合は、WL11CA（別売）を装着するとワイヤレスLANセットとまったく同様のワイヤレスLAN通信がご利用できます。パソコン側には、別にサテライト（別売のWL11UやWL11CA、WL11E）が必要です。
WARPSTARベースからWL11UおよびWL11CAに電波が届くのは、次のとおりです。
オープン（参考値）160 m（11Mbps）～550 m（1Mbps）
セミオープン（屋外）50 m（11Mbps）～115 m（1Mbps）
クローズド（屋内）25 m（11Mbps）～50 m（1Mbps）
周囲の電波状況や壁の構造などにより距離が短くなります。

● Air Mac対応のパソコンを使用してWARPSTARベースに接続することができます。まず最初にAir Macの設定をして、WARPSTARベースに無線LANでつながることを確認してから、らくらくアシスタントをインストールします。詳しくは、添付のCD-ROMに収録されている「機能詳細ガイド」を参照してください。
● Aterm WL11E、ワイヤレスLAN機能内蔵パソコンをWARPSTARサテライトとして使用する場合は、それぞれの取扱説明書を参照してワイヤレスLANとしての設定を行ってください。

セットアップの流れ

**WARPSTARを接続してインターネットに接続できるようになるまでの基本的な流れを示します。
WARPSTARの接続回線、LANの構成によって手順が異なりますので手順に従って接続設定を行ってください。**

お知らせ

●ケーブルの接続からインターネット接続までを説明した「つなぎかたガイド」があります。セットアップを始める前にぜひご覧ください。

●どのような接続形態で使用しますか？

接続回線は？

●ADSL回線に接続する…… 内蔵ADSLモデムを使用する(WDR85FHのとき)
…… 接続するADSLモデムはPPPoE対応
…… 接続するADSLモデムはPPPoE対応以外、またはルータタイプ
●CATVに接続する…… CATVケーブルモデムに接続する
●FTTH・光ファイバに接続する …… FTTH・光ファイバに接続する
●ISDN回線、アナログ回線に接続する …… TAまたはアナログモデムに接続する

内蔵ADSLモデム（WDR85FH） ｜ ADSLモデム（PPPoE対応） ｜ FTTH・光ファイバ ｜ ADSLモデム(ルータタイプ)／CATVケーブルモデム ｜ TAまたはアナログモデム

↓

電源を接続する（☞P2-3）

↓

ADSL回線に接続する(☞P2-4) ｜ ブロードバンドモデムまたは回線終端装置に接続する (☞P2-6)

↓

TAまたはアナログモデムに接続する（ISDN回線やアナログ回線を利用してマルチラインを利用する場合）（☞P2-8）

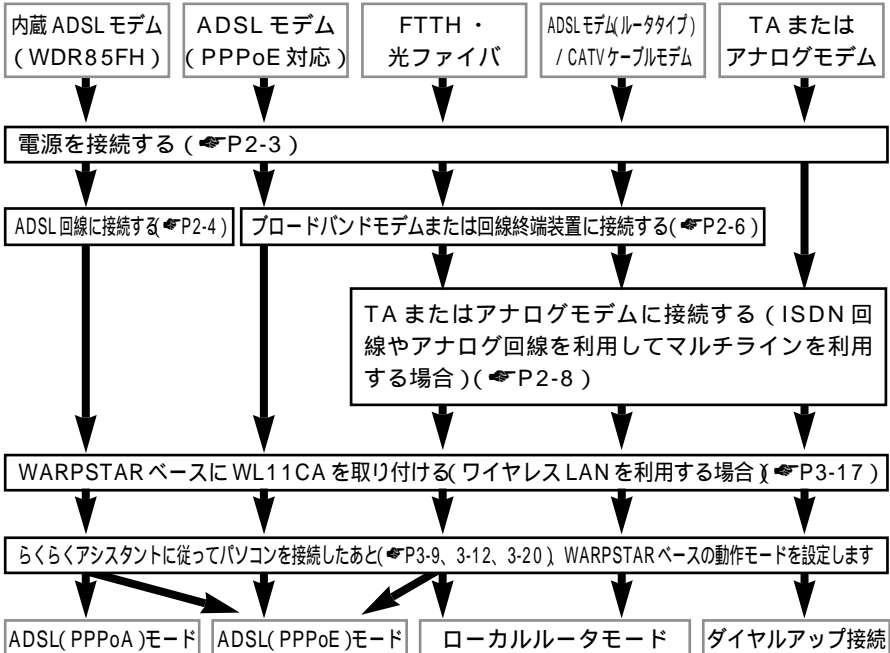
↓

WARPSTARベースにWL11CAを取り付ける(ワイヤレスLANを利用する場合)(☞P3-17)

↓

らくらくアシスタントに従ってパソコンを接続したあと(☞P3-9、3-12、3-20)、WARPSTARベースの動作モードを設定します

↓

ADSL(PPPoA)モード ｜ ADSL(PPPoE)モード ｜ ローカルルータモード ｜ ダイヤルアップ接続

パソコンは？

●有線LANで接続する
…………WARPSTARベースのETHERNETポートに接続する（☛P3-2）
…………WARPSTARベースのUSBポートに接続する（☛P3-11）

●無線LANで接続する
…………WARPSTARサテライト（WL11CA）／（WL11U）に接続する（☛P3-14）

● WARPSTARのどのポートにパソコンを接続しますか？

WARPSTARベース（有線LAN） ／ WARPSTARサテライト（無線LAN）

- ETHERNETポート
  - → クイック設定Webで設定する（☛P6-2） → インターネットに接続する（☛P6-6）
- USBポート
- WL11CA
- WL11U

↓

らくらくアシスタントをインストールする（☛P3-5）

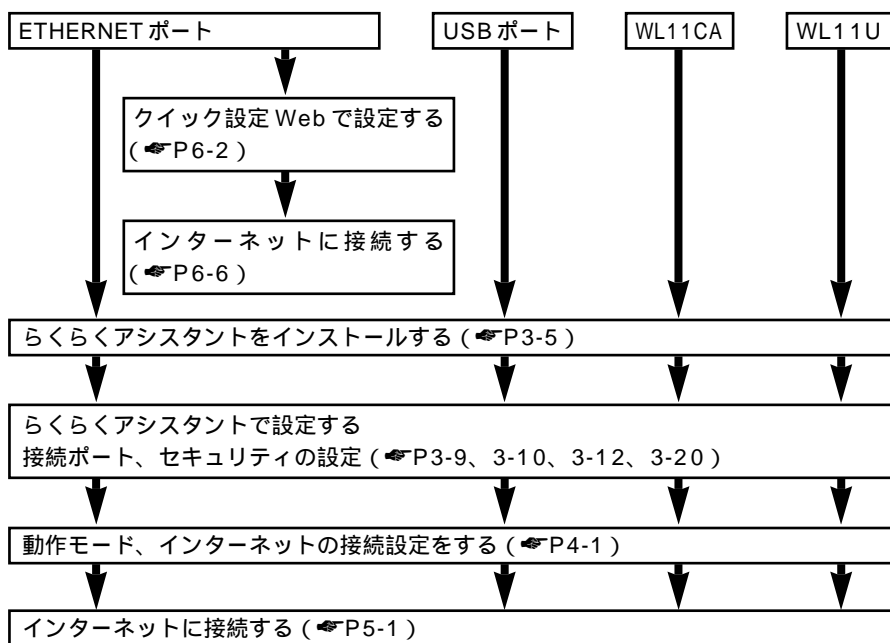
↓

らくらくアシスタントで設定する
接続ポート、セキュリティの設定（☛P3-9、3-10、3-12、3-20）

↓

動作モード、インターネットの接続設定をする（☛P4-1）

↓

インターネットに接続する（☛P5-1）

●WL11E、ワイヤレスLAN機能内蔵パソコン、Air Macを使用する場合は、先にそれぞれの取扱説明書をご覧いただき、ワイヤレスLANとしての設定を行います。
WARPSTARベースの設定は、ETHERNETポート利用として指定します。

2 WARPSTARに接続しよう

Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP operating systemの略です。
Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

2-1 WARPSTARを設置する

WARPSTARの置き場所を決めよう

WARPSTARには電源、回線、パソコンなどを接続します。ケーブルの長さが決まっているものもあるので、ポイントとなる点をいくつかあげます。

●WARPSTARベースはADSLモデム／CATVケーブルモデムのそばに置こう

●WARPSTARベース用の電源コンセントはありますか？

WARPSTARベース用の電源コンセントを確保しましょう。

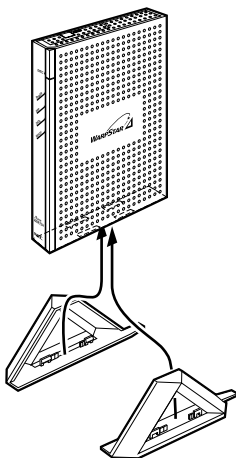
●WARPSTARサテライトはWARPSTARベースから無線で電波の届く距離に置こう

ただし、設定が完了するまではWARPSTARベースのそばに置いておきます。

お知らせ

●ワイヤレスで届く範囲は次のとおりです。
オープン（参考値）160m（11Mbps）～550m（1Mbps）
セミオープン（屋外）50m（11Mbps）～115m（1Mbps）
クローズド（屋内）25m（11Mbps）～50m（1Mbps）

縦置きスタンドを取り付ける

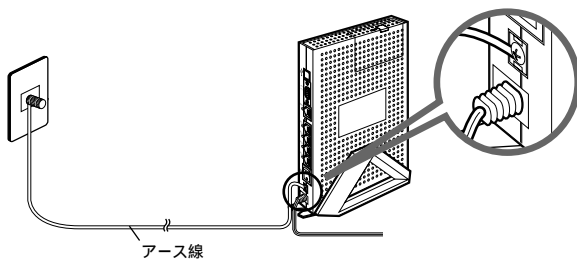
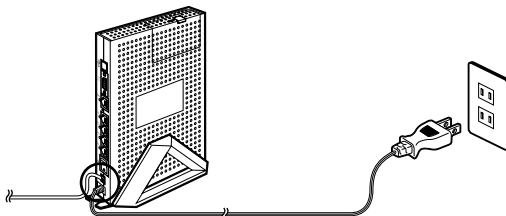
図のようにWARPSTARに縦置きスタンドを取り付けます。

お願い

●WARPSTARベースは絶対に横置きに設置しないでください。内部に熱がこもり、破損する可能性があります。また、壁などに近づけて設置しないでください。

2-2 電源を接続する

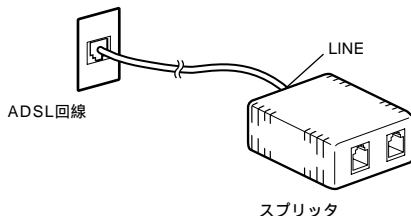
アース線、電源コードをそれぞれ接続します。

1 WARPSTAR ベースの FG 端子を壁のアース端子に接続する

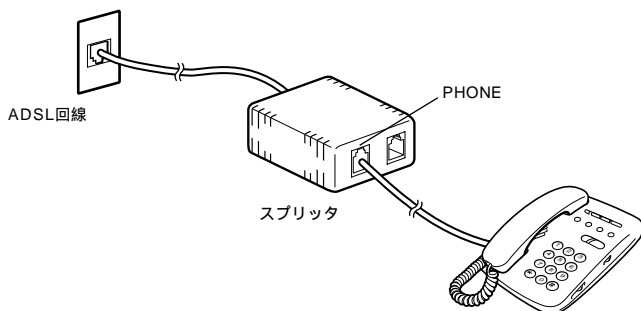
アース線は添付されていませんので、別途購入してください。
アース線は漏電や落雷などが起こった場合に、人身への傷害や機器の損傷を防止するためのものです。

2 WARPSTAR ベースの電源コードを壁の電源コンセントに接続する

2-3 回線を接続する

内蔵 ADSL モデムを使って ADSL 回線に接続する（WDR85FH）

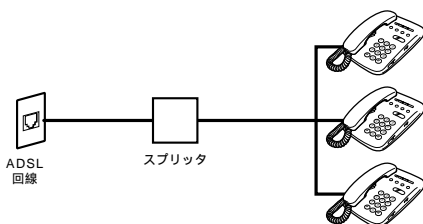
WARPSTAR ベースと ADSL 回線を接続します。

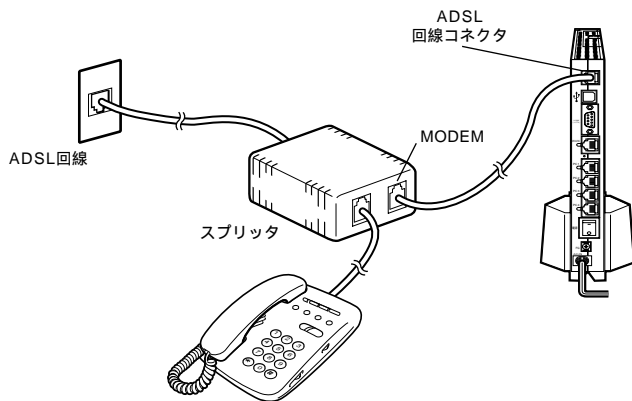
1 スプリッタと ADSL 回線を接続する

2 スプリッタに電話機やファクスを接続する

電話機を接続する場合は、スプリッタに接続します。

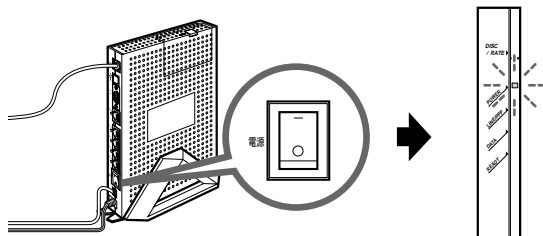
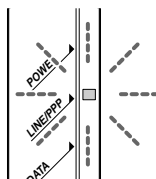
※電話機とスプリッタの接続には電話機に付属のケーブルか、市販のモジュラケーブルを使用してください。

お知らせ

●電話機等の回線種別は電話回線の契約にあわせてください。

●電話機をブランチ接続する場合、スプリッタの PHONE JACK 側で接続してください。なお、複数台の電話機を接続する場合は、合計容量が 3uF/2K Ω以下でなければなりません。接続可能台数はご使用の電話機によって異なります。

3 WARPSTAR ベースの ADSL 回線コネクタとスプリッタを接続する

添付されている ADSL 回線ケーブルを使って接続します。

接続するコネクタを間違えないようにしてください。

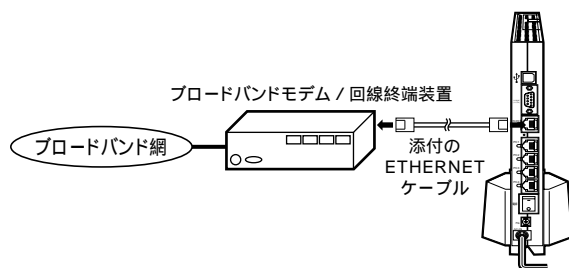
4 WARPSTAR ベースの電源スイッチを入れる（「I」側を押す）

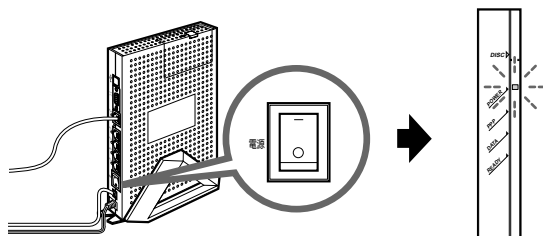
前面の各ランプが点滅したあと、POWER ランプが緑色に点灯します。

5 しばらくして LINE/PPP ランプが橙点灯することを確認する

・赤点滅しているときは ADSL 回線の同期がとれていません。スプリッタ、ADSL 回線と正しく接続されているか確認してください。
ADSL を設置している NTT 局舎から設置場所までが離れている場合、あるいは十分な配線設備がない場合は、十分な通信速度が出ないか、または使用できないことがあります。プロバイダまたは通信事業者へ確認してください。

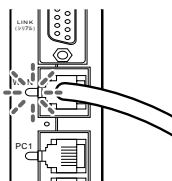
外付け ADSL モデム／ CATV ケーブルモデム／ FTTH・光ファイバに接続する

WARPSTAR ベースに外付け ADSL モデムを接続したり、CATV ケーブルモデム、FTTH ・光ファイバなどの回線終端装置を接続する場合は、次の手順で接続します。

1 **ADSL モデム／ CATV ケーブルモデム／回線終端装置が、回線に正しく接続されていることを確認する**

2 **WARPSTAR ベースのブロードバンド接続ポートと ADSL モデム／ CATV ケーブルモデム／回線終端装置を添付の ETHERNET ケーブル（ストレート）で接続する**

3 **WARPSTAR ベースの電源スイッチを入れる（「I」側を押す）**

前面の各ランプが点滅したあと、POWER ランプが緑色に点灯します。

4 **ブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑点灯することを確認する**

（点灯しない場合は次ページを参照してください。）

外付けADSLモデム／CATVケーブルモデムと接続する場合は

- ADSL（PPPoE）モードまたはローカルルータモードにより外付けブロードバンドモデムを接続する場合には、あらかじめブロードバンドモデムの設定を行ってください。
- パソコンにETHERNETポートがある場合は、ブロードバンドモデムの取扱説明書をご覧いただき、パソコンとブロードバンドモデムを直接接続してあらかじめ設定を行ってください。ブロードバンドモデムの設定を行う際、パソコンのIPアドレスが、192.168.0.2～254となる場合は、ブロードバンドモデムのローカルIPアドレスが「192.168.0.XXX」です。この場合は、WARPSTARのIPアドレスの設定を変更する必要があります。変更は［らくらくアシスタント］の［WARPSTARの設定］－［WARPSTARベースの詳細設定］－［LAN設定］タブの［IPアドレス］欄で設定します。（☛添付CD-ROM「機能詳細ガイド」）
- パソコンにETHERNETポートがない場合は、一度「5-1　インターネットに接続する」（☛P5-2）までのWARPSTARの基本設定をして、WARPSTARとブロードバンドモデムの接続が完了してから設定を行ってください。

ブロードバンド接続ポート状態表示LEDが緑点灯しないときは

ブロードバンド接続ポート状態表示LEDが緑点灯しないときは、WARPSTARベースとADSLモデムが正しく接続できていません。次の手順で誤りがないかどうか確認してください。

① ETHERNETの接続を確認する
WARPSTARベースのブロードバンド接続ポートがブロードバンドモデムにETHERNETケーブル（ストレート）で正しく接続されているか確認してください。

② クロス変換アダプタ／ケーブルで切り替える
ETHERNETケーブルとブロードバンドモデムの間にクロス変換アダプタ／ケーブルを接続します。
これで問題が解決しない場合はクロス変換アダプタ／ケーブルをはずしておきます。

③ ブロードバンドモデムが回線と正しく接続されていることを確認する
ETHERNETポートを搭載したパソコンをお持ちの場合は、ブロードバンドモデムに直接パソコンを接続して正しく動作することを確認してください。直接パソコンを接続しても正しく動作しない場合は、ブロードバンドモデムおよび通信回線に問題があります。ご契約の通信事業者にご相談ください。

④ ①～③を行っても解決しない場合は、WARPSTARベースを初期化する
WARPSTARベースの設定を購入時の状態に戻します。初期化する方法については、「9-2　WARPSTARを初期化する」（☛P9-10）を参照してください。

⑤ WARPSTARベースの自己診断を行う
「9-3　自己診断」（☛P9-13）を参照して、WARPSTARベースの自己診断を行ってください。

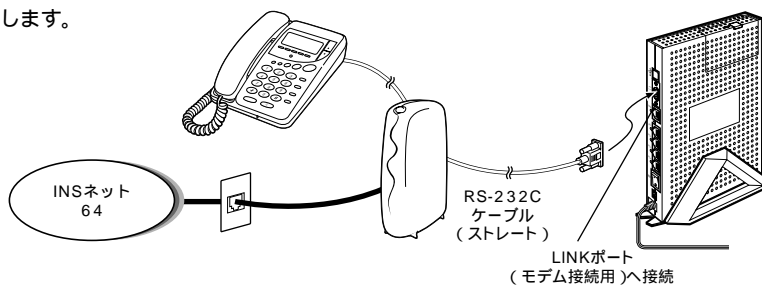
①～⑤を行っても問題が解決しないときは、WARPSTARベースが故障している場合があります。最寄りのNEC保守サービス受付拠点（☛P10-12）へお問い合わせください。

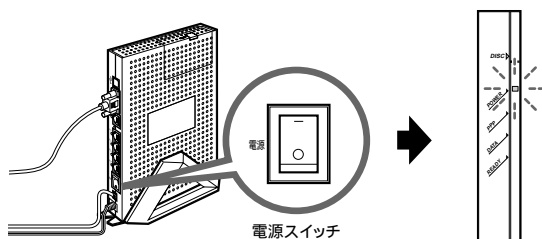
TA／アナログモデムを接続してISDNやアナログ回線に接続する

WARPSTARベースに外付けのTAやアナログモデムを接続する場合は、次の手順で接続します。
WARPSTARベース（WBR75H）と接続できるTAまたはアナログモデムはホームページ Aterm Stationで順次ご案内しますので、ご確認ください。

1 外付けTA（またはアナログモデム）がINSネット64（またはアナログ回線）に正しく接続されていることを確認する

2 WARPSTARベースのLINKポート（TA／モデム接続用）とTAまたはアナログモデムのシリアルポートを接続する

TA／アナログモデムに添付されているRS-232Cケーブル（ストレート）を使って接続します。

3 WARPSTARベースの電源スイッチを入れる（「I」側を押す）

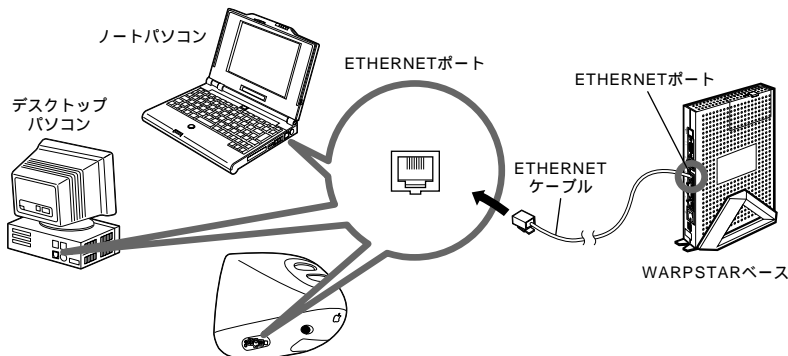
前面の各ランプが点滅したあと、POWERランプが緑色に点灯します。

- LINKポートのRS-232Cコネクタは、TA／アナログモデム接続用です。パソコンのシリアルポートは接続できません。
- TAはINSネット64の工事が完了し､外付けTAが利用できる状態になってから接続してください。外付けTAのINSネット64回線への接続が完了していないと、WARPSTARは使用できません。
- 電話機でご利用になれる機能は、外付けTAのアナログポート機能により異なります。電話がつながらない場合や、電話機の使用方法については、ご利用のTAの取扱説明書を参照してください。
- TAを接続し、INSネット64回線とADSL回線を併用すると、回線の干渉の問題があり、ADSL接続できなかったり、充分なパフォーマンスが得られないことがあります。

3 パソコンを接続しよう

※WL11E、ワイヤレスLAN内蔵パソコン、Air Macを利用する場合も、WARPSTARベースはETHERNETポートを利用する設定です。

Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP operating systemの略です。
Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

3-1 WARPSTAR ベースの ETHERNET ポートにパソコンを接続する場合

WARPSTAR ベースの ETHERNET ポートにパソコンを接続するときは、①パソコンの接続→② LAN の設定の順で設定を行っていきます。LAN の設定は、［クイック設定 Web］または［らくらくアシスタント］で行います。パソコンを接続したら、らくらくアシスタントをインストールして、らくらくアシスタントを起動してください。

お使いのパソコンに ETHERNET ポートがある場合は、WARPSTAR ベースの ETHERNET ポートに添付の ETHERNET ケーブル（ストレート）で接続することができます。以下の手順で設定を行ってください。
※ 2 台目以降は市販の ETHERNET ケーブル（ストレート）をご購入ください。
※WL11E、ワイヤレス LAN 機能内蔵パソコン、Air Mac を使用する場合は、先にそれぞれの取扱説明書をご覧いただき、ワイヤレス LAN としての設定をしてください。WARPSTAR ベースの設定は、ETHERNET ポート利用としての設定になります。

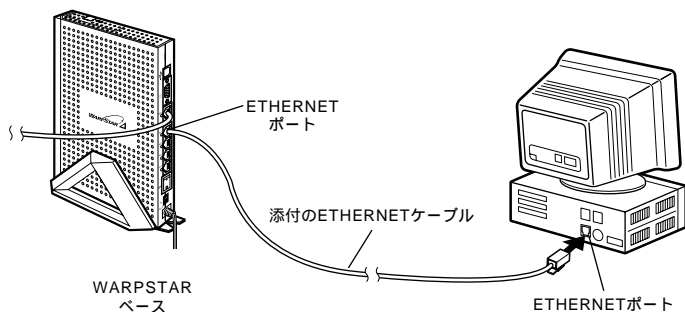
- 通常は WARPSTAR の DHCP サーバ機能によって自動的に IP アドレスを割り当てます。パソコンの設定が、Windows® の場合は、「IP アドレスを自動的に取得する」、Macintosh の場合は、「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。通常はそのままでご使用になれます。（DHCP サーバ機能を使用しない場合は、「機能詳細ガイド」を参照してください。）
- パソコンに LAN カードまたは LAN ボードを設置する場合は、それぞれの取扱説明書をご覧いただき設定してください。（☞P1-22）
- WARPSTAR ベースの電源は、あらかじめ入れておいてください。
- パソコンをハブに複数台接続するときは、それぞれのパソコンで P3-5 ～ P3-10 の設定を行ってください。

お知らせ

- ETHERNET ポートは、パソコンだけでなくゲーム機などでも利用できますので、ブラウザを搭載していれば、クイック設定 Web を利用して接続することができます。（☞P6-2）
- WARPSTAR ベースの ETHERNET ポートにケーブルが正しく接続されると、ETHERNET 状態表示 LED が緑点灯します。
- 100BASE-TX ／ 10BASE-T の速度の切り替えは自動的に認識します。手動で切り替えることはできません。

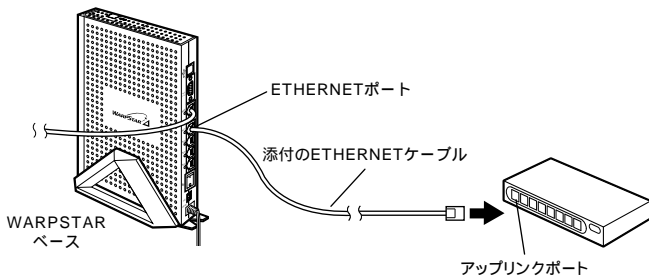
パソコンを接続する

□ WARPSTAR ベースにパソコンを接続する場合

1 **WARPSTAR ベースの ETHERNET ポートとパソコンの ETHERNET ポートを添付の ETHERNET ケーブル（ストレート）で接続する**

※添付ケーブルは 1 本のみです。2 台目以降は、市販の ETHERNET ケーブル（ストレート）をご購入ください。

2 **ETHERNET ポート状態表示 LED が緑点灯することを確認する**

□ WARPSTAR ベースとハブのアップリンクポートを接続する場合

1 **WARPSTAR ベースの ETHERNET ポートとハブのアップリンクポートを添付の ETHERNET ケーブル（ストレート）で接続する**

2 **ETHERNET ポート状態表示 LED が緑点灯することを確認する**

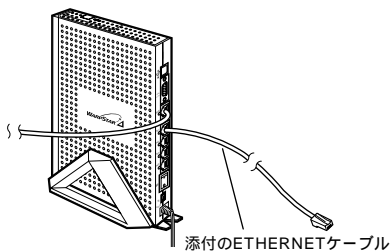
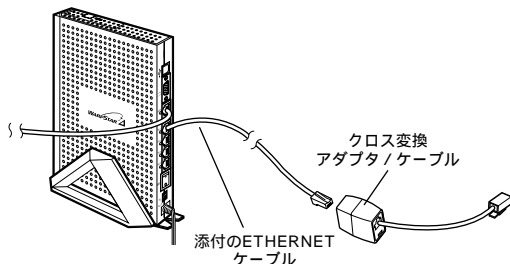
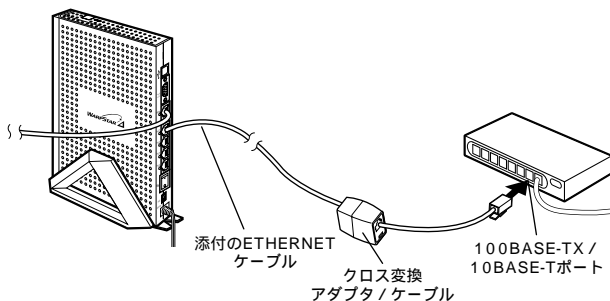
 お知らせ

●ハブにアップリンクポートがない場合は、クロス変換アダプタ／ケーブルを取り付けて接続するか、市販の ETHERNET ケーブル（クロスケーブル）で接続してください。（次ページ参照）

□ ハブの 100BASE-TX ／ 10BASE-T ポートに接続する場合

 お知らせ

- ●ハブの 100BASE-TX ／ 10BASE-T ポートと接続する場合は、下記の手順を参照してクロス変換アダプタ／ケーブルで切り替えて接続する必要があります。
- ●ハブ側にアップリンクポートがある場合は、クロス変換アダプタ／ケーブルは不要です。
- ●WDR85FH には、クロス変換アダプタ／ケーブルは添付されていません。市販の ETHERNET ケーブル（クロスケーブル）で接続してください。

1 **WARPSTAR ベースに ETHERNET ケーブル（ストレート）を接続する**

2 **ETHERNET ケーブルのもう一方の端にクロス変換アダプタ／ケーブルを接続する**

3 **クロス変換アダプタ／ケーブルとハブの 100BASE-TX ／ 10BASE-T ポートを接続する**

4 **ETHERNET ポート状態表示 LED が緑点灯することを確認する**

らくらくアシスタントをインストールする

お知らせ

- ETHERNET ポート接続の場合、クイック設定 Web でも設定することができます。（☛P6-2）
- PPPoE の外付け ADSL モデムを使用するとき、ADSL モデムに付属のユーティリティではパソコンを 1 台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合は ADSL モデムに付属のユーティリティは使用しないでください。らくらくアシスタントまたはクイック設定 Web で設定をしてください。

■ Windows® の場合

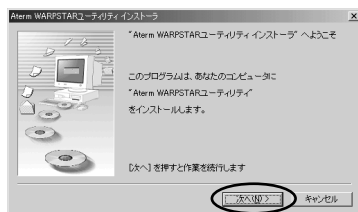
1 **Windows® Me/98/98SE/XP/2000 を起動する**

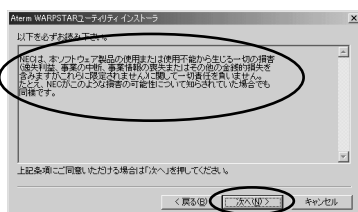
2 **添付の CD-ROM（ユーティリティ集）を CD-ROM ドライブにセットする**

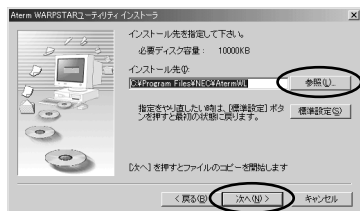
メニュー画面が表示されます。
メニューが表示されないときは（☛P3-6）

3 **[らくらくアシスタントのインストール] をクリックする**

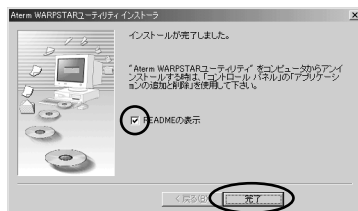
4 **［次へ］をクリックする**

5 **［次へ］をクリックする**

6 **画面の同意書を読み、同意できる場合は［次へ］をクリックする**

（次ページに続く）

7 表示されたインストール先へインストールする場合は、[次へ] をクリックする

インストール先を変更する場合は、[参照] をクリックして変更してください。

8 [はい] をクリックする

インストールが開始します。

9 [README の表示] にチェックが入っている（☑）ことを確認し、[完了] をクリックする

10 README をよく読み、[README] 画面を閉じる

インストールが完了し、らくらくアシスタントが起動します。

11 続けてらくらくアシスタントで LAN の設定を行う

らくらくアシスタントを起動するには

らくらくアシスタントを終了させたあとに、再度らくらくアシスタントを起動するときは、[スタート] をクリックし、[プログラム] —［Aterm WARPSTAR ユーティリティ] —［らくらくアシスタント] をクリックします。

お知らせ

● 添付の CD-ROM をセットしてもメインメニュー画面が表示されない場合は、以下の操作を行います。
①Windows® の［スタート］をクリックし、［ファイル名を指定して実行］を選択する
②名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と \Menu.exe と入力し、［OK］をクリックする
（例： CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q:\Menu.exe）

● らくらくアシスタントをインストールすると、インターネット接続や WARPSTAR の設定に必要な以下のユーティリティが自動的にインストールされます。
・らくらくアシスタント
・ WARPSTAR アクセスマネージャ
・ WARPSTAR サテライトマネージャ（サテライトを利用している場合のみアクセスマネージャから起動できます。）

● Windows® XP/2000 でらくらくアシスタントをインストールするには、Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。
Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてもインストールできないときは、添付の CD-ROM に収録されている「お困りのときには」を参照してください。

■ Macintoshの場合

1 **Macintoshの電源を入れ、添付のCD-ROM（ユーティリティ集）をCD-ROMドライブにセットする**

ウィンドウが開きます。
ウィンドウが開かないときは、CD-ROMのアイコンをダブルクリックしてください。

2 **［MENU］アイコンをダブルクリックする**

メインメニュー画面が表示されます。

3 **［らくらくアシスタントのインストール］をクリックする**

4 **画面の表示に従ってインストールを行う**

インストールが完了すると、［WARPSTARブロードバンド］フォルダにらくらくアシスタントなどのアイコンが作成されます。

●「MacOSXでは以下の項目が自動で実行されません」の画面が表示されたときは次ページの手順で手動設定してください。

5 **続けてらくらくアシスタントで設定を行う**

? らくらくアシスタントを起動するには

［WARPSTARブロードバンド］フォルダの［WDらくらくアシスタント］アイコンをダブルクリックします。

お知らせ

●らくらくアシスタントをインストールすると、インターネット機能やWARPSTARの設定に必要な以下のユーティリティが自動的にインストールされます。
・らくらくアシスタント
・WARPSTARアクセスマネージャ

Mac OS X のクラシックモードでご利用になる場合

下記の「TCP/IP の設定」「WARPSTAR アクセスマネージャの自動起動」「らくらくアシスタント」を手動で行ってください。

■ TCP/IP の設定

［アップルメニュー］－［システム環境設定］－［ネットワーク］を選択し、次の項目を設定します。

●［設定：］
接続する機器に合わせて［内蔵 Ethernet］または［Air Mac］を選択します。

●［Air Mac］タブの［優先するネットワーク：］
接続したいネットワーク名を選択します。※ネットワーク名は WARPSTAR-XXXXXX（XXXXXX は、WARPSTAR ベースの側面に記載されている WAN/PC（MAC アドレス）の下 6 桁です。）

●［TCP/IP］タブの［設定：］
［DHCP サーバを参照］を選択します。

［OK］をクリックします。

■ WARPSTAR アクセスマネージャの自動起動

パソコン起動時に「WARPSTAR アクセスマネージャ」が自動的に起動されるようにします。

［アップルメニュー］－［システム環境設定］－［ログイン］を選択します。［ログイン項目］タブの［追加］を開き、［WARPSTAR ブロードバンド］フォルダ内の［WD アクセスマネージャ］をクリックして指定します。

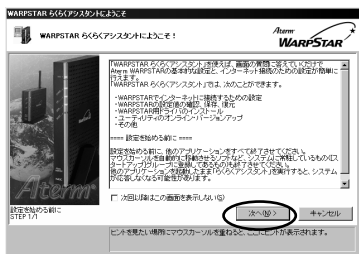
［OK］をクリックします。

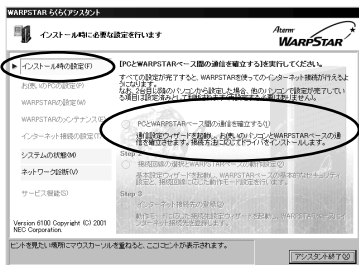
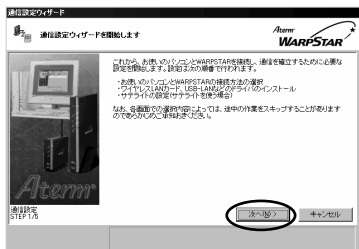
■ユーティリティのインストール終了後、ユーティリティを起動した際に、ユーティリティ集のメニュー画面が開かれたままになっていた場合は、ユーティリティの表示が見えなくなることがあります。

【対策】ユーティリティを起動する前に必ずメニューを終了させてください。また、上記状態になった場合は、いったん、メニューを終了して Macintosh を再起動してください。

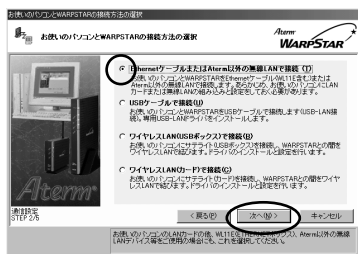
らくらくアシスタントで設定する（ETHERNET ポート）

■ Windows® の場合

1 **らくらくアシスタントを起動する（☞P3-6）**

2 **［次へ］をクリックする**

3 **［インストール時の設定］の［PC と WARPSTAR ベース間の通信を確立する］をクリックする**

4 **［次へ］をクリックする**

5 **［ETHERNET ケーブルまたは Aterm 以外の無線 LAN で接続］を選択し、［次へ］をクリックする**

WL11E（ETHERNET ボックス）、ワイヤレス LAN 内蔵パソコンなど Aterm 以外の無線 LAN デバイスなどをご使用の場合も［ETHERNET ケーブルで接続］を選択します。

●あらかじめ、お使いのパソコンに LAN カード、または無線 LAN の組み込みと設定をしておく必要があります。LAN カード、無線 LAN の組み込みと設定方法は、それぞれの取扱説明書を参照してください。

6 **［設定終了］をクリックする**

7 **続けて［接続回線の選択と WARPSTAR ベースの動作設定］を行う**

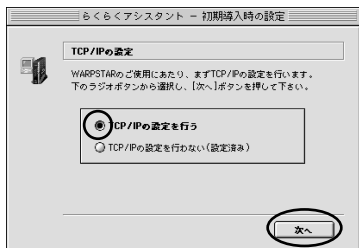
→接続回線に合わせて 4 章に進みます。

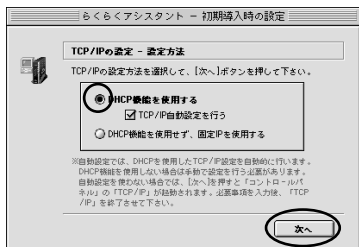
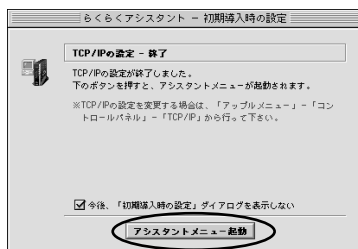
3 パソコンを接続しよう

■ Macintosh の場合

● TCP/IP の設定
パソコンの TCP/IP の設定を行います。

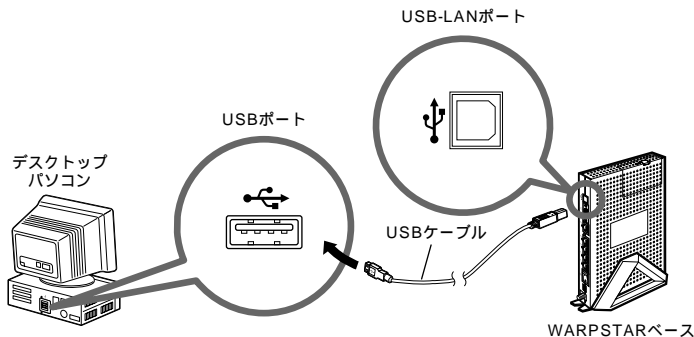
1 ［TCP/IP の設定を行う］を選択し、［次へ］をクリックする

既に TCP/IP の設定を行っている場合は、［TCP/IP の設定を行わない］を選択して手順 3 へ進みます。

2 ［DHCP 機能を使用する］を選択し、［次へ］をクリックする

DHCP 機能を使用せずに手動で設定する場合は、手動で設定を行ってください。

3 設定が終了したら、［アシスタントメニュー起動］をクリックする

4 続けてらくらくアシスタントで［初期導入時の設定］を行う

「4-9 Macintosh で設定する」に進みます。（☛P4-43）

3-2 WARPSTARベースのUSBポートにパソコンを接続する場合

WARPSTARベースのUSBポートにパソコンを接続するときは、まず最初に、お使いのパソコンにらくらくアシスタントをインストールして、らくらくアシスタントを起動してください。①ドライバのインストール→②パソコンの接続→③LANの設定の順で設定を行っていきます。これらは、［らくらくアシスタント］で行います。

お願い

- ●USB接続でご使用いただく場合、ご使用になるパソコンによっては、スタンバイやサスペンド機能が使用できない場合があります。
  あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。
- ●ETHERNETインタフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードおよびLANボード機能を停止させないとUSB-LANドライバが正しくインストールされない場合があります。LANカードおよびLANボード機能を停止させてから、らくらくアシスタントで設定を行ってください。(☛P3-25、3-26)
- ●USBケーブルは、ユーティリティの指示があるまで接続しないでください。

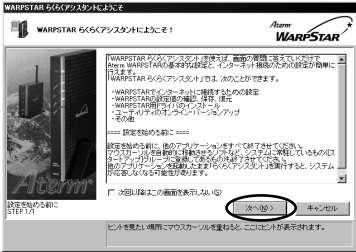
らくらくアシスタントをインストールする

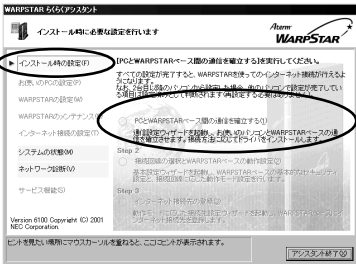
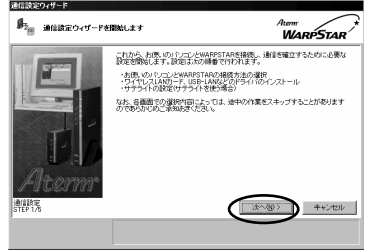
らくらくアシスタントのインストール方法は、「3-1　WARPSTARベースのETHERNETポートにパソコンを接続する場合」「らくらくアシスタントをインストールする　■Windows® の場合」を参照してください。(☛P3-5)
らくらくアシスタントをインストールし、らくらくアシスタントが起動したら、次項の「らくらくアシスタントで設定する（USBポート）」を行ってください。

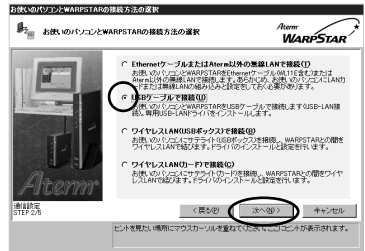
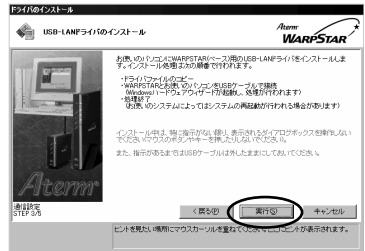
お知らせ

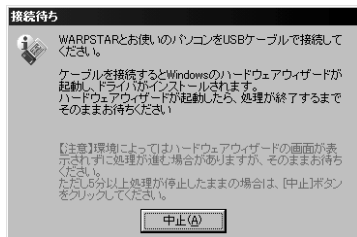
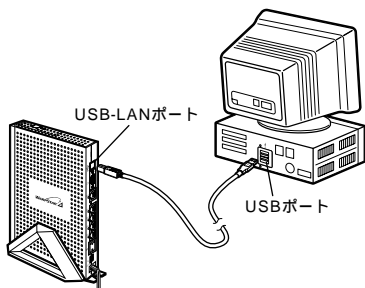
- ●PPPoEの外付けADSLモデムを使用するとき、ADSLモデムに付属のユーティリティではパソコンを1台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はADSLモデムに付属のユーティリティは使用しないでください。らくらくアシスタントまたはクイック設定Webで設定をしてください。

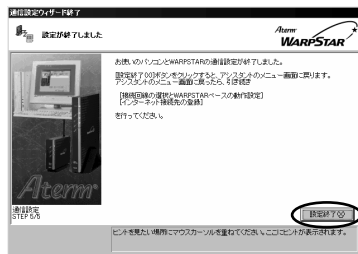
らくらくアシスタントで設定する（USB ポート）

1 **らくらくアシスタントを起動する（☞P3-6）**

2 **［次へ］をクリックする**

3 **［インストール時の設定］の［PC と WARPSTAR ベース間の通信を確立する］をクリックする**

4 **［次へ］をクリックする**

5 **［USB ケーブルで接続］をクリックし、［次へ］をクリックする**

6 **次の画面が表示されたら、［実行］をクリックする**

7 **WARPSTAR ベースの電源が入っていることを確認する**

8　次の画面が表示されたら、パソコンを添付の USB ケーブルで WARPSTAR ベースの USB-LAN ポートに接続する

コネクタには向きがあります。パソコン側の端子にコネクタが合うように、向きを確認してしっかり差し込んでください。

ドライバが自動的にインストールされます。

9　[設定終了] をクリックする

10　続けて [接続回線の選択と WARPSTAR ベースの動作設定] を行う

→接続回線に合わせて 4 章に進みます。設定がうまくいかない場合はドライバのアンインストールを行って設定をやり直してください。

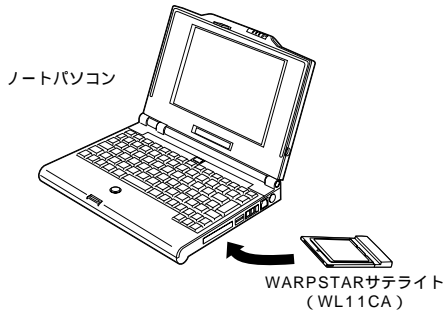
3 パソコンを接続しよう

WARPSTAR ベースのドライバをアンインストールするには

① らくらくアシスタントを起動する
② [お使いの PC の設定] をクリックし、[各種ドライバのアンインストール] をクリックする
③ 画面の指示に従ってらくらくアシスタントを終了する
④ 画面の指示に従って USB ケーブルを取りはずし、[OK] をクリックする
⑤ アンインストールするドライバを選択する
⑥ 画面の指示に従ってアンインストールを行う
※ CD-ROM のメニュー画面から「ドライバのアンインストール」をクリックしてもドライバのアンインストールが行えます。

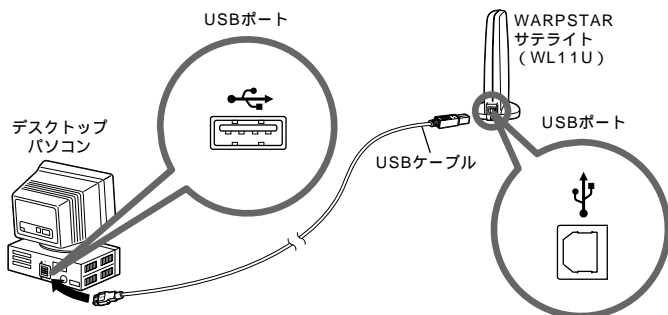
3-3 WARPSTARサテライト（WL11CA）／（WL11U）にパソコンを接続する場合

WARPSTARサテライト（WL11CA）／（WL11U）にパソコンを接続するときは、①ドライバのインストール→②パソコンの接続→③LANの設定の順で設定を行っていきます。これらは、すべてらくらくアシスタントで行います。まず最初に、お使いのパソコンにらくらくアシスタントをインストールしてください。
WARPSTARサテライト（WL11CA）／（WL11U）に接続できるのはWindows® Me／98／98SE／XP／2000のみです。Macintoshではご利用になれません。

■ PCカードタイプWARPSTARサテライトを使用する

PCカードスロットがあるパソコンには、WARPSTARサテライト（WL11CA）を取り付けることができます。ここではまだ接続しないでください。

お願い

●WARPSTARサテライト（WL11CA）をパソコンに取り付けるためには、32ビットPCカードドライバが正常にインストールされている必要があります。
●WARPSTARサテライト（WL11CA）はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能等により給電が停止した場合、通信を行う前にカードを挿し直す必要がある場合があります。あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。
●ETHERNETインタフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードおよびLANボード機能を停止させないとWARPSTARサテライトのドライバが正しくインストールできない場合があります。LANカードおよびLANボード機能を停止させてから、らくらくアシスタントで設定を行ってください。（☛P3-25、3-26）

■ USBタイプWARPSTARサテライトを使用する

USBポートがあるパソコンには、WARPSTARサテライト（WL11U）を取り付けることができます。ここではまだ接続しないでください。

お願い

●WL11Uはパソコンからの給電のみで動作します。使用するUSBポートの給電能力が500mAを保証しているパソコンまたはUSBハブをご使用ください。

●WDR85FH、WBR75Hの場合は拡張カードスロットにWL11CA（別売）を装着してワイヤレスLAN対応に拡張する必要があります。

●**スタンバイやサスペンド機能は使用しないでください。**
WL11Uを接続したままパソコンをスタンバイ／サスペンド状態にすると、お使いのパソコン環境によってはパソコンの動作が不安定になることがあります。パソコンのスタンバイやサスペンド機能を無効にしてご使用ください。

●**WARPSTARサテライト（子機）を複数接続しないでください。**
WARPSTARサテライト（WL11CA）／（WL11U）を同じパソコンに複数同時に接続することはできません。また、他のネットワークデバイス（USB-LANポート、10BASE-Tポートデバイスなど）とも同時に使用することはできませんので、必ず使用するネットワークデバイスは1つのみにしてください。

●ETHERNETインタフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードおよびLANボード機能を停止させないとWARPSTARサテライトのドライバが正しくインストールできない場合があります。LANカードおよびLANボード機能を停止させてから、らくらくアシスタントで設定を行ってください。（☛P3-25、3-26）

●**デバイスマネージャの［電源の管理］タブの設定は変更しないでください。**
Windows®のデバイスマネージャでWL11Uのプロパティを開くと、［電源の管理］タブが表示されることがありますが、［電源の管理］タブ内の設定は初期状態から変更しないでください。変更するとパソコンの動作が不安定になる場合があります。もし、誤って変更してしまった場合は再度［電源の管理］タブを表示して、初期状態に戻すか、ドライバアンインストーラを起動してWL11Uドライバをアンインストールし、らくらくアシスタントから再インストールを行ってください。

［電源の管理］タブの初期状態

■ Windows® Me

節電のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする	有効
コンピュータのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う	無効

■ Windows® 98

節電のためにコンピュータの電源を自動的に切る	有効
コンピュータのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う	無効

■ Windows® 2000

電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする	有効
このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を元に戻すことができる	無効

■ Windows® XP

節電のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする	有効
このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする	無効

●**サテライトマネージャやアクセスマネージャ起動中にUSBケーブルを抜き差しするとパソコン動作が不安定になる場合があります。**
サテライトマネージャやアクセスマネージャ起動中は、USBケーブルの抜き差しをしないでください。お使いのパソコン環境によってはパソコンの動作が不安定になることがあります。ケーブルの抜き差しを行う場合は、サテライトマネージャやアクセスマネージャをパソコンのタスクトレイから終了したあとに行うか、パソコンの電源を切ってから行ってください。

●**WL11Uでは装置ごとにハードウェアウィザードが起動します。**
WL11Uは、装置ごとに固有のシリアル番号を保持しているため、Windows®はそれぞれを別のデバイスとして検出します。
例えば、2台以上のWL11Uをお持ちの場合、1台目のWL11Uを使って正しくデバイスドライバをインストールしたパソコンに別の2台目のWL11Uを接続すると、新たにWindows®のハードウェアウィザードが起動し、別のデバイスドライバのインストールをはじめます。ハードウェアウィザード画面の指示に従ってインストール操作を進めることで2台目のWL11Uもネットワークデバイスとしてインストールすることもできます。ただし、ネットワークデバイスのプロパティ情報（TCP/IPプロトコルの設定等）を変更しているお客様は、プロパティ情報を再設定する必要がありますのでご注意ください。
複数のWL11Uをお持ちの場合は、パソコンごとに使用するWL11Uを決めてお使いいただくことをお勧めします。

※**正常に動作しない場合の対策**
1台のパソコンに多数のWL11Uを組み込んだり、2台目以降のWL11Uインストール時にハードウェアウィザードの操作を誤ると、正常に動作しない場合があります。
その場合は、らくらくアシスタントの「ドライバのアンインストール」を起動して、いったんWL11Uドライバをアンインストールしてから、もう一度らくらくアシスタントを起動してWL11Uのインストールを行ってください（アンインストーラでは、複数のWL11Uの設定を全て削除します）。

●WARPSTARサテライトを増設するときは、それぞれにP3-20～P3-23の設定を行ってください。

●ユーティリティの指示があるまでWL11CA、WL11Uをパソコンに接続しないでください。

●WBR75H、WDR85FHでWARPSTARサテライトによるワイヤレスLAN機能をご利用になるには、別売のWL11CAを拡張カードスロットに取りつけ、別途WARPSTARサテライトをご購入いただく必要があります。

■サテライトを増設するには

あとからWARPSTARサテライトを増設する場合は、①ドライバのインストール→②パソコンの接続の順で設定を行ってください。

- **WARPSTARサテライトとしてAterm WL11Eを接続できます。設定方法はWL11Eに添付の取扱説明書を参照してください。**
- **WARPSTARベースのルータ設定は、1台目で設定した内容が書き込まれています。**
- **1台目で設定した接続設定を利用する場合は、インターネット接続設定をする必要がありません。**

お願い

●WARPSTARサテライトを増設する場合には、最新のバージョンのCD-ROMを使用して設定してください。

お知らせ

●WARPSTARサテライトカードタイプとしてWL11CAとWL11Cがありますが、ここではWL11CAと総称して説明しています。

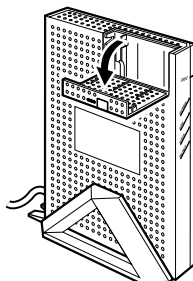
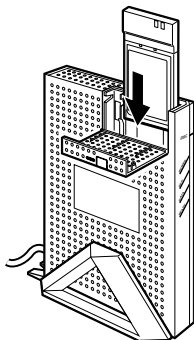
WARPSTARベースにWL11CAを取り付ける

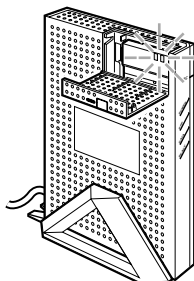
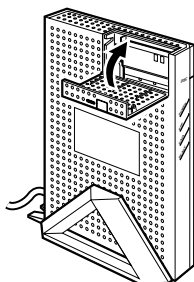
WARPSTARベースにWL11CAを装着し、さらにWARPSTARサテライト（別のWL11UやWL11CA）を登録設定すると、ワイヤレスLANがご利用いただけます。
※ワイヤレスLANセットにはワイヤレスLANを利用するためのWL11CAが同梱されています。
本体のUSBポートやETHERNETポートに接続したパソコンの他、WARPSTARサテライトに接続したパソコンから、ワイヤレスでインターネットに接続したり、パソコン間でのデータの共有が可能となります。

■拡張カードスロットにWL11CAを取り付ける

1 **WARPSTARベースの電源スイッチを切る（「○」側を押す）**
POWERランプが消灯していることを確認してください。

2 **WARPSTARベースの側面の開閉カバーを開く**

（次ページに続く）

3 **WL11CA を拡張カードスロットに装着する**

4 **WARPSTAR ベースの電源スイッチを入れる（「I」側を押す）**

5 **拡張カードスロットに装着した WL11CA の PWR ランプが緑色に点灯し、ACT ランプが点滅することを確認する**

6 **WARPSTAR ベースの電源スイッチを切って（「○」側を押す）、開閉カバーを閉める**

らくらくアシスタントをインストールする

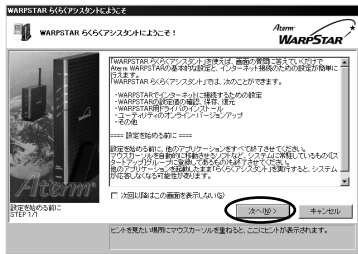
らくらくアシスタントのインストール方法は、「3-1　WARPSTARベースのETHERNETポートにパソコンを接続する場合」「らくらくアシスタントをインストールする　■ Windows® の場合」を参照してください。（☛P3-5）
らくらくアシスタントをインストールし、らくらくアシスタントが起動したら、次項の「らくらくアシスタントで設定をする（サテライト）」を行ってください。

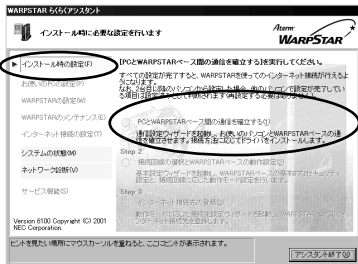
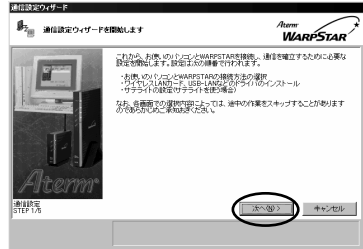
お知らせ

- PPPoEの外付けADSLモデムを使用するとき、ADSLモデムに付属のユーティリティではパソコンを1台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はADSLモデムに付属のユーティリティは使用しないでください。らくらくアシスタントまたはクイック設定Webで設定をしてください。

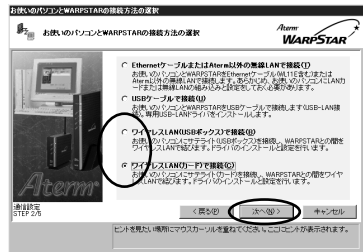
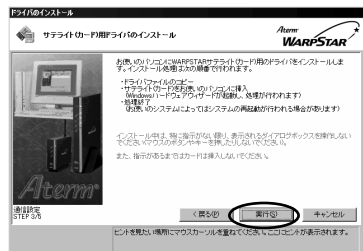
らくらくアシスタントで設定する（サテライト）

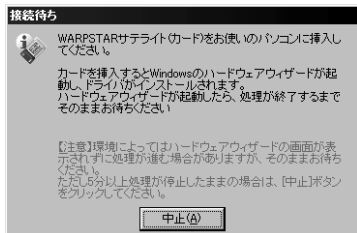
●WARPSTAR サテライトは、手順 7 の画面が表示されるまでパソコンとは接続しないでください。

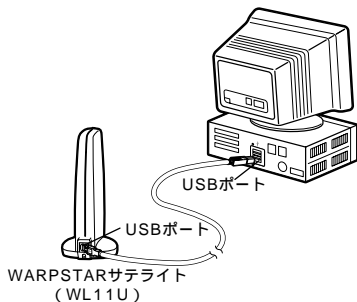
1 **らくらくアシスタントを起動する（☞P3-6）**

2 **［次へ］をクリックする**

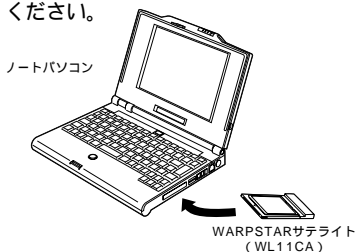
3 **［インストール時の設定］の［PC と WARPSTAR ベース間の通信を確立する］をクリックする**

4 **［次へ］をクリックする**

5 **［ワイヤレス LAN（USB ボックス）で接続］または［ワイヤレス LAN（カード）で接続］のどちらかを選択し、［次へ］をクリックする**

WL11U をご利用の場合は［ワイヤレス LAN（USB ボックス）で接続］、WL11CA をご利用の場合は［ワイヤレス LAN（カード）で接続］をクリックしてください。

6 **［実行］をクリックする**

7 次の画面が表示されたら、WARPSTARサテライトをパソコンに接続（WL11U）、または取り付け（WL11CA）する

画面はWL11CAの場合です。

● WL11Uを接続する

WL11UのUSBポートとパソコンのUSBポートを添付のUSBケーブルで接続するコネクタには向きがあります。パソコン側の端子にコネクタが合うように、向きを確認してしっかり差し込んでください。

● WL11CAを取り付ける

パソコンのカードスロットにWL11CAを取り付けます。コネクタの向きに注意して、しっかりと奥まで差し込んでください。

ドライバが自動的にインストールされます。

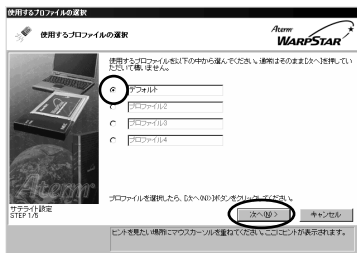
ドライバをアンインストールしたいときは（☛P3-25）を参照してください。

Windows® XPでは次の画面が表示されます。「Windows® XPでWARPSTARサテライトを使用するには」（☛P3-28）に進んでください。

8 ［実行］をクリックする

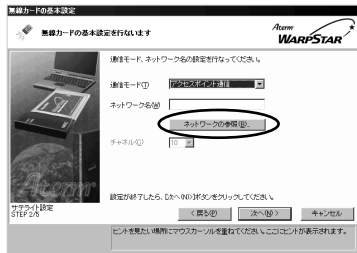
9 使用するプロファイルを選択し、［次へ］をクリックする

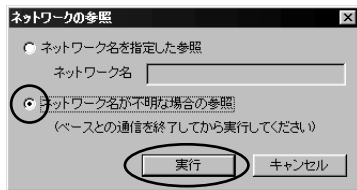
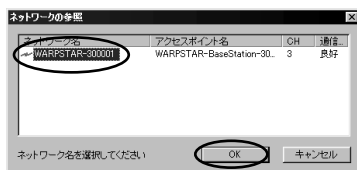
通常はそのまま［次へ］をクリックします。

（次ページに続く）

3 パソコンを接続しよう

10 WARPSTARベースの電源をいったん切ったあと、再び電源を入れる

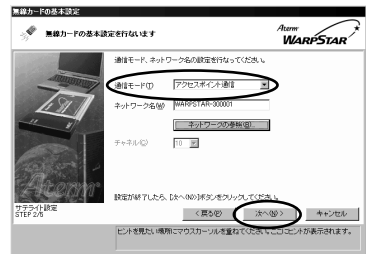
しばらくして、(前面の各ランプが点滅したあと) POWERランプが緑色に点灯します。

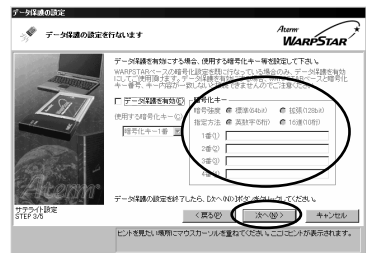
11 WARPSTARベースの電源を入れたあと［ネットワークの参照］をクリックする

WARPSTARベースを検索します(ネットワークの参照といいます)。

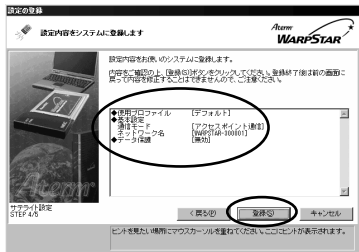
12 次の画面が表示されたときは［ネットワーク名が不明な場合の参照］を選択し、［実行］をクリックする

13 接続するWARPSTARベースのネットワーク名をクリックし、［OK］をクリックする

お願い

- 「ネットワークが見つかりません。」と表示された場合は[OK]をクリックして手順11の画面で［ネットワークの参照］をクリックしてください。それでもみつからない場合は、[ネットワーク名]の欄に直接ネットワーク名を入力してください。
- 工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-××××××」(××××××はWARPSTARベースの側面に記載されているWAN／PC(MACアドレス)の下6桁です。)

14 ［次へ］をクリックする

［通信モード］は［アクセスポイント通信］の設定のままにしてください。

15 ［次へ］をクリックする

WARPSTARベースが出荷状態のままの場合は暗号化(WEP)は設定されていないのでそのまま［次へ］をクリックしてください。
すでにWARPSTARベースに暗号化(WEP)の設定をしている場合のみデータ保護の設定を行います。(☛P7-14)

16 設定内容を確認し、［登録］をクリックする

設定内容をお使いのシステムに登録します。

17 ［設定終了］をクリックする

18 ［設定終了］をクリックする

19 続けて［接続回線の選択と WARPSTAR ベースの動作設定］を行う

→接続回線に合わせて 4 章に進みます。

■ WL11CA の取り扱いについて

〈取り付けるとき〉

・WL11CA のコネクタ部分に手を触れないようにしてください。

・コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。

〈取りはずすとき〉

・WL11CA を取りはずすときは、以下の操作で PC カードを取りはずせる状態にしてから取りはずしてください。

①タスクトレイの PC カードアイコンをクリックする

②［Aterm WL11C（PC-WL/11C）の停止］をクリックする（Windows® 98 の場合は［Aterm WL11C（PC-WL/11C）の中止］をクリックする、Windows® XP の場合は［Aterm WL11C（PC-WL/11C）を安全に取り外します］をクリックする）

③「'Aterm WL11C（PC-WL/11C）' は安全に取り外すことができます。」が表示されたら、［OK］をクリックする（Windows® XP の場合は ☒ をクリックして画面を閉じる）

④WL11CA を取りはずす

※ WL11CA を差し込んだ場合にも、タスクトレイのカードアイコンは WL11C と表示されます。

3 パソコンを接続しよう

■ WL11U の取り扱いについて

〈取りはずすとき〉

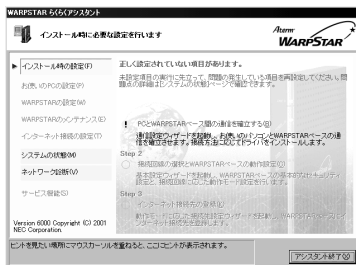
・Windows® XP/2000 で WL11U を取りはずすときは、以下の操作で取りはずせる状態にしてから取りはずしてください。

①タスクトレイの PC カードアイコンをクリックする
②[Aterm WL11U（PC-WL/11U）を安全に取り外します］をクリックする
③「‘Aterm WL11U（PC-WL/11U）’は安全に取り外すことができます。」が表示されたら、[OK] をクリックする。(Windows® XP の場合、 をクリックする)
④WL11U を取りはずす

お願い

●WL11CA の取り付け位置はパソコンにより異なりますので、必ずパソコンの取扱説明書を参照し、各メーカーの定める手順に従って取り付けてください。
●らくらくアシスタントが起動しないなどの理由で、手動で WARPSTAR をセットアップする場合は、添付の CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」「4 章　ドライバの手動インストール」を参照してください。

こんなときは

次の画面が表示された場合は、①〜⑥を確認してしてください。
パソコンのタスクトレイに［アクセスマネージャ］アイコンが表示されている場合は、①〜⑥の操作の前に、［アクセスマネージャ］アイコンを右クリックし、[終了］をクリックしてアクセスマネージャを終了させてから行ってください。

①［ネットワーク診断］―［LAN 側（PC → WARPSTAR ベース）のネットワーク診断］をクリックする
②［IP アドレス情報（LAN)］の［アダプタ］のプルダウンウィンドウの をクリックし、［WL11U(PC-WL/11U)］を選択する
③［すべて解放］をクリックする
④［再取得］をクリックする
⑤IP アドレスが［192.168.0.×××］になることを確認する
⑥［OK］をクリックする

※手順②は WARPSTAR サテライト(WL11U)の場合です。
WARPSTAR サテライト(WL11CA)のときは［WL11C(PC-WL/11C)］を選択してください。

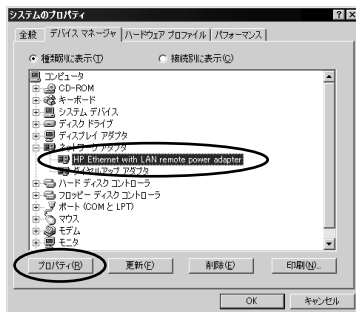
WARPSTARサテライトのドライバをアンインストールするには

① らくらくアシスタントを起動する
②［お使いのPCの設定］をクリックし、［各種ドライバのアンインストール］をクリックする
③ 画面の指示に従ってらくらくアシスタントを終了する
④ 画面の指示に従ってWARPSTARサテライトを取りはずし、［OK］をクリックする
⑤ アンインストールするドライバを選択する
⑥ 画面の指示に従ってアンインストールを行う
※ CD-ROMのメニュー画面から［ドライバのアンインストール］をクリックしてもドライバのアンインストールが行えます。

LANカードおよびLANボード機能を停止させるには

ETHERNETインタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LANカードおよびLANボード機能を停止させないとUSB-LANやWARPSTARサテライトが使用できない場合があります。以下の操作でLANカードおよびLANボード機能を停止させてから、らくらくアシスタントで設定を行ってください。

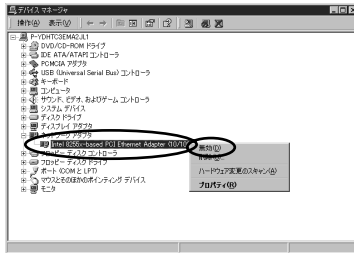
〈Windows® Me/98の場合〉

① ［スタート］—［設定］—［コントロールパネル］をクリックする
② ［システム］アイコンをダブルクリックする
③ ［デバイスマネージャ］タブをクリックする
④ ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑤ 不要なネットワークアダプタを選択し、［プロパティ］ボタンをクリックする

⑥ ［全般］タブの［このハードウェアプロファイルで使用不可にする］をチェックし、［OK］をクリックする

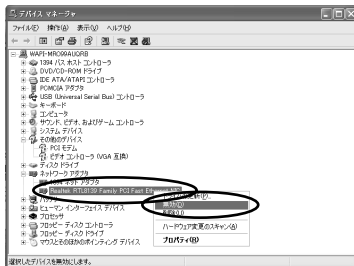
（次ページに続く）

LANカードおよびLANボード機能を停止させるには

〈Windows® 2000の場合〉

① ［スタート］─［設定］─［コントロールパネル］をクリックする
② ［システム］アイコンをダブルクリックする
③ ［ハードウェア］タブをクリックする
④ ［デバイスマネージャ］をクリックする
⑤ ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑥ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、［無効］を選択する

⑦ ［はい］をクリックする

〈Windows® XPの場合〉

① ［スタート］─［コントロールパネル］をクリックする
② ［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする
③ ［システム］アイコンをダブルクリックする
④ ［ハードウェア］タブをクリックする
⑤ ［デバイスマネージャ］をクリックする
⑥ ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑦ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、［無効］を選択する

⑧ ［はい］をクリックする

WARPSTAR ベースとの通信状態を確認する（サテライトマネージャ）

サテライトマネージャを起動すると、WARPSTAR ベースと WARPSTAR サテライトの通信状態を確認することができます。

1　タスクトレイの［サテライトマネージャ］アイコンを右クリックする

2　［状態］をクリックする

WARPSTAR ベースと WARPSTAR サテライトの通信状態が表示されます。

 WL11U ／ WL11CA が正しく接続されていません。

 WARPSTAR ベースがみつかりません。

 WARPSTAR ベースが正しく検出できています。

3　通信状態を確認し、［閉じる］をクリックする

無線の通信状態が「良好」となることを確認してください。「良好」と表示されないときは、「良好」と表示される位置までパソコンを移動してください。
アクセスポイント名が正しく表示されていることも確認してください。

お知らせ

●WARPSTAR は、無線データ通信を行ううえで必要なセキュリティ機能として WEP と MAC アドレスセキュリティを搭載しています。各設定方法の詳細については、「7 章 WARPSTAR のセキュリティ機能について」を参照してください。

・**WEP とは**

WEP（Wired Equivalent Privacy）は、ユーザが指定した任意の文字列（キー）からデータの暗号化を行う機能です。これにより、WARPSTAR ベースとサテライトとの間で送受信される無線通信データを暗号化して保護することができます。
WL11CA は 128bitWEP に対応しているため、より高いセキュリティを実現できます。

・**MAC アドレスセキュリティ機能とは**

お使いの WARPSTAR が登録されたサテライトとのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、登録されていない他のサテライトから LAN やインターネットへ接続するのを防ぐことができます。

●Windows® XP の場合はサテライトマネージャは使用できません。
次の手順で通信状態を確認できます。
①パソコン画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックする
②［状態］をクリックし、［全般］タブで確認する

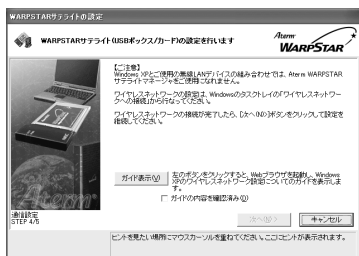
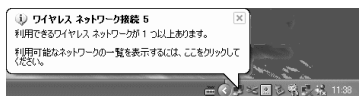
Windows® XP で WARPSTAR サテライトを使用するには

Windows® XP で WARPSTAR サテライトをご利用になる場合、サテライトマネージャはご利用になれません。次の手順で Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定を行ってください。

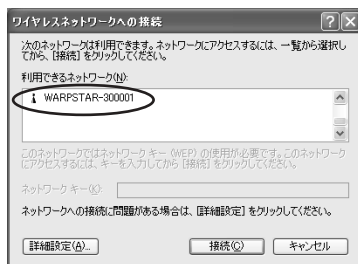
1 「らくらくアシスタントで設定をする（サテライト）」（☞P3-20）の手順 7 までを手順に従って行う

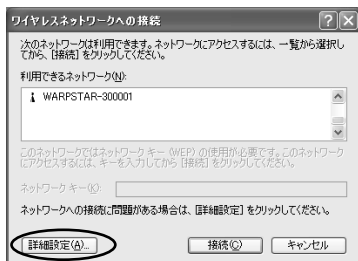
2 下図のような画面が表示されたら、この画面を残したままにしておく

［ガイド表示］をクリックするとワイヤレスネットワークについての説明が表示されます。

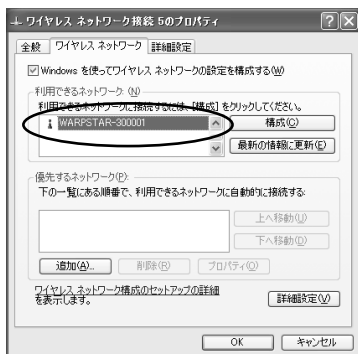
・ワイヤレスネットワーク接続の設定が完了するまで、［次へ］はクリックしないでください。

3 パソコンの画面右下の通知領域に下図のようなバルーンが表示される

4 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、［利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックする

5 「利用できるネットワーク」を選択する

・工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-xxxxxx」（xxxxxx は、WARPSTAR ベースの側面に記載されている WAN/PC（MAC アドレス）の下 6 桁です）。
・［利用できるネットワーク］に使用する WARPSTAR ベースが表示されていない場合には、WARPSTAR ベースの電源を入れ直し、手順 4 からやり直してください。

WARPSTAR ベースが出荷状態のままの場合、「暗号化（WEP）」は設定されていません。手順 10 へ進んでください。
WARPSTAR ベースに「暗号化」を設定している場合には、手順 6 ～ 9 を行ってください。

6 「暗号化」を設定している場合、［詳細設定］をクリックする

7 手順 5 で選択したネットワーク名をクリックする

すでに手順 5 で選択したネットワーク名が［優先するネットワーク］に表示されている場合は、［優先するネットワーク］欄からネットワーク名を選択し、［プロパティ］をクリックします。

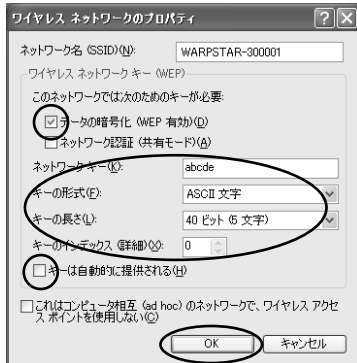
8 ①〜④の設定を行う

①［データの暗号化］にチェックする
②［キーは、自動的に提供される］のチェックをはずす
③［ネットワークキー］は、WARPSTARベースに入力した暗号化キーを入力してください。

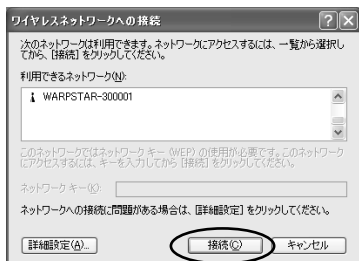
キーの形式：
WARPSTARベースで「指定方法」を英数字と設定した場合は、ASCII文字を選択してください。
WARPSTARベースで「指定方法」を16進数と設定した場合は、16進数を選択してください。

キーの長さ：
WARPSTARベースで「暗号強度」を標準（64bit）と設定した場合は、40bitを選択してください。
WARPSTARベースで「指定方法」を拡張（128bit）と設定した場合は、104bitを選択してください。

キーのインデックス：
お使いのWARPSTARベースの「使用する暗号化キー」の番号から、1を引いた数をキーの長さに入力する（WARPSTARベースでは、使用する暗号化キーは1〜4ですが、ワイヤレスネットワークでは、0〜3となっているためです。双方のキーを設定する“テーブル”を合わせないと、通信が行えません。）

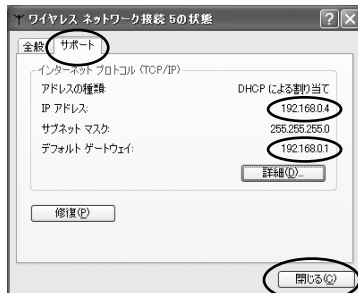
※WARPSTARベース側確認方法は、らくらくアシスタント［WARPSTARの設定］－［WARPSTARの詳細設定］－［無線LAN設定］タブまたは、クイック設定Webの［無線LAN側設定］－［暗号化（WEP)］で使用する暗号化キー番号を確認してください。

④［OK］をクリックする

9 **パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックする**

10 **[接続] をクリックする**

11 **パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[状態] をクリックする**

12 **無線設定が正しく行われていることを確認する**

・[状態] は「接続」になっていること
・[速度] が「11Mbps」になっていること

13 **[サポート] タブをクリックし、IP アドレスとデフォルトゲートウェイが正しく「192.168.0.xxx」になっていることを確認して、[閉じる] をクリックする**

14 **手順 2 で表示したままの画面で [ガイドの内容を確認済み] をチェック☑して、[次へ] をクリックする**

・ガイドを表示した場合は [ガイドの内容を確認済み] が☑になっていることを確認します。

15 **[設定終了] をクリックする**

お願い

●Windows® XPでお使いの無線LAN環境に接続可能なネットワークが複数存在する場合に、次のような現象が発生したときには添付CD-ROMに収録されている「Windows® XPのワイヤレスネットワーク接続をご利用になっているお客様へのご注意」を参照してください。

・らくらくアシスタントの設定などでWARPSTARベースの再起動が行われると接続されるネットワーク名が変わってしまう。

・らくらくアシスタントの設定などでWARPSTARベースの再起動が行われるとそれ以降、らくらくアシスタントの設定が行えなくなる。

・WARPSTARベースに接続できなくなる。

■らくらくアシスタントによるWARPSTARベースの設定とWindows® XPの対応について

WARPSTARサテライトを設定する場合、Windows® XPパソコンの場合はWindows® XPによる「ワイヤレスネットワークの設定」を使用します。
らくらくアシスタントとワイヤレスネットワークの設定には次の差分があります。
次の対応表をみて読み替えて設定してください。
また、サテライトマネージャでデータ保護の設定をする場合も同様に読み替えてください。

項　目	らくらくアシスタント（サテライトマネージャ）	ワイヤレスネットワークの設定
暗号化設定場所	データ保護のタブ	ワイヤレスネットワークのプロパティ
暗号化の有効設定場所	［データ保護を有効］のチェックボックス	［データの暗号化（WEP有効）］のチェックボックス　※1
暗号化キーの入力欄	［暗号化キー］の欄	［ネットワークキー］の欄
キー形式の選択	［指定方法］のチェックボックス	［キー形式］の欄
	英数字	ASCⅡ文字
	16進	16進
キーの長さの選択	［暗号強度］のチェックボックス	［キーの長さ］の欄
	64bit	40ビット
	128bit	104ビット
暗号化キー番号の選択	［暗号化キー］の欄が番号分けになっている	［キーのインデックス（詳細）］欄
利用可能キー番号	1～4番　※2	0～3番　※2

※1　同じ画面にある［キーは自動的に提供される］のチェックボックスを外すことにより［データの暗号化（WEP有効）］のチェックボックスが有効になります。
※2　ワイヤレスネットワークのキー番号はサテライトマネージャのキー番号から1を引いた番号と同じです。

3 パソコンを接続しよう

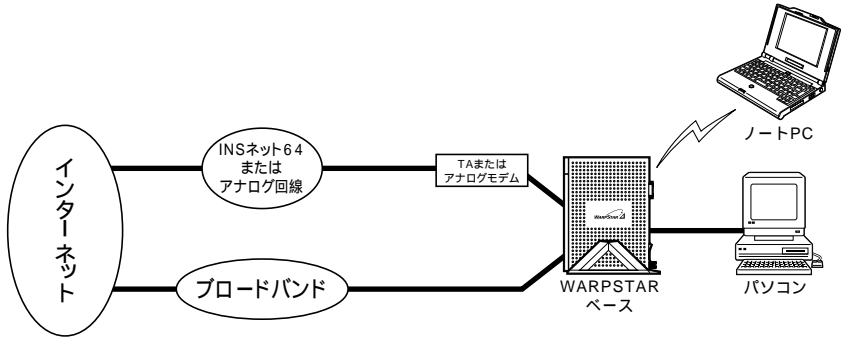
4 回線の選択とWARPSTARの設定をしよう

インターネットに接続するまでの設定と手順について説明しています。

Windows® の場合は接続回線ごとに説明しています。
接続回線に合わせて各項目を設定してください。
Macintosh の場合は 4-9 章で説明しています。

Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP operating system の略です。
Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 operating system の略です。

4-1 ADSL回線に接続する（WDR85FH）

インターネットへの接続の設定は、らくらくアシスタントの案内で簡単に行うことができます。ここでは内蔵ADSLモデムを利用してインターネット接続する場合を説明しています。

※ダイヤルアップを併用してTAを利用する場合、回線干渉の問題があり、ADSLの通信速度が遅くなったり、つながらなくなる場合があります。

インターネット接続設定をする前に

インターネット接続をする前に次のことを確認しましょう。

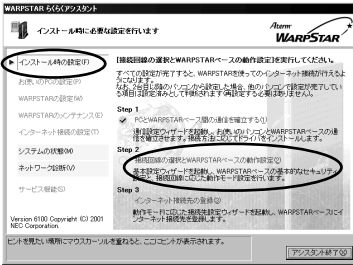
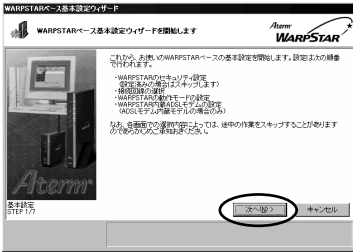
1 WARPSTARとADSL回線は正しく接続されていますか？

2 ADSL接続事業者およびプロバイダとのインターネット接続契約はお済みですか？

・WARPSTARをお使いになる前に、ADSL接続事業者およびプロバイダとの契約を済ませておいてください。
・WARPSTARの接続および設定には、下記のものが必要です。
①IPアドレスなどの設定情報
②ADSL接続のためのプロバイダからのユーザID、パスワードなどの接続情報
また、事前に通信回線が開通していることをご確認ください。

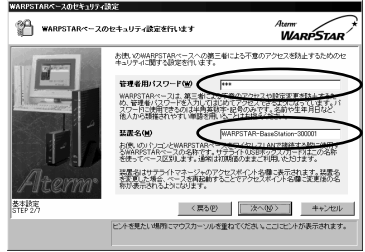
接続回線とWARPSTARベースを設定する

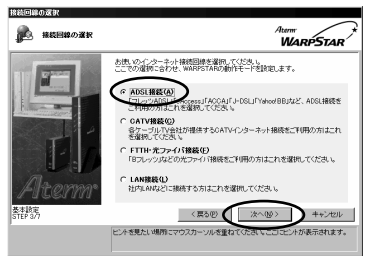
1　［接続回線の選択とWARPSTARベースの動作設定］をクリックする

らくらくアシスタントの［インストール時の設定］から選択します。

2　［次へ］をクリックする

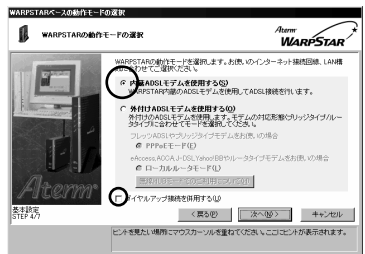
3　セキュリティの設定を入力する

①［管理者用パスワード］にWARPSTARベースの設定を変更するためのパスワードを入力します。パスワードには任意の半角英数字64文字まで入力できます。

②［装置名］には、WARPSTARベースの名称を入力します。通常は、お買い上げ時の設定のままでかまいません。

4　［次へ］をクリックする

5　［ADSL接続］を選択し、［次へ］をクリックする

6　［内蔵ADSLモデムを使用する］を選択する

ダイヤルアップ接続を併用するマルチラインの場合は、［ダイヤルアップ接続を併用する］に☑します。

（次ページに続く）

7 ［次へ］をクリックする

8 ご利用の ADSL モデム事業者を選択し、［次へ］をクリックする

▼ボタンをクリックし、ご利用の ADSL 事業者を選択すると内蔵 ADSL モデムの設定が表示されます。ご利用の事業者がリストにない場合は「その他の事業者」を選択して各設定を行ってください。（設定内容はホームページ AtermStation の接続確認済ブロードバンド事業者リストでご確認ください。）

※画面の ADSL 事業者は例です。接続する WARPSTAR ベースによって表示される ADSL 事業者が異なります。

※WDR85FH／CE で「フレッツ・ADSL」に接続する場合は、次のように設定します。

ご利用の ADSL 事業者：
「その他の事業者」を選択します。

設定名：
設定内容がわかるよう任意の設定名を入力してください。

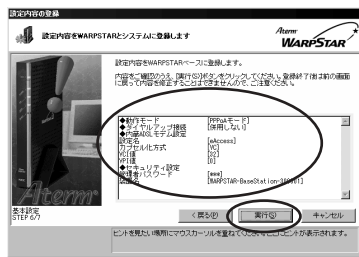
通信方式（動作モード）：
［PPPoE］をチェックします。

カプセル化方式：
「LLC」をチェックします。

PVC の VCI 値：
「32」を入力します。

PVC の VPI 値：
「0」を入力します。

9 設定内容を確認し、［実行］をクリックする

設定内容を WARPSTAR ベースに登録します。

※パスワード入力の画面が表示されたときは、設定済みの管理者用パスワードを入力して［OK］をクリックします。

10 ［設定終了］をクリックする

お知らせ

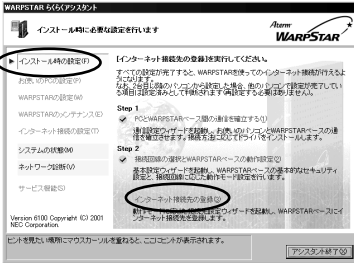
●管理者用パスワードは、WARPSTAR ベースを設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワード＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

パスワードは上記の下線の箇所に記入しておくことをお勧めします。
忘れた場合は、ディップスイッチで WARPSTAR ベースを工場出荷状態に戻して設定を消去してください。（☞P9-12）

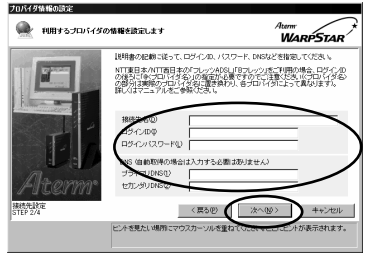
インターネット接続を設定する

1　［インターネット接続先の登録］をクリックする

らくらくアシスタントの［インストール時の設定］から選択します。

2　［次へ］をクリックする

3　プロバイダに接続するための情報を入力し、［次へ］をクリックする

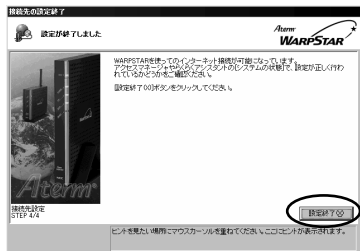
①[接続先名］にプロバイダの名称を任意に入力します。

②接続事業者／プロバイダからの情報に従って「ログインID」(ユーザID)（例：プロバイダから与えられたログインID@biglobe.ne.jp など。@以下は事業者によって異なります。）と「パスワード」を入力します。［プライマリDNS］、［セカンダリDNS］を半角英数字で入力します。

4　設定内容を確認し、［実行］をクリックする

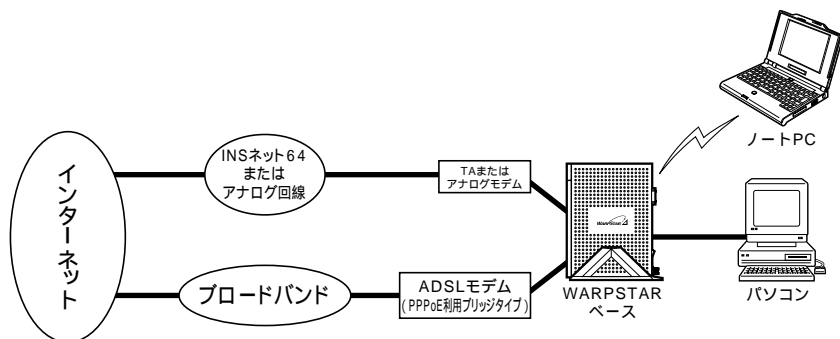
WARPSTARベースの設定が自動的に行われ、WARPSTARベースが再起動します。

（次ページに続く）

5 ［設定終了］をクリックする

らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

6 らくらくアシスタントを終了するときは、［アシスタント終了］をクリックする

4-2 外付けADSLモデム（PPPoE利用ブリッジタイプ）接続を設定する

インターネットへの接続の設定は、らくらくアシスタントの案内で簡単に行うことができます。ここではフレッツ・ADSLなどPPPoEに対応したADSLモデムに接続してインターネット接続する場合を説明しています。
Yahoo! BBに接続する場合や外付けルータタイプのADSLモデムを接続している場合は、「4-3　外付けADSLモデム（ルータタイプ）接続を設定する」の手順で接続してください。（☞P4-12）

※ダイヤルアップを併用してTAを利用する場合、回線干渉の問題があり、ADSLの通信速度が遅くなったり、つながらなくなる場合があります。

インターネット接続設定をする前に

インターネット接続をする前に次のことを確認しましょう。

1 ADSLモデムとADSL回線は正しく接続されていますか？

2 ADSL接続事業者およびプロバイダとのインターネット接続契約はお済みですか？

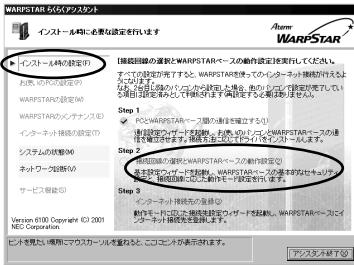
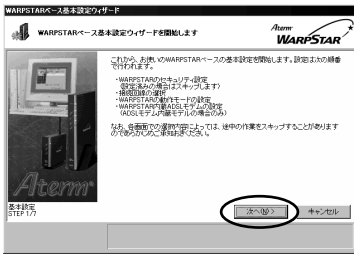
・WARPSTARをお使いになる前に、ADSL接続事業者およびプロバイダとの契約を済ませておいてください。
・WARPSTARの接続および設定には、下記のものが必要です。
①IPアドレスなどの設定情報
②ADSL接続のためのプロバイダからのユーザID、パスワードなどの接続情報
また、事前に通信回線が開通していることをご確認ください。

お知らせ

●パソコンにADSLモデムに添付されていたPPPoE接続専用ソフトを入れたまま使用していたり、Windows® XPのPPPoE機能を使用している場合、ADSLサービスによっては、パソコンを1台しかインターネットに接続できません。
複数のパソコンを同時に接続できるADSLサービスを契約せずに、同時に2台以上接続したい場合は、ADSLモデム用のPPPoE接続専用ソフトウェアやWindows® XPのPPPoE機能の使用は止めて、再度、WARPSTARのユーティリティで設定し直してください。

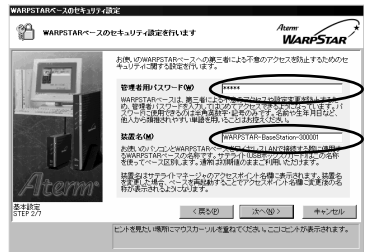
接続回線とWARPSTARベースを設定する

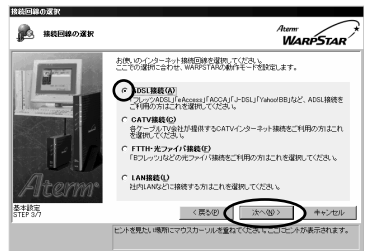
1 **［接続回線の選択とWARPSTARベースの動作設定］をクリックする**

らくらくアシスタントの［インストール時の設定］から選択します。

2 **［次へ］をクリックする**

3 **セキュリティの設定を入力する**

①［管理者用パスワード］にWARPSTARベースの設定を変更するためのパスワードを入力します。パスワードには任意の半角英数字64文字まで入力できます。

②［装置名］には、WARPSTARベースの名称を入力します。通常は、お買い上げ時の設定のままでかまいません。

4 **［次へ］をクリックする**

5 **［ADSL接続］を選択し、［次へ］をクリックする**

6 ［外付け ADSL モデムを使用する］と［PPPoE モード］を選択する

ダイヤルアップ接続を併用するマルチラインの場合は、［ダイヤルアップ接続を併用する］に☑します。

7 ［次へ］をクリックする

8 設定内容を確認し、［実行］をクリックする

設定内容を WARPSTAR ベースに登録します。

※パスワード入力の画面が表示されたときは、設定済みの管理者用パスワードを入力して［OK］をクリックします。

9 ［設定終了］をクリックする

お知らせ

●管理者用パスワードは、WARPSTAR ベースを設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワード＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

パスワードは上記の下線の箇所に記入しておくことをお勧めします。
忘れた場合は、ディップスイッチで WARPSTAR ベースを工場出荷状態に戻して設定を消去してください。（☞P9-12）

インターネット接続を設定する

1 ［インターネット接続先の登録］をクリックする

らくらくアシスタントの［インストール時の設定］から選択します。

2 ［次へ］をクリックする

3 プロバイダに接続するための情報を入力し、［次へ］をクリックする

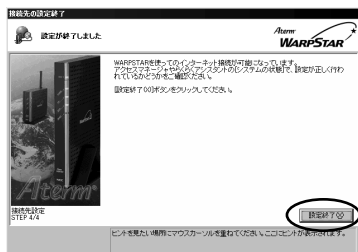
①［接続先名］にプロバイダの名称を任意に入力します。

②接続事業者／プロバイダからの情報に従って「ログインID」（ユーザID）（例：XXXXX@biglobe.ne.jp など）と「パスワード」を入力します。［プライマリ DNS］、［セカンダリ DNS］を半角英数字で入力します。

4 設定内容を確認し、［実行］をクリックする

WARPSTARベースの設定が自動的に行われ、WARPSTARベースが再起動します。

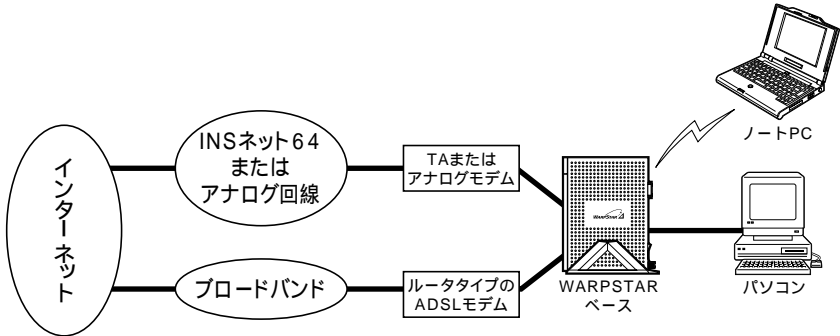
5 ［設定終了］をクリックする

らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

6 らくらくアシスタントを終了するときは、［アシスタント終了］をクリックする

4-3 外付けADSLモデム（ルータタイプ）接続を設定する

インターネットへの接続の設定は、らくらくアシスタントの案内で簡単に行うことができます。ここではルータタイプおよびPPPoE利用以外のブリッジタイプのADSLモデムに接続してローカルルータモードでインターネット接続する場合を説明しています。

お知らせ

●外付けルータタイプのモデムと接続する場合は、WARPSTARの持つルータ機能を十分にご利用いただけない場合があります。またルータ機能を持つ装置を多重した接続になるため、回線が持つスループットを十分に引き出すことができない場合があります。その場合は、WARPSTARのルータ機能を止めて使用するHUB（無線HUB）モードのご利用をお勧めします。（☛P8-28）
WARPSTAR独自の機能をご利用いただく場合は、ローカルルータモードでご使用ください。

※ダイヤルアップを併用してTAを利用する場合、回線干渉の問題があり、ADSLの通信速度が遅くなったり、つながらなくなる場合があります。

インターネット接続設定する前に

インターネット接続設定をする前に次のことを設定しましょう。

1 ADSLモデムと回線は正しく接続されていますか？

接続の方法や確認は、ADSLモデムの取扱説明書を参照してください。

- **ルータタイプのADSLモデム等で設定が必要な場合、「5-1　インターネットに接続する」（☛P5-2）までの設定をしてWARPSTARベースとADSLモデムの接続が完了してからADSLモデムの設定を行ってください。**

2 ブロードバンド接続事業者およびプロバイダとのインターネット接続契約はお済みですか？

・WARPSTARをお使いになる前に、ブロードバンド接続事業者およびプロバイダとの契約を済ませておいてください。
・WARPSTARの接続および設定には、下記のものが必要です。
①ブロードバンドモデム
②IPアドレスなどの設定情報
また、事前に通信回線が開通していることをご確認ください。

接続回線と WARPSTAR ベースを設定する

1 **［接続回線の選択と WARPSTAR ベースの動作設定］をクリックする**

らくらくアシスタントの［インストール時の設定］から選択します。

2 **［次へ］をクリックする**

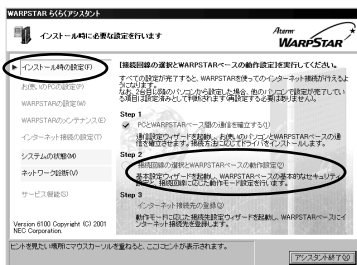
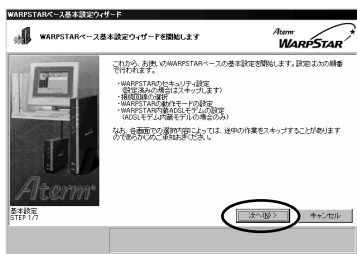
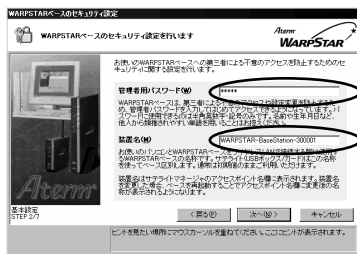
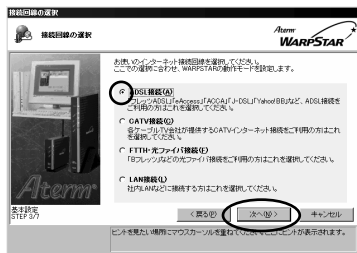
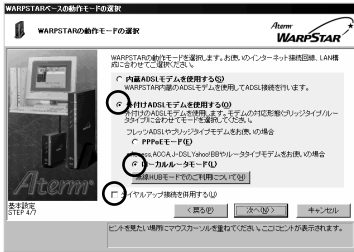
3 **LAN の設定を入力する**

①［管理者用パスワード］に WARPSTAR ベースの設定を変更するためのパスワードを入力します。パスワードには任意の半角英数字 64 文字まで入力できます。

②［装置名］には、WARPSTAR ベースの名称を入力します。通常は、お買い上げ時の設定のままでかまいません。

4 **［次へ］をクリックする**

5 **［ADSL 接続］を選択し、［次へ］をクリックする**

（次ページに続く）

6 [外付け ADSL モデムを使用する] と [ローカルルータモード] を選択する

ダイヤルアップ接続を併用するマルチラインの場合は、[ダイヤルアップ接続を併用する] に☑します。

7 [次へ] をクリックする

8 設定内容を確認し、[実行] をクリックする

設定内容を WARPSTAR ベースに登録します。

※パスワード入力の画面が表示されたときは、設定済みの管理者用パスワードを入力して [OK] をクリックします。

9 [設定終了] をクリックする

お知らせ

●管理者用パスワードは、WARPSTAR ベースを設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

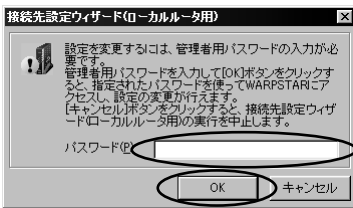
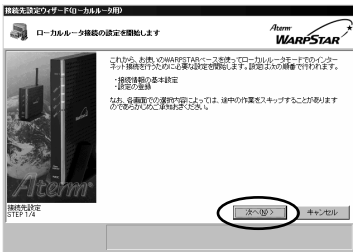
管理者用パスワード＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

パスワードは上記の下線の箇所に記入しておくことをお勧めします。
忘れた場合は、ディップスイッチで WARPSTAR ベースを工場出荷状態に戻して設定を消去してください。(☞P9-12)

インターネット接続を設定する

1 ［インターネット接続先の登録］をクリックする

らくらくアシスタントの［インストール時の設定］から選択します。

2 設定した管理者用パスワードを入力し、［OK］をクリックする

3 ［次へ］をクリックする

4 ブロードバンドインターネット接続に必要な基本設定を入力し、［次へ］をクリックする

ご加入の接続事業者の案内に従って入力してください。通常は何も設定する必要はありません。

DHCP クライアント機能：
WARPSTAR の WAN 側をブロードバンド通信網の DHCP クライアントとして利用する場合は［WAN 側を DHCP クライアントとして扱う］に☑します。WARPSTAR の WAN 側に固定の IP アドレスを指定する場合はチェックをはずしてください。

IP アドレス/ネットマスク：
WAN 側に固定 IP アドレスを使用する場合は、WARPSTAR ベースの WAN 側の IP アドレス、ネットマスクを設定します。WAN 側を DHCP クライアントとして使用する場合は特に指定する必要はありません。

ゲートウェイアドレス：
WARPSTAR ベースの WAN 側のゲートウェイアドレスを設定します。特に指定の必要がない場合は空欄のままでかまいません。

プライマリ／セカンダリ DNS ：
WARPSTAR ベースの WAN 側の DNS サーバを設定します。

（次ページに続く）

ドメイン名／ホスト名：

WARPSTARベースのWAN側のドメイン名、ホスト名を設定します。接続事業者から指定がない場合は空欄のままでかまいません。

5 設定内容を確認し、[実行] をクリックする

WARPSTARベースの設定が自動的に行われ、WARPSTARベースが再起動します。

6 下の画面が表示された場合は、WARPSTARベースとブロードバンドモデムを添付のETHERNETケーブルで接続する

お知らせ

●ブロードバンドモデムとWARPSTARベースを並べて設置する場合は、添付のクロス変換アダプタ／ケーブルを使用すると便利です。

7 接続が正しく行われたことを確認し、[OK] をクリックする

8 WAN側IPアドレスの欄にIPアドレスが表示されていることを確認する

WAN側IPアドレスの欄が空欄または「0.0.0.0」の場合は、ブロードバンドモデムのIPアドレスが「192.168.0.XXX」になっていることが考えられます。この場合は、WARPSTARベースのIPアドレスの下から2桁目を「192.168.2.1」などに変更してください。WARPSTARベースのIPアドレスは「らくらくアシスタント」－「WARPSTARの設定」－「WARPSTARの詳細設定」の「LAN設定」タブで変更します。それでもWAN側IPアドレスが表示されない場合は次ページの「?WAN側IPアドレスが正しく設定されていない場合」をご覧ください。

9 [設定終了] をクリックする

お知らせ

●ルータタイプの ADSL モデムなどで、ブラウザを使ってインターネット接続のための設定が必要な場合は、アクセスマネージャを使ってインターネット接続状態（☛P5-2）にしてから、ブロードバンドモデムの取扱説明書に従って設定してください。
設定後、一時的に WAN 側 IP アドレスが取れなくなって切断される場合があります。アクセスマネージャの［状態］メニューから［IP 再取得］を行って IP アドレスを取り直してください。

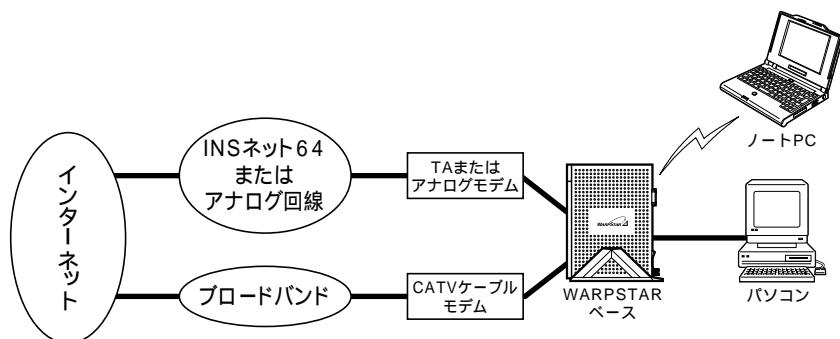
WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合

● WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。
らくらくアシスタントの［ネットワーク診断］をクリックし、［インターネット接続（PC →インターネット）の診断］をクリックします。
［IP アドレス情報（WAN）］タブで IP アドレスが表示されているか確認してください（アクセスマネージャのメニュー［状態］で［ローカルルータ接続］タブをクリックし、［詳細］をクリックしても表示できます）。［再取得］でも IP アドレスが表示されない場合は、ブロードバンドモデムがエラー表示していないか、または WARPSTAR ベースの背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑点灯しているか確認してください。（☛P2-6）

IP アドレスがとれているとき

IP アドレスがとれていないとき

4-4 CATV ケーブルモデム接続を設定する

ここでは、CATV ケーブルモデムに接続してインターネットに接続する場合と、その他既存の LAN に接続してインターネット接続する場合を説明しています。

インターネット接続設定をする前に

インターネット接続設定をする前に次のことを設定しましょう。

1 CATV ケーブルモデムと回線は正しく接続されていますか？

接続の方法や確認は、CATV ケーブルモデムの取扱説明書を参照してください。

- **ルータタイプの ADSL モデム等で設定が必要な場合、「5-1　インターネットに接続する」（☛P5-2）までの設定をして WARPSTAR ベースと ADSL モデムの接続が完了してから ADSL モデムの設定を行ってください。**

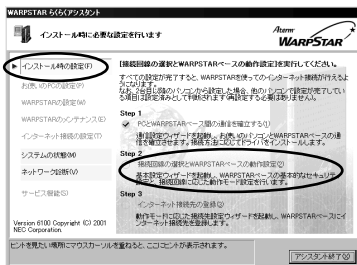
2 CATV 接続事業者およびプロバイダとのインターネット接続契約はお済みですか？

・WARPSTAR をお使いになる前に、CATV 接続事業者およびプロバイダとの契約を済ませておいてください。

・WARPSTAR の接続および設定には、下記のものが必要です。
① CATV ケーブルモデム
② IP アドレスなどの設定情報
また、事前に通信回線が開通していることをご確認ください。

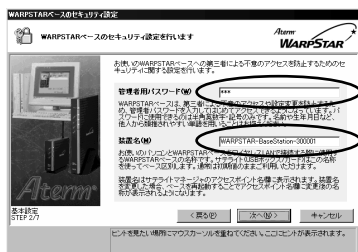
接続回線と WARPSTAR ベースを設定する

1　［接続回線の選択と WARPSTAR ベースの動作設定］をクリックする

らくらくアシスタントの［インストール時の設定］から選択します。

2　［次へ］をクリックする

3　LAN の設定を入力する

①［管理者用パスワード］に WARPSTAR ベースの設定を変更するためのパスワードを入力します。パスワードには任意の半角英数字 64 文字まで入力できます。

②［装置名］には、WARPSTAR ベースの名称を入力します。通常は、お買い上げ時の設定のままでかまいません。

4　［次へ］をクリックする

5　［CATV 接続］を選択し、［次へ］をクリックする

（次ページに続く）

6 ［ローカルルータモード］を選択する

ダイヤルアップ接続を併用するマルチラインの場合は、［ダイヤルアップ接続を併用する］に☑します。

7 ［次へ］をクリックする

8 設定内容を確認し、［実行］をクリックする

設定内容を WARPSTAR ベースに登録します。

※パスワード入力の画面が表示されたときは、設定済みの管理者用パスワードを入力して［OK］をクリックします。

9 ［設定終了］をクリックする

お知らせ

●管理者用パスワードは、WARPSTAR ベースを設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワード____________________________

パスワードは上記の下線の箇所に記入しておくことをお勧めします。
忘れた場合は、ディップスイッチで WARPSTAR ベースを工場出荷状態に戻して設定を消去してください。（☛P9-12）

インターネット接続を設定する

1

［インターネット接続先の登録］をクリックする

らくらくアシスタントの［インストール時の設定］から選択します。

2

設定した管理者用パスワードを入力し、［OK］をクリックする

3

［次へ］をクリックする

（次ページに続く）

4 ブロードバンドインターネット接続に必要な基本設定を入力し、［次へ］をクリックする

ご加入の接続事業者の案内に従って入力してください。

DHCP クライアント機能：

WARPSTAR の WAN 側をブロードバンド通信網の DHCP クライアントとして利用する場合は［WAN 側を DHCP クライアントとして扱う］に☑します。WARPSTAR の WAN 側に固定の IP アドレスを指定する場合はチェックをはずしてください。

IP アドレス/ネットマスク：

WAN 側に固定 IP アドレスを使用する場合は、WARPSTAR ベースの WAN 側の IP アドレス、ネットマスクを設定します。WAN 側を DHCP クライアントとして使用する場合は特に指定する必要はありません。

ゲートウェイアドレス：

WARPSTAR ベースの WAN 側のゲートウェイアドレスを設定します。特に指定の必要がない場合は空欄のままでかまいません。

プライマリ／セカンダリ DNS ：

WARPSTAR ベースの WAN 側の DNS サーバを設定します。

ドメイン名／ホスト名：

WARPSTAR ベースの WAN 側のドメイン名、ホスト名を設定します。接続事業者から指定がない場合は空欄のままでかまいません。

5 設定内容を確認し、［実行］をクリックする

WARPSTAR ベースの設定が自動的に行われ、WARPSTAR ベースが再起動します。

6 下の画面が表示された場合は、WARPSTAR ベースとブロードバンドモデムを添付の ETHERNET ケーブルで接続する

お知らせ

- ブロードバンドモデムと WARPSTAR ベースを並べて設置する場合は、添付のクロス変換アダプタ／ケーブルを使用すると便利です。

7 接続が正しく行われたことを確認し、［OK］をクリックする

8 WAN 側 IP アドレスの欄に IP アドレスが表示されていることを確認する

WAN 側 IP アドレスの欄が空欄または「0.0.0.0」の場合は、ブロードバンドモデムの IP アドレスが「192.168.0.XXX」になっていることが考えられます。この場合は、WARPSTAR ベースの IP アドレスの下から 2 桁目を「192.168.2.1」などに変更してください。WARPSTAR ベースの IP アドレスは「らくらくアシスタント」－「WARPSTAR の設定」－「WARPSTAR の詳細設定」の「LAN 設定」タブで変更します。それでも WAN 側 IP アドレスが表示されない場合は下記の「?WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合」をご覧ください。

9 ［設定終了］をクリックする

? WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合

- WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。
  らくらくアシスタントの［ネットワーク診断］をクリックし、［インターネット接続（PC →インターネット）の診断］をクリックします。
  ［IP アドレス情報（WAN）］タブで IP アドレスが表示されているか確認してください（アクセスマネージャのメニュー［状態］で［ローカルルータ接続］タブをクリックし、［詳細］をクリックしても表示できます）。［再取得］でも IP アドレスが表示されない場合は、ブロードバンドモデムがエラー表示していないか、または WARPSTAR ベースの背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑点灯しているか確認してください。（☛P2-6）

IP アドレスがとれているとき

IP アドレスがとれていないとき

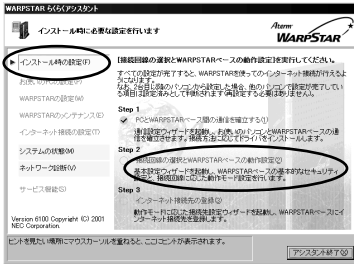
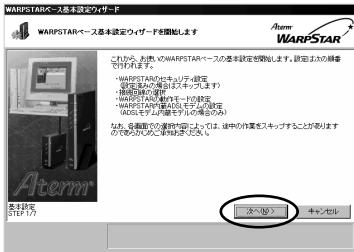
- 接続事業者によっては、接続機器の MAC アドレスを申請していないと IP アドレスが正しく設定されないことがあります。WARPSTAR 側面の WAN/PC の MAC アドレスを申請してください。

4-5 FTTH・光ファイバ接続を設定する

ここではBフレッツなどのFTTH・光ファイバに接続する場合を説明しています。

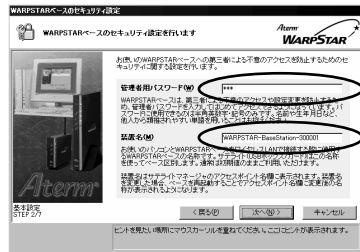
接続回線とWARPSTARベースを設定する

1 ［接続回線の選択とWARPSTARベースの動作設定］をクリックする

らくらくアシスタントの［インストール時の設定］から選択します。

2 ［次へ］をクリックする

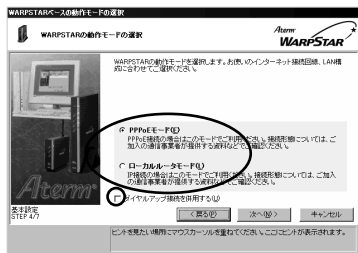
3 LANの設定を入力する

①［管理者用パスワード］にWARPSTARベースの設定を変更するためのパスワードを入力します。パスワードには任意の半角英数字64文字まで入力できます。

②［装置名］には、WARPSTARベースの名称を入力します。通常は、お買い上げ時の設定のままでかまいません。

4 ［次へ］をクリックする

5 ［FTTH・光ファイバ接続］を選択し、［次へ］をクリックする

6 ［PPPoE モード］または［ローカルルータモード］を選択する

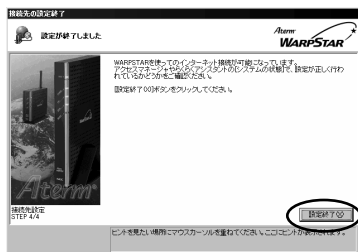
ダイヤルアップ接続を併用するマルチラインの場合は、［ダイヤルアップ接続を併用する］に☑します。

※どちらを選択するかは接続事業者に確認してください。
Bフレッツの場合はPPPoEモードを選択します。

7 ［次へ］をクリックする

8 設定内容を確認し、［実行］をクリックする

設定内容をWARPSTARベースに登録します。

※パスワード入力の画面が表示されたときは、設定済みの管理者用パスワードを入力して［OK］をクリックします。

9 ［設定終了］をクリックする

10 続けて［インターネット接続先の登録］を行う

PPPoEモード（☛P4-26）
ローカルルータモード（☛P4-27）

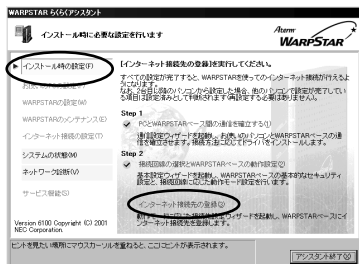
お知らせ

●管理者用パスワードは、WARPSTARベースを設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワード＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

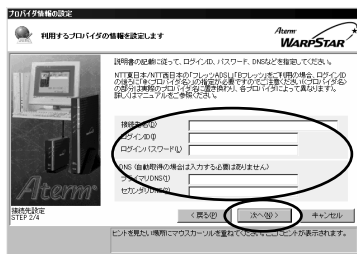
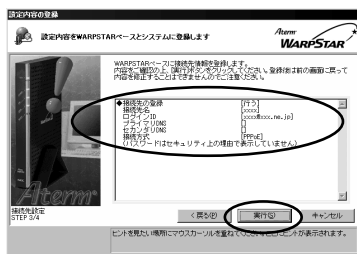
パスワードは上記の下線の箇所に記入しておくことをお勧めします。
忘れた場合は、ディップスイッチでWARPSTARベースを工場出荷状態に戻して設定を消去してください。（☛P9-12）

インターネット接続を設定する（PPPoE モード）

1 **[インターネット接続先の登録]をクリックする**

らくらくアシスタントの［インストール時の設定］から選択します。

2 **［次へ］をクリックする**

3 **プロバイダに接続するための情報を入力し、［次へ］をクリックする**

①[接続先名］にプロバイダの名称を任意に入力します。
②接続事業者／プロバイダからの情報に従って［ログインID］（ユーザID）（例：XXXXX@biglobe.ne.jp など）と「パスワード」を入力します。［プライマリ DNS］、［セカンダリ DNS］を半角英数字で表します。

4 **設定内容を確認し、［実行］をクリックする**

WARPSTAR ベースの設定が自動的に行われます。

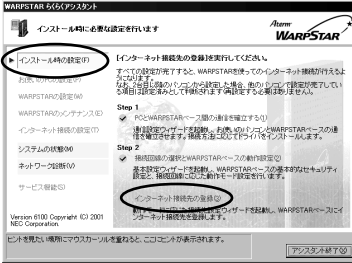
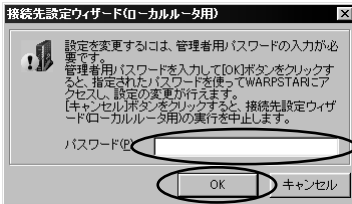
5 **［設定終了］をクリックする**

らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

6 **らくらくアシスタントを終了するときは、［アシスタント終了］をクリックする**

インターネット接続を設定する（ローカルルータモード）

1 ［インターネット接続先の登録］をクリックする

らくらくアシスタントの［インストール時の設定］から選択します。

2 設定した管理者用パスワードを入力し、［OK］をクリックする

3 ［次へ］をクリックする

4
回線の選択とWARPSTARの設定をしよう

（次ページに続く）

4 ブロードバンドインターネット接続に必要な基本設定を入力し、[次へ] をクリックする

ご加入の接続事業者の案内に従って入力してください。

DHCP クライアント機能：

WARPSTAR の WAN 側をブロードバンド通信網の DHCP クライアントとして利用する場合は［WAN 側を DHCP クライアントとして扱う］に☑します。WARPSTAR の WAN 側に固定の IP アドレスを指定する場合はチェックをはずしてください。

IP アドレス/ネットマスク：

WAN 側に固定 IP アドレスを使用する場合は、WARPSTAR ベースの WAN 側の IP アドレス、ネットマスクを設定します。WAN 側を DHCP クライアントとして使用する場合は特に指定する必要はありません。

ゲートウェイアドレス：

WARPSTAR ベースの WAN 側のゲートウェイアドレスを設定します。特に指定の必要がない場合は空欄のままでかまいません。

プライマリ／セカンダリ DNS ：

WARPSTAR ベースの WAN 側の DNS サーバを設定します。

ドメイン名／ホスト名：

WARPSTAR ベースの WAN 側のドメイン名、ホスト名を設定します。接続事業者から指定がない場合は空欄のままでかまいません。

5 設定内容を確認し、[実行] をクリックする

WARPSTAR ベースの設定が自動的に行われ、WARPSTAR ベースが再起動します。

6 下の画面が表示された場合は、WARPSTAR ベースとブロードバンドモデムを添付の ETHERNET ケーブルで接続する

お知らせ

- ブロードバンドモデムと WARPSTAR ベースを並べて設置する場合は、添付のクロス変換アダプタ／ケーブルを使用すると便利です。

7 接続が正しく行われたことを確認し、[OK] をクリックする

8 WAN側IPアドレスの欄にIPアドレスが表示されていることを確認する

WAN側IPアドレスの欄が空欄または「0.0.0.0」の場合は、ブロードバンドモデムのIPアドレスが「192.168.0.XXX」になっていることが考えられます。この場合は、WARPSTARベースのIPアドレスの下から2桁目を「192.168.2.1」などに変更してください。WARPSTARベースのIPアドレスは「らくらくアシスタント」－「WARPSTARの設定」－「WARPSTARの詳細設定」の「LAN設定」タブで変更します。それでもWAN側IPアドレスが表示されない場合は下記の「?WAN側IPアドレスが正しく設定されていない場合」をご覧ください。

9 [設定終了]をクリックする

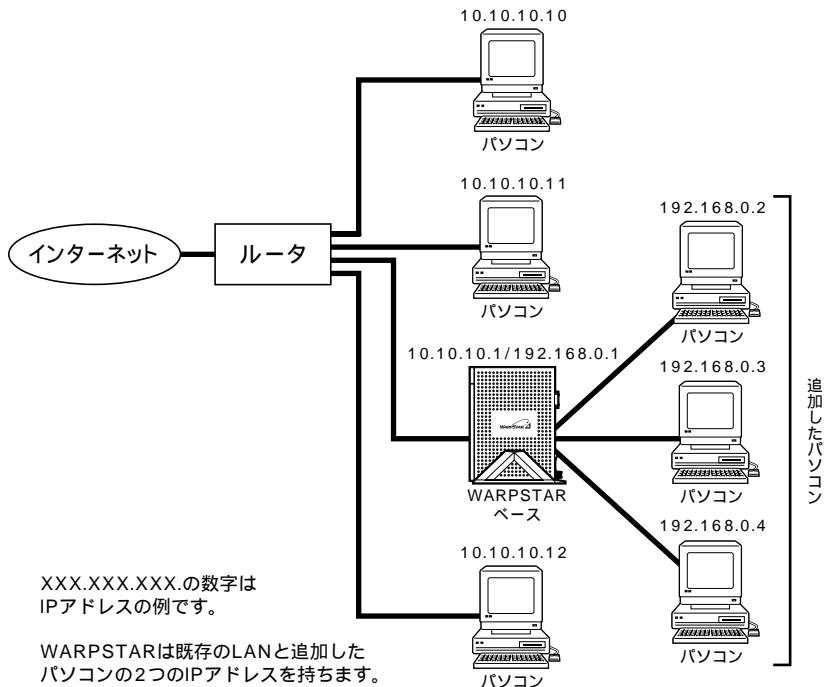
? WAN側IPアドレスが正しく設定されていない場合

● WAN側IPアドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。
らくらくアシスタントの［ネットワーク診断］をクリックし、［インターネット接続（PC→インターネット）の診断］をクリックします。
［IPアドレス情報（WAN）］タブでIPアドレスが表示されているか確認してください（アクセスマネージャのメニュー［状態］で［ローカルルータ接続］タブをクリックし、［詳細］をクリックしても表示できます）。［再取得］でもIPアドレスが表示されない場合は、ブロードバンドモデムがエラー表示していないか、またはWARPSTARベースの背面のブロードバンド接続ポート状態表示LEDが緑点灯しているか確認してください。（☛P2-6）

IPアドレスがとれているとき

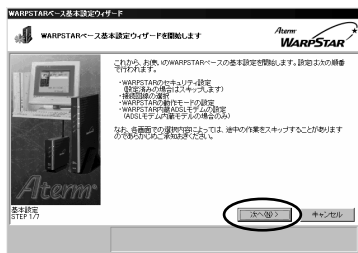
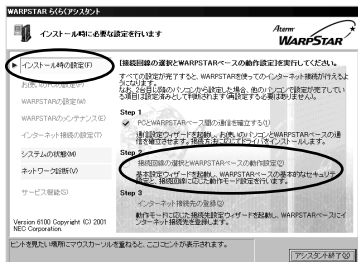
IPアドレスがとれていないとき

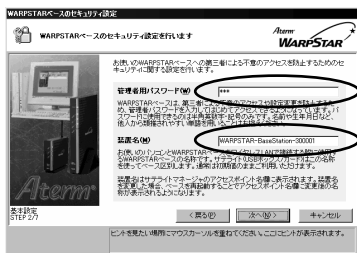
4-6 既存のLANに接続する設定をする

ここでは、既にあるLANに次のような構成で接続する場合を説明しています。

接続回線とWARPSTARベースを設定する

1 ［接続回線の選択とWARPSTARベースの動作設定］をクリックする

らくらくアシスタントの［インストール時の設定］から選択します。

2 ［次へ］をクリックする

3　LANの設定を入力する

①[管理者用パスワード] にWARPSTARベースの設定を変更するためのパスワードを入力します。パスワードには任意の半角英数字64文字まで入力できます。
②[装置名] には、WARPSTARベースの名称を入力します。通常は、お買い上げ時の設定のままでかまいません。

4　[次へ] をクリックする

5　[LAN接続] を選択し、[次へ] をクリックする

6　[ローカルルータモード] を選択する

ダイヤルアップ接続を併用するマルチラインの場合は、[ダイヤルアップ接続を併用する] に☑します。

7　[次へ] をクリックする

8　設定内容を確認し、[実行] をクリックする

設定内容をWARPSTARベースに登録します。

※パスワード入力の画面が表示されたときは、設定済みの管理者用パスワードを入力して［OK］をクリックします。

9　[設定終了] をクリックする

（次ページに続く）

●管理者用パスワードは、WARPSTAR ベースを設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワード＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

パスワードは上記の下線の箇所に記入しておくことをお勧めします。
忘れた場合は、ディップスイッチで WARPSTAR ベースを工場出荷状態に戻して設定を消去してください。（☛P9-12）

インターネット接続を設定する

1 **［インターネット接続先の登録］をクリックする**

らくらくアシスタントの［インストール時の設定］から選択します。

2 **設定した管理者用パスワードを入力し、［OK］をクリックする**

3 **［次へ］をクリックする**

4 **ブロードバンドインターネット接続に必要な基本設定を入力し、［次へ］をクリックする**

ご加入の接続事業者の案内に従って入力してください。

DHCP クライアント機能：

WARPSTAR の WAN 側をブロードバンド通信網の DHCP クライアントとして利用する場合は［WAN 側を DHCP クライアントとして扱う］に☑します。WARPSTAR の WAN 側に固定の IP アドレスを指定する場合はチェックをはずしてください。

（次ページに続く）

IPアドレス/ネットマスク：

WAN側に固定IPアドレスを使用する場合は、WARPSTARベースのWAN側のIPアドレス、ネットマスクを設定します。WAN側をDHCPクライアントとして使用する場合は特に指定する必要はありません。

ゲートウェイアドレス：

WARPSTARベースのWAN側のゲートウェイアドレスを設定します。特に指定の必要がない場合は空欄のままでかまいません。

プライマリ／セカンダリDNS：

WARPSTARベースのWAN側のDNSサーバを設定します。

ドメイン名／ホスト名：

WARPSTARベースのWAN側のドメイン名、ホスト名を設定します。接続事業者から指定がない場合は空欄のままでかまいません。

5 設定内容を確認し、[実行]をクリックする

WARPSTARベースの設定が自動的に行われ、WARPSTARベースが再起動します。

6 下の画面が表示された場合は、WARPSTARベースと既存のLANとを添付のETHERNETケーブルで接続する

7 接続が正しく行われたことを確認し、[OK]をクリックする

8 WAN側IPアドレスの欄にIPアドレスが表示されていることを確認する

WAN側IPアドレスの欄が空欄または「0.0.0.0」の場合は、ブロードバンドモデムのIPアドレスが「192.168.0.XXX」になっていることが考えられます。この場合は、WARPSTARベースのIPアドレスの下から2桁目を「192.168.2.1」などに変更してください。WARPSTARベースのIPアドレスは「らくらくアシスタント」－「WARPSTARの設定」－「WARPSTARの詳細設定」の「LAN設定」タブで変更します。それでもWAN側IPアドレスが表示されない場合は次ページの「? WAN側IPアドレスが正しく設定されていない場合」をご覧ください。

9 [設定終了]をクリックする

WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合

● WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。
らくらくアシスタントの［ネットワーク診断］をクリックし、［インターネット接続（PC →インターネット）の診断］をクリックします。
［IP アドレス情報（WAN)］タブで IP アドレスが表示されているか確認してください（アクセスマネージャのメニュー［状態］で［ローカルルータ接続］タブをクリックし、［詳細］をクリックしても表示できます)。［再取得］でも IP アドレスが表示されない場合は、ブロードバンドモデムがエラー表示していないか、または WARPSTAR ベースの背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑点灯しているか確認してください。（☛P2-6）

IP アドレスがとれているとき

IP アドレスがとれていないとき

4-7 TA ／アナログモデムを接続して ISDN やアナログ回線接続を設定する

WARPSTAR にお使いのアナログモデムや TA を接続して、ダイヤルアップでインターネットに接続する場合を説明します。また、ダイヤルアップ接続とブロードバンド接続とを切り替えて使用する（マルチライン）ことができます。

※ダイヤルアップを併用して TA を利用する場合、回線干渉の問題があり、ADSL の通信速度が遅くなったり、つながらなくなる場合があります。

インターネット接続設定をする前に

インターネット接続設定をする前に次のことを確認しましょう。

1 **TA やアナログモデムは正しく接続されていますか？（☛P2-28）**

2 **インターネットプロバイダとのインターネット接続契約はお済みですか？**

接続回線と WARPSTAR ベースの設定

ダイヤルアップ併用の設定は、それぞれの接続回線と WARPSTAR ベースの設定で行います。
それぞれの接続回線の設定時に設定します。

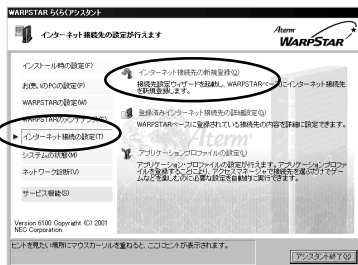
ADSL 回線に接続する（WDR85FH）の場合（☛P4-2）
外付け ADSL モデム（PPPoE 利用のブリッジタイプ）接続の場合（☛P4-7）
外付け ADSL モデム（ルータタイプ等）接続の場合（☛P4-12）
CATV ケーブルモデムを接続の場合（☛P4-18）
FTTH・光ファイバを接続の場合（☛P4-24）
既存の LAN を接続の場合（☛P4-30）

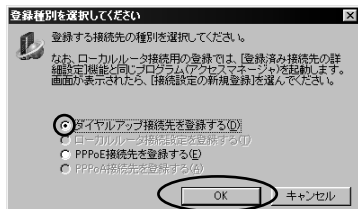
※画面は ADSL 接続の例です。

お知らせ

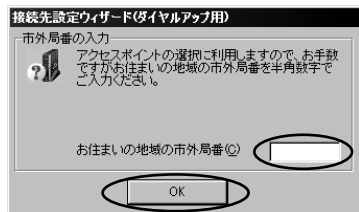
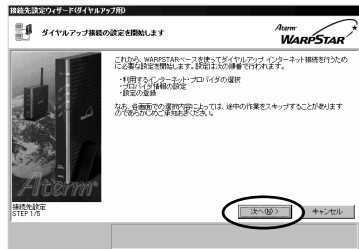
- ダイヤルアップ接続のみで利用したい場合は、上記のいずれかのモードを選択し、ダイヤルアップ併用の設定を行ってください。
  クイック設定 Web を使ってダイヤルアップ接続することはできません。

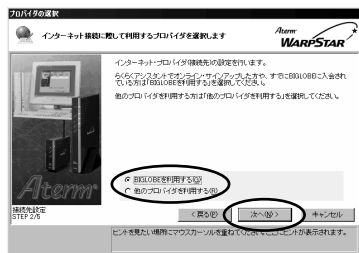
インターネット接続を設定する

1 ［インターネット接続の設定］をクリックし、［インターネット接続先の新規登録］をクリックする

2 ［ダイヤルアップ接続先を登録する］を選択し、［OK］をクリックする

ここではダイヤルアップ接続用の設定の場合を説明しています。

お使いのモードによって表示される画面が異なります。

3 市外局番を入力し、［OK］をクリックする

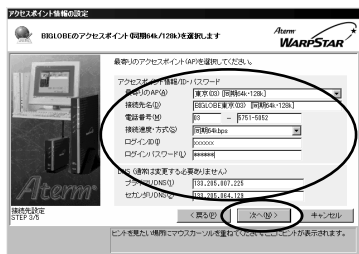
すでに市外局番の設定を行っている場合は、この操作は不要です。

4 ［次へ］をクリックする

5 BIGLOBE を利用する場合は、［BIGLOBE を利用する］を、その他のプロバイダを利用する場合は［他のプロバイダを利用する］を選択し、［次へ］をクリックする

（次ページに続く）

6 プロバイダ接続をするための情報を入力し、［次へ］をクリックする

●BIGLOBE の場合

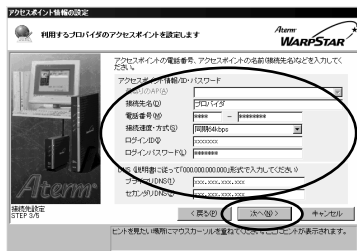
①所在地情報に基づいて最寄りのアクセスポイントが表示されます。他のアクセスポイントに変えるときは、［最寄りの AP］の▼をクリックして選択します。

②［接続速度・方式］は通常、［同期 64kbps］を選択します。
非同期のアクセスポイントは設定できません。アナログモデムの場合も同期 64kbps を選択してください。アナログモデムの場合、アクセスポイントはアナログ通信用のアクセスポイントを指定してください。

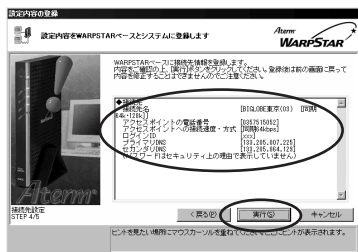
③［ログインID］（ユーザID）と［ログインパスワード］を入力します。

●他のプロバイダの場合

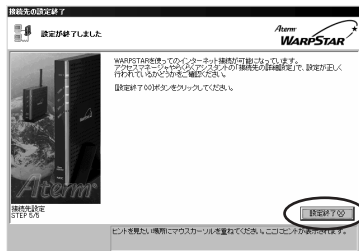
①［接続先名］にプロバイダの名称を、［電話番号］にアクセスポイントの番号を入力します。

②［接続速度・方式］は通常、［同期 64kbps］を選択します。
非同期のアクセスポイントは設定できません。アナログモデムの場合も同期 64kbps を選択してください。アナログモデムの場合、アクセスポイントはアナログ通信用のアクセスポイントを指定してください。

③［ログインID］（ユーザID）と［パスワード］、［プライマリ DNS］、［セカンダリ DNS］を半角英数字で入力します。

●フレッツ・ISDN をご利用の場合

電話番号は市外局番なしで「1492」となりますが、ここではまだ設定できません。任意の電話番号を入力し、あとでアクセスマネージャから接続先の番号を変更してください。（☞ 添付 CD-ROM「機能詳細ガイド」）

7 設定内容を確認し、［実行］をクリックする

8 ［設定終了］をクリックする

らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

9 らくらくアシスタントを終了するときは、［アシスタント終了］をクリックする

お知らせ

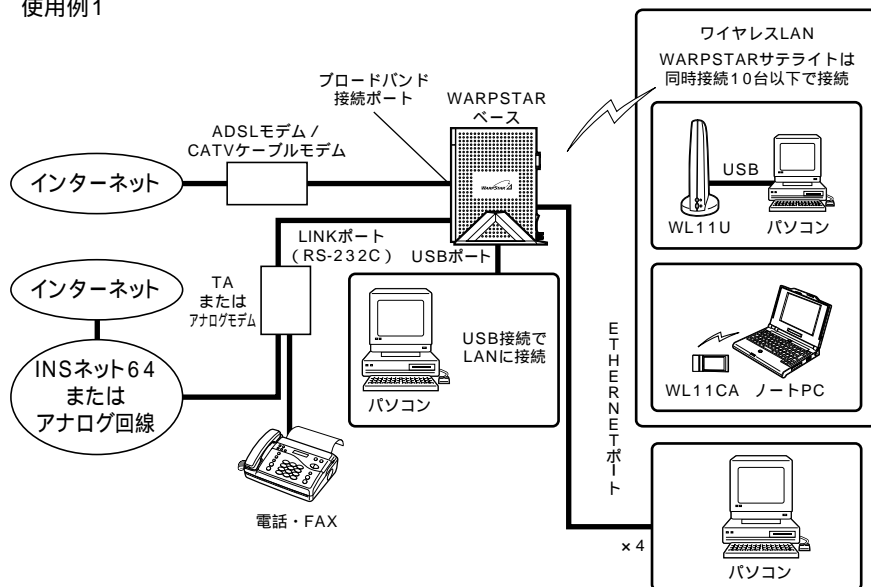
●アクセスポイントや目的に合わせて、手順 6 の［接続速度・方式］を選択します。

アクセスポイント	ISDN 回線 64kbps（同期）	ISDN 回線 128kbps（同期）
目的	64kbps 同期通信	128kbps マルチリンク PPP 通信
接続速度・方式	同期 64kbps	同期 128kbps

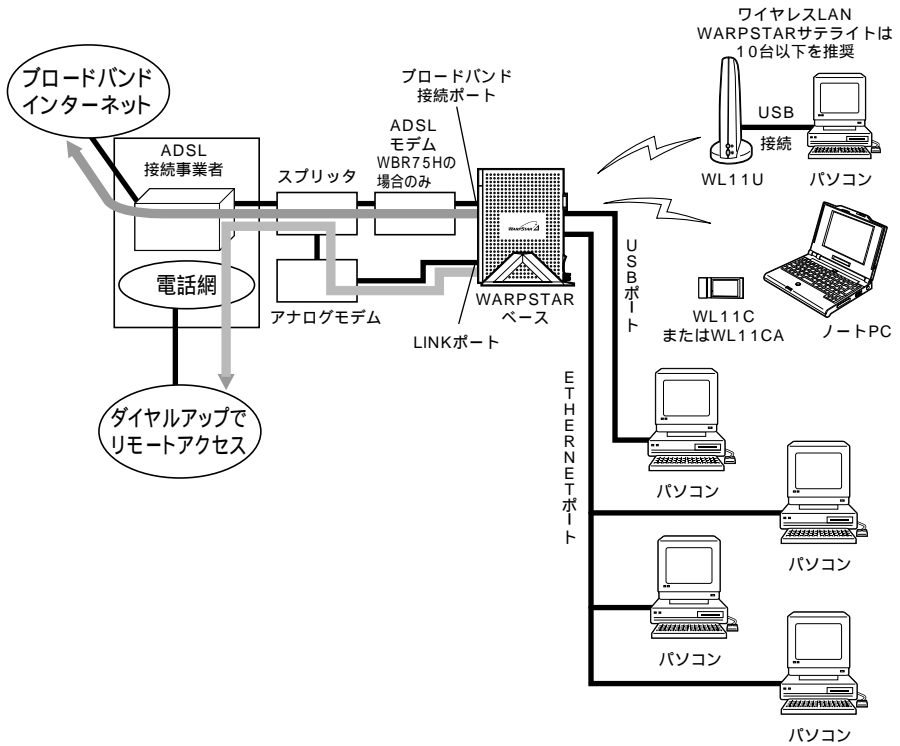
●フレッツ・ISDN は 64kbps のみの接続です。（2002 年 4 月現在）
●128kbps マルチリンク PPP 通信は、64kbps 通信を二重に行うことで 128kbps 通信を行っています。通信料金、プロバイダのサービス料金は 64kbps 通信ごとにかかります。
●接続できる TA ／アナログモデムの機種やアナログモデムでの設定方法は、ホームページ Aterm Station でご確認ください。2002 年 4 月現在のものは、添付の CD-ROM に収録されている「お困りのときには」をご参照ください。

4-8 マルチラインを設定しよう

マルチラインを使用するとダイヤルアップ（ISDN ／アナログ回線）接続とブロードバンド（ADSL ／ CATV ）接続を用途に応じて使い分けることができます。
※アクセスマネージャを利用してインターネットに接続する必要があります。

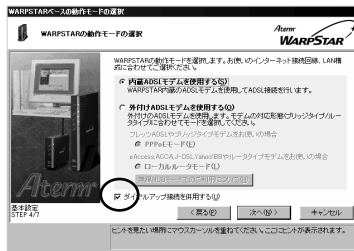
〈使用例1〉

※ダイヤルアップを併用して TA を利用する場合、回線干渉の問題があり、ADSL の通信速度が遅くなったり、つながらなくなる場合があります。

〈使用例2〉

ワイヤレスLAN
WARPSTARサテライトは
10台以下を推奨
ブロードバンド
インターネット
ブロードバンド
接続ポート
ADSL
モデム
WBR75Hの
場合のみ
ADSL
接続事業者
スプリッタ
USB
接続
WL11U
パソコン
電話網
アナログモデム
WARPSTAR
ベース
USBポート
WL11C
またはWL11CA
ノートPC
LINKポート
ETHERNETポート
ダイヤルアップで
リモートアクセス
パソコン
パソコン
パソコン
パソコン

■マルチラインの設定

マルチラインの設定は、接続回線と WARPSTAR ベースの設定で行います。

それぞれの接続回線の設定時に設定します。

ADSL 回線に接続する（WDR85FH）の場合（☛P4-2）
外付け ADSL モデム（PPPoE 利用のブリッジタイプ）接続の場合（☛P4-7）
外付け ADSL モデム（ルータタイプ等）接続の場合（☛P4-12）
CATV ケーブルモデムを接続の場合（☛P4-18）
FTTH ・光ファイバを接続の場合（☛P4-24）
既存の LAN を接続の場合（☛P4-30）

※画面は ADSL 接続の例です

■マルチラインで接続を切り替えるには

アクセスマネージャで接続を切り替えて使用します。（☛P5-9）

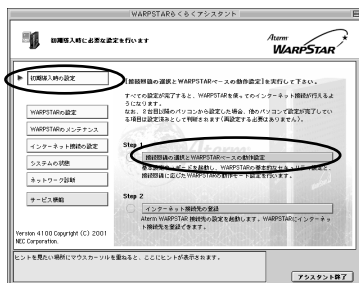
4-9 Macintoshで設定する

「3-1　WARPSTARベースのETHERNETポートにパソコンを接続する場合」でMacintoshにらくらくアシスタントをインストールしたあと次の設定を行います。

接続回線とWARPSTARベースを設定する

LAN機能の設定を行うために使用するWARPSTARベースのセキュリティと動作モードの設定を、らくらくアシスタントで設定します。

1 **らくらくアシスタントを起動する**

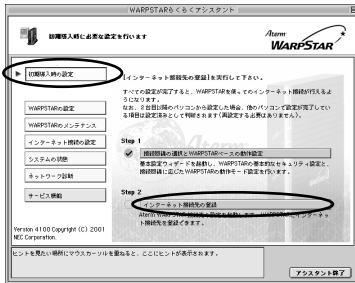
2 **[初期導入時の設定]の[接続回線の選択とWARPSTARベースの動作設定]をクリックする**

3 **画面の表示に従って、WARPSTARベースの設定をする**

お知らせ

- らくらくアシスタントの設定内容はWindows®の場合とほぼ同じです。接続回線に合わせて4-1章から4-8章までのWindows®の説明を参照し、以降の設定を行ってください。

インターネット接続を設定する

1 **［インターネット接続先の登録］をクリックする**

らくらくアシスタントの［初期導入時の設定］から選択します。

2 **表示された画面に接続先名など、必要な項目を入力する**

お知らせ

●らくらくアシスタントの設定内容は Windows® の場合とほぼ同じです。接続回線に合わせて 4-1 章から 4-8 章までの Windows® の説明を参照し、以降の設定を行ってください。

5 アクセスマネージャを使ってインターネットに接続しよう

ここではアクセスマネージャでのインターネット接続の説明をしています。
アクセスマネージャを使用せずにインターネットに接続する場合は、6章で接続してください。

5-1 インターネットに接続する

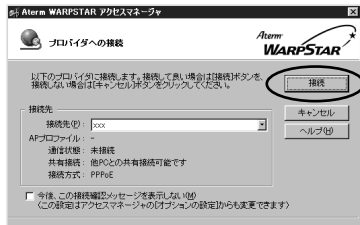
インターネットに接続するには、アクセスマネージャを利用する方法とクイック設定Webで接続する方法があります。
アクセスマネージャがご利用になれる環境では、アクセスマネージャによる接続をお勧めします。
アクセスマネージャを使うとフレッツ・ADSLなど、複数のプロバイダの利用を切り替えて使用したり、ブロードバンドとダイヤルアップを切り替えて使用するマルチライン機能、利用するアプリケーションごとにポートを指定するアプリケーションプロファイリングなどの機能をご利用になれます。
また、アクセスマネージャを常駐させることで、インターネットからの接続、切断をコントロールできるのでセキュリティ面でも安心です。
ここでは、アクセスマネージャでインターネットに接続する場合を説明しています。
自動接続を行う場合はクイック設定Webでのインターネット接続になります。6章を参照してください。

■Windows® の場合

1 **タスクトレイの[アクセスマネージャ]アイコンを右クリックする**

2 **メニューから[ローカルルータへ接続]または[ダイヤルアップ接続]、[ADSL(PPPoE)接続]をクリックする**

ここではADSL(PPPoE)モードの場合を例に説明します。[ローカルルータへ接続]または[ダイヤルアップ接続]の場合も手順は同じです。

3 **[接続]をクリックする**

インターネット接続が開始されます。

4 **WWWブラウザや電子メールソフトなどのアプリケーションを起動する**

接続中は、WWWブラウザや電子メールソフトなどのアプリケーションを利用することができます。WARPSTARには、インターネットアプリケーションは添付していません。Windows®に付属のものをご利用になるか、別途ご用意ください。
「ページがみつかりません」と表示されたときは(☛P5-5)

5 **切断するときは、タスクトレイの[アクセスマネージャ]アイコンを右クリックする**

6 **[切断]をクリックする**

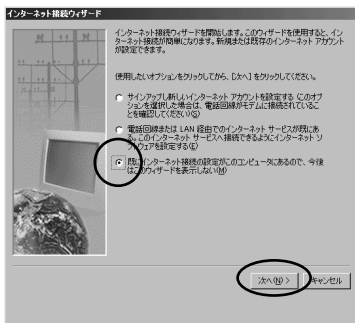
お知らせ

- ●接続ができないときには、トラブルシューティング（☞P9-2）または添付のCD-ROMに収録されている「お困りのときには」をご覧ください。
- ●アクセスマネージャでは、インターネット接続で一定時間アクセスがないと接続を切断する機能があります（無通信監視タイマ）。設定を変更するには、添付のCD-ROMに収録されている「機能詳細ガイド」を参照してください。
- ●アクセスマネージャがパソコンのタスクトレイに常駐していると、アクセスマネージャによる接続／切断が優先されるため、クイック設定Webでの接続はできません。
- ●相乗りを許可する設定にしたとき、クイック設定Webで自動接続中にアクセスマネージャで後から相乗りした場合、NATテーブルなどの設定により正常にアプリケーションが動作しない場合があります。
- ●アクセスマネージャでの接続のみをご利用の場合は、クイック設定Webでの自動接続を「しない」に設定してください。

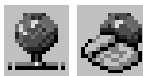
お知らせ

●Windows® 98をご使用の場合でデスクトップにWWWブラウザソフト（Internet Explorer）アイコンがないときは、以下の手順で［Internet Explorer］アイコンを作成します。

①デスクトップの［インターネットに接続］アイコンをダブルクリックします。
［インターネット接続ウィザード］画面になります。

②［既にインターネット接続の設定が・・・表示しない］を選択し、［次へ］をクリックします。

③［インターネット接続ウィザード］を終了します。
デスクトップに［Internet Explorer］と［Outlook Express］のアイコンが表示されます。

お願い

●タスクトレイのアクセスマネージャのアイコンが下記の状態の間は、接続したままの状態が続いています（WWW ブラウザなどのアプリケーションを終了しても自動的に切断されません)。セキュリティの向上のためインターネットを使用していないときは、アイコンを右クリックして［切断］をクリックして忘れずに切断してください。

●接続先のプロバイダやサーバ、接続時間帯、データ転送の特徴などにより、接続回線速度のパフォーマンスが十分得られないことがあります。
●USB ポートにパソコンを接続して通信アプリケーションを実行中に、USB ケーブルを抜いたり電源を切ったりすると、通信アプリケーションと USB ドライバとの結合をシステムが解放します。引き続き通信アプリケーションをご利用になる場合は、通信アプリケーションをいったん終了して、正しく接続し直してから再度実行してください。

■ Macintosh の場合

1 デスクトップに［アクセスマネージャ］アイコンが表示されていないときは、［WARPSTARブロードバンド］フォルダの［WD アクセスマネージャ］アイコンをダブルクリックする

デスクトップに［アクセスマネージャ］アイコンが表示されます。

2 アプリケーションメニューから［WARPSTAR アクセスマネージャ］を選択し、メニューバーの［ファイル］から［ローカルルータ接続］または［ダイヤルアップ接続］、［ADSL（PPPoE）接続］を選択する

［Aterm WARPSTAR アクセスマネージャ］画面が表示されます。
表示される画面は、WARPSTAR の動作モードによって異なります。

3 ［接続先］から接続先を選択する

4 ［接続］をクリックする

インターネット接続が開始します。
接続が完了すると［アクセスマネージャ］アイコンの表示が次のように変わります。

ダイヤルアップ接続の場合

5 WWW ブラウザや電子メールソフトなどのアプリケーションを起動する

接続中は、WWW ブラウザや電子メールなどのインターネットアプリケーションを利用することができます。
WARPSTAR には、アプリケーションは添付されていません。Mac OS に付属のものをご利用になるか、別途ご用意ください。
「ページがみつかりません」と表示されたときは（☛P5-5（下記））

6 切断するときは、デスクトップの［アクセスマネージャ］アイコンをダブルクリックする

［Aterm WARPSTAR アクセスマネージャ］画面が表示されます。
［アクセスマネージャ］アイコンがデスクトップにないときは、アプリケーションメニューから［WARPSTAR アクセスマネージャ]を選択し、メニューバーの［ファイル］から［状態］を選択してください。

7 切断する接続のタブをクリックし、［切断］をクリックする

お願い

●インターネットに接続した直後、「ページがみつかりません」と表示されることがあります。これは、WWW ブラウザ起動後、WARPSTAR アクセスマネージャが起動されるまでの時間が長くかかったときにホストからのパケット応答が遅れタイムアウトするためです。アプリケーションプロファイリングやマルチラインをご利用にならない場合は、クイック設定 Web で設定した自動接続での使用ができます。（☛P6-6）
先に WWW ブラウザの起動を行う場合は、アクセスマネージャを自動接続にしてアクセスマネージャの起動時間を短縮すると改善されることがあります。① WWW ブラウザの［再読み込み］をクリックしてください。②あらかじめタスクトレイのアクセスマネージャのアイコンをダブルクリックし、事前に接続してから WWW ブラウザの起動を行ってください。

接続状態を確認する

インターネットへの接続／切断の操作や回線状態の表示はタスクトレイの「アクセスマネージャ」で行います。

■「アクセスマネージャ」のアイコン表示

	状態
	WARPSTAR ベースとの通信が可能でインターネット接続されていない状態※
	ダイヤルアップ接続でインターネットと接続中
	ブロードバンドでインターネットと接続中
	WARPSTAR ベースとの通信ができない状態 （この状態のときはインターネットに接続できません。）
	クイック設定 Web で設定した接続先に自動接続中 （他のパソコンから自動接続中の場合もこのアイコンが表示されます。）

※表示アイコンは、使用するユーティリティのバージョンにより変更となる場合があります。

■アクセスマネージャの使いかた

● Windows® の場合
①タスクトレイの［アクセスマネージャ］アイコンを右クリックする
②ポップアップメニューから、行いたい操作を選択する（表示される項目はモードにより異なります）

● Macintosh の場合
①アプリケーションメニューから［WD アクセスマネージャ］を選択する
②メニューバーの［ファイル］から、行いたい操作を選択する

・状態（接続状態を確認できます）
・ ADSL 接続（手動で ADSL インターネットへの接続を行います）
・ローカルルータへ接続（手動でローカルルータモードでインターネットへの接続を行います）
・ダイヤルアップ接続（手動でインターネットにダイヤルアップ接続します）
・切断（手動で切断を行います）
・オプションの設定（オプションの設定画面を表示します）
・接続先の編集と AP プロファイル編集（接続先の設定画面を表示します）
・ログの表示（WARPSTAR ベースの通信ログを表示します）
・らくらくアシスタント（らくらくアシスタントを起動します）
・Windows ®起動時に自動起動する（アクセスマネージャを Windows ®起動時に自動起動するよう登録または解除します）
・ヘルプ（ヘルプを起動します）
・終了（アクセスマネージャを終了します）

5-2 インターネットを切断する

アクセスマネージャで切断する

■ Windows® の場合

1 **インターネット接続中に、タスクトレイの［アクセスマネージャ］アイコンを右クリックする**

2 **［切断］をクリックする**

■ Macintosh の場合

1 **インターネット接続中に、デスクトップの［アクセスマネージャ］アイコンをダブルクリックする**

［Aterm WARPSTAR アクセスマネージャ］画面が表示されます。
［アクセスマネージャ］アイコンがデスクトップにないときは、アプリケーションメニューから［WD アクセスマネージャ］を選択し、メニューバーの［ファイル］から［状態］を選択してください。

2 **切断する接続のタブをクリックし、［切断］をクリックする**

DISC スイッチで回線を切断する

WARPSTAR ベース前面の DISC スイッチを使ってインターネット接続を切断し、CATV/ADSL 網などの WAN 側との接続を不可にすることができます。
アクセスマネージャを使用せずに回線に接続している場合でも、アクセスマネージャなしで、回線を切断できます。
すべてのパソコンからの接続が切断されますのでご注意ください。

■回線を切断する

1　インターネット接続中に、5 秒以上前面の DISC スイッチを押し続ける

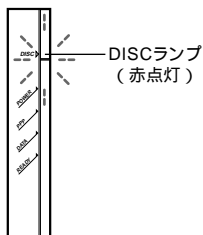
インターネット接続中は DISC ランプが緑点灯、WDR85FH で内蔵 ADSL モデムの速度を表示中の場合は橙点灯しています。

2　インターネットが切断される（2 回ピッピッと鳴ります。）

DISC ランプが赤点灯します。

■通常状態に戻すには

1　DISC ランプが赤点灯している状態で、DISC スイッチを 1 秒間押す
（ピーと鳴ります。）

DISC ランプが緑点灯し、通常状態に戻ります。

お知らせ

●DISC ランプが赤点灯しているときはインターネットに接続できません（アクセスマネージャで接続しようとすると、エラー 103 が表示されます）。

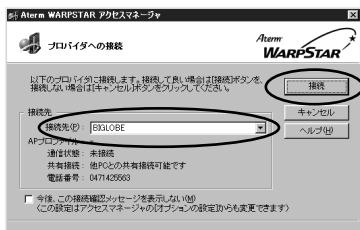
5-3 マルチラインで使う

ブロードバンド接続とダイヤルアップ接続を切り替えてインターネットする

アクセスマネージャを使って、1 台のパソコンでダイヤルアップ接続とブロードバンド接続を切り替えて接続すること（マルチライン）ができます（複数台のパソコンからブロードバンド接続、ダイヤルアップ接続を同時に利用することもできます）。

1 ［スタート］－［プログラム］－［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］－［アクセスマネージャ］を選択し、アクセスマネージャを起動する

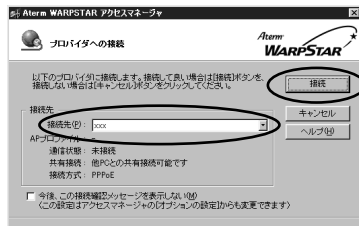
2 ［アクセスマネージャ］アイコンを右クリックし、接続方法を選択する

3 接続先を確認し、［接続］をクリックする

※画面はダイヤルアップ接続の例です。

4 接続中のアクセスマネージャを右クリックし、別の接続方法を選択する

1 台のパソコンでブロードバンド通信網への接続中または、ダイヤルアップ接続中にもう一方を選択すると、現在の接続を切断して、あらたに接続します。別のパソコンから接続するときは切断せずに接続を追加できます。

5 接続先を確認し、［接続］をクリックする

接続が切り替わります。

※画面はダイヤルアップ接続中に［ADSL（PPPoE）接続］を選択した例です。

■2 台目以降のパソコンから接続する

1 台目のパソコンでインターネット接続中に、別のパソコンから同じ接続方法でインターネット接続を追加することができます。

1 **［スタート］－［プログラム］－［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］－［アクセスマネージャ］を選択し、アクセスマネージャを起動する**

2 **［アクセスマネージャ］アイコンを右クリックし、接続方法を選択する**

3 **［接続］をクリックする**

- **ダイヤルアップ接続中にダイヤルアップ接続を選択した場合**
  現在接続中の回線に乗り入れて共有使用できます。
- **ローカルルータへ接続中に、ローカルルータに接続を選択する場合**
- **ADSL 接続中に ADSL 接続を選択する場合**
  現在の接続を共有できます。

お知らせ

●ダイヤルアップ接続の接続先をあらたに追加する場合は、らくらくアシスタントの［インターネット接続の設定］の［インターネット接続先の新規登録］で設定します。

6 クイック設定Webで設定する

ブラウザを使ってWARPSTARの設定を行います。

ブラウザでの設定は、ETHERNETポートに接続した機器では、ETHERNETケーブルを接続するだけで利用ができます。また、それ以外のポートを利用する場合でも、一度ドライバ等のインストールを行っていただくことでクイック設定Webの利用が可能です。

Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP operating systemの略です。
Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

6-1 WARPSTARの設定をする

WARPSTARのETHERNETポートに接続している場合は、Internet ExplorerやNetscape NavigatorなどのブラウザをつかってWARPSTARの基本的な設定をすることができます。
あらかじめWARPSTARとパソコンなど使用する機器を接続しておきましょう。

1 パソコンなどを起動する

2 ブラウザを起動し、「http://web.setup/」と入力し、クイック設定Webのページを開く

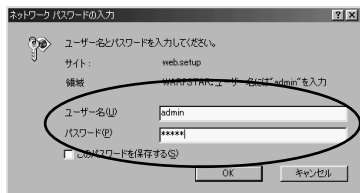
WARPSTARベースのIPアドレスを入力して開くこともできます。
(工場出荷時は192.168.0.1です。)
例：http://192.168.0.1/

3 管理者用パスワードの初期設定を行う

画面に従ってパスワードを設定してください。

4 [設定]をクリックする

5 ユーザ名とパスワードを入力する

らくらくアシスタントで管理者パスワードを入力しているときは管理者パスワードを入力します。
ユーザ名には「admin」と入力し、パスワードには手順3で設定した管理者用パスワードを入力してください。

ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。

6 [OK]をクリックする

7 [基本設定]の ▼ をクリックし、[基本設定]を選択する

8 [装置名]にWARPSTARベースの名称を入力する

通常はお買い上げ時の設定のままでかまいません。

9 [内蔵ADSLモデム]を使用するかどうかの設定をする

WBR75Hの場合は、□（使用しない）になっていることを確認します。

10 ［動作モード］を設定する

接続している回線に合わせてWARPSTARの動作モードを設定します。

内蔵ADSLモデムを使用する
［PPPoEモード］
［PPPoAモード］

ADSLモデムに接続
・フレッツ・ADSLなどPPPoEに対応のADSLモデムに接続する場合
→［PPPoEモード］
・Yahoo! BBに接続する場合やルータタイプADSLモデムに接続する場合
→［ローカルルータモード］

CATVケーブルモデム
→［ローカルルータモード］

FTTH・光ファイバなど
・Bフレッツなど PPPoE接続
→［PPPoEモード］
・IP接続
→［ローカルルータモード］

既存のLAN
→［ローカルルータモード］

11 手順10で［PPPoEモード］を選択した場合、PPPoEブリッジを利用するかどうか設定する

PPPoEブリッジを使用すると、パソコンやゲーム機などがPPPoEにより通信を行うとき直接ADSLとの接続を行うことができるためグローバルIPアドレスを取得できます。
フレッツ・ADSLではPPPoEブリッジを利用できるのは1つだけです。また他のパソコンが回線を使用している場合は利用できません。いったん回線を切断したあと接続し直す必要があります。(☛P8-11)

12 インターネットへの自動接続を行うかどうかの設定をする

通常［する］を選択してください。
［しない］を選択すると、アクセスマネージャでのみ接続できるようになります。

13 入力が完了したら、［設定］をクリックする

「6-2　インターネットの接続設定をする」に進みます。

お願い

●クイック設定Webの設定は、［登録］をクリックしてWARPSTARベースを再起動してからでないと有効になりません。
インターネット接続設定が完了してから［登録］をクリックしましょう。
●ワイヤレスLANでの設定は、WARPSTARサテライトを利用するための設定と合わせてらくらくアシスタントで行います。

お知らせ

●説明に使用している画面表示は、お使いのWWWブラウザやお使いのOSによって異なります。
●クイック設定Webの画面のデザインは変更になることがあります。
●PPPoEの外付けADSLモデムを使用するとき、ADSLモデムに付属のユーティリティではパソコンを1台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はADSLモデムに付属のユーティリティは使用しないでください。らくらくアシスタントまたはクイック設定Webで設定をしてください。

6-2 インターネットの接続設定をする

インターネットに接続するための設定を行います。お使いのモードに合わせて設定を行ってください。

ADSL（PPPoE／PPPoA）モード（☛ 下記）、ローカルルータモード（☛P6-5）

■ ADSL（PPPoE／PPPoA）モード接続の場合

ここではADSLで接続する場合を説明します。

1 ［基本設定］の ▼ をクリックし、［WAN側自動接続設定］を選択する

2 プロバイダまたは接続事業者の設定情報を見ながら、設定する

接続先名：
接続先がわかるようにプロバイダの名称を任意に入力します。

ユーザー名：
接続事業者／プロバイダの資料に従って「ログインID」（ユーザID）（例：xxxxx@biglobe.ne.jpなど）を入力します。

パスワード：
接続事業者／プロバイダの資料に従ってパスワードを入力します。

接続事業者：
お使いの接続事業者を▼をクリックして選択します。
お使いの接続事業者が一覧にない場合はその他を選択します。

接続先の詳細設定：
接続事業者を設定すると自動的に設定されます。

接続先の詳細設定：
接続事業者を設定すると自動的に設定されます。
その他を選択した場合はホームページAtermStationの接続確認済ブロードバンド事業者リストの設定例をみて、プロバイダや接続事業者の設定情報を見ながら設定を行ってください。

※WDR85FH／CEの内蔵モデムを利用して「フレッツ・ADSL」に接続する場合は、次のように設定します。

ご利用のADSL事業者：
「その他の事業者」を選択します。

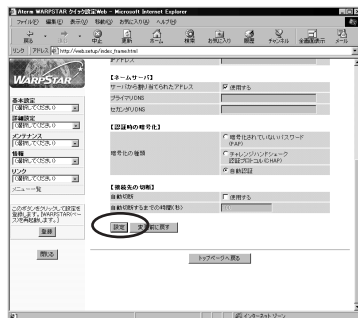
カプセル化方式：
「LLC」をチェックします。

送受信用PVCのVCI値：
「32」を入力します。

送受信用PVCのVPI値：
「0」を入力します。

IPアドレス：
通常は［IPアドレスの自動取得］を☑［使用する］のまま使用します。
IPアドレスの自動取得を利用しない場合は、チェックをはずし、入力してください。

ネームサーバ：
通常は［サーバから割り当てられたIPアドレス］を☑［使用する］のまま使用します。
使用しない場合はチェックをはずし、プライマリDNS、セカンダリDNSを入力してください。

3 入力が完了したら、［設定］をクリックする

4 ［登録］をクリックする

WARPSTARベースの前面の各ランプが点滅して、WARPSTARベースが再起動します。
「6-3 インターネットに接続する」に進みます。

■ローカルルータモードで接続する場合

ここではローカルルータモードでインターネットに接続する場合の設定方法を説明しています。

1 ［基本設定］の ▼ をクリックし、［WAN側自動接続設定］を選択する

2 プロバイダまたは接続事業者の設定情報を見ながら、設定する

DHCPクライアント機能：
WARPSTARのWAN側をブロードバンド通信網のDHCPクライアントとして利用する場合は［DHCPクライアント機能］の［有効にする］を☑します。WARPSTARのWAN側に固定のIPアドレスを指定する場合はチェックをはずしてください。

IPアドレス／ネットマスク：
WAN側に固定IPアドレスを使用する場合（プロバイダまたは接続事業者からIP／ネットマスクを指定されている場合）は、WARPSTARベースのWAN側のIPアドレス、ネットマスクを設定します。WAN側をDHCPクライアントとして使用する場合は、特に指定する必要はありません。

ゲートウェイアドレス：
プロバイダまたは接続事業者からデフォルトのゲートウェイが指定されている場合は、WARPSTARベースのWAN側のゲートウェイアドレスを設定します。特に指定の必要がない場合は空欄のままでかまいません。

プライマリ／セカンダリDNS：
WARPSTARベースのWAN側のDNSサーバを設定します（DNSサーバが指定されているときに入力します）。

ドメイン名／ホスト名：
WARPSTARベースのWAN側のドメイン名、ホスト名を設定します。接続事業者から指定がない場合は空欄のままでかまいません。

3 入力が完了したら、［設定］をクリックする

4 ［登録］をクリックする

WARPSTARベースの前面の各ランプが点滅して、WARPSTARベースが再起動します。
「6-3　インターネットに接続する」に進みます。

6-3 インターネットに接続する

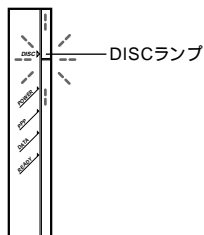
インターネットに接続して接続状態を確認してみましょう。
クイック設定Webで接続設定が完了してから外部のホームページを開くと、自動的に登録された接続先に接続します。

1 WWWブラウザを起動する

2 外部のホームページを開く

例）ホームページAterm Station：
http://121 ware.com/aterm/

3 前面DISCランプが緑点灯していることで接続を確認する

（WDR85FHで内蔵ADSLモデムの速度を表示している場合は、DISCランプは橙点灯します。）

クイック設定Webで［現在の状態］をクリックして、接続状態の欄で接続されていることを確認することもできます。

お知らせ

- ●WDR85FHの場合は、DISCスイッチを約1秒間押すと、前面のランプで内蔵ADSLモデムの速度を表示します。（☛P1-12）
- ●アクセスマネージャがパソコンのタスクトレイに常駐しているとアクセスマネージャの接続／切断が優先されるためクイック設定Webでの接続はできません。
- ●回線を強制的に切断する場合は、「5-2 インターネットを切断する」の「DISCスイッチで回線を切断する」を参照してください。（☛P5-8）
- ●相乗りを許可する設定にしたとき、アクセスマネージャで接続中にあとからクイック設定Webで接続すると、NATテーブルなどの設定によって正常にアプリケーションが動作しない場合があります。

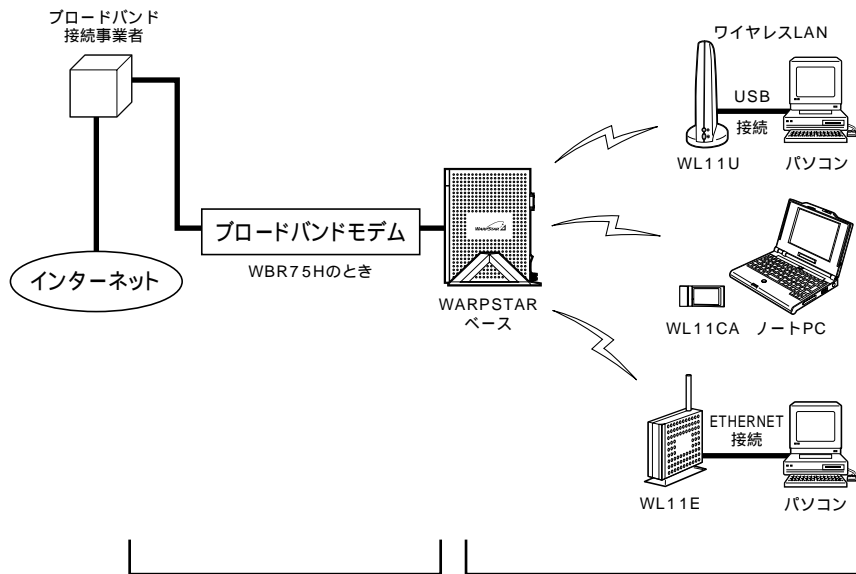
7 WARPSTARのセキュリティ機能について

WARPSTARで利用できるセキュリティについて説明しています。

らくらくアシスタントでの各設定手順はWindows®の例で説明しています。
Windows®とMacintoshでは画面のボタンの形などが一部異なりますが基本的には同じです。

Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP operating systemの略です。
Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

7-1 セキュリティ機能について

WARPSTARには、ブロードバンド（ADSL/CATV網）からの不正なアクセスを防ぐWAN側のセキュリティ機能と、無線ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されないためのワイヤレスLAN内ネットワークセキュリティ機能があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。

WAN側セキュリティ機能
- アドバンスドNAT
- フィルタリング

ワイヤレスLAN内ネットワークセキュリティ機能
- WEPまたは128bitWEP
- MACアドレスセキュリティ機能
- ESSID（ネットワーク名）

? セキュリティ対策を行うことの重要性について

● インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることになります。悪意のあるものから、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、WARPSTARの設定が改変されたり、パソコンのシステムやデータを破壊されることも考えられます。
特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を理解して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。
WARPSTARの機能を利用して十分なセキュリティ設定を行ってください。

7-2 IP パケットフィルタリング

IP パケットフィルタリングとは、TCP や UDP のサービス（WWW ブラウジングなど）を決定するポート番号とパソコンやサーバにより割り振られた IP アドレスを組み合わせて、IP パケットの通過を許可する／拒否するための機能です。この機能によって、不必要な IP パケットの送受信を制限することができます。

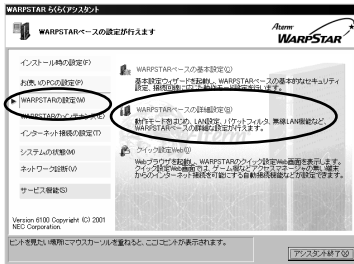
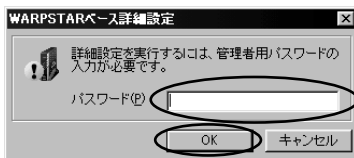
お知らせ

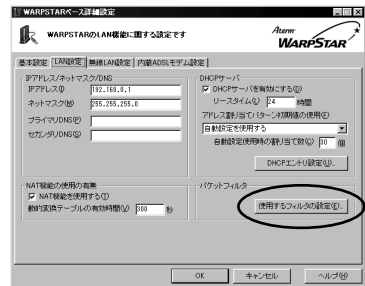
●アクセスマネージャによる接続／切断の操作を行うことで、必要時以外でのインターネットアクセスを制御することができます。これにより、必ずしもフィルタリング設定を行う必要はありません。

らくらくアシスタントで設定する

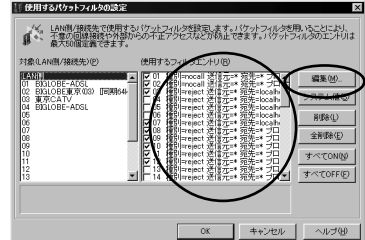
■フィルタエントリを編集する

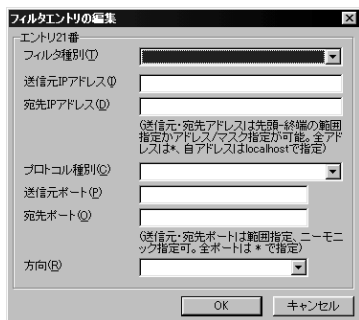
1 らくらくアシスタントを起動する

2 ［WARPSTAR の設定］をクリックし、［WARPSTAR ベースの詳細設定］をクリックする

3 管理者用パスワードを入力し、［OK］をクリックする

4 ［LAN 設定］タブをクリックする

5 ［使用するフィルタの設定］をクリックする

6 ［使用するフィルタエントリ］欄で編集するエントリを選択し、［編集］をクリックする

空欄を選んだ場合は新規登録になります。

（次ページに続く）

7 WARPSTAR のセキュリティ機能について

7 ［フィルタエントリの編集］画面で設定する

画面の値は設定例です。

フィルタ種別：
パケットをどのように処理するかを指定します。「すべて拒否／すべて通す／発信しない／発信する／無通信監視タイマを有効化／無通信監視タイマを無効化」から選択できます。

送信元 IP アドレス：
処理したいパケットの発信元 IP アドレスを指定します。

宛先 IP アドレス：
処理したいパケットの宛先 IP アドレスを指定します。

プロトコル種別：
処理したいパケットのプロトコル種別を「TCP ／ UDP ／ ICMP ／すべて」から選択します。

送信元ポート：
処理したいパケットの送信元ポート番号を指定します。

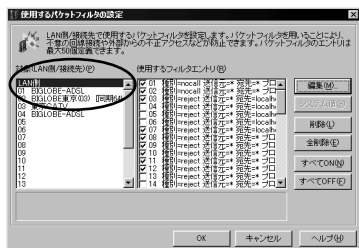
宛先ポート：
処理したいパケットの宛先ポート番号を指定します。

方向：
処理したいパケットの方向を「順方向／逆方向／両方向」から選択します。

8 ［OK］をクリックする

■フィルタエントリを利用するには

設定したフィルタエントリを LAN 側や接続先ごとに適応させることができます。

1 ［使用するパケットフィルタの設定］画面で、対象（LAN 側／接続先）を選択する

2 ［使用するフィルタエントリ］欄で、使用するフィルタを☑する

3 ［OK］をクリックする

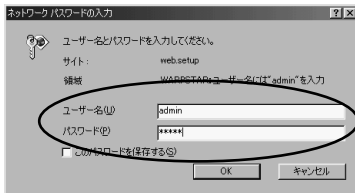
クイック設定 Web で設定する

1 パソコンを起動する

2 ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

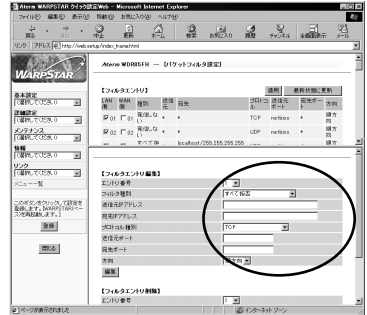
WARPSTAR ベースの IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例：http://192.168.0.1/
パスワード入力画面が表示されます。

3 ユーザ名に「admin」と入力し、パスワードを入力する

クイック設定 Web が起動します。

ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 ［OK］をクリックする

5 ［詳細設定］の ▼ をクリックし、［パケットフィルタ設定］を選択する

6 ［フィルタエントリ編集］欄で設定する

エントリ番号：
空いているエントリを指定します。最大 50 個設定できます。

フィルタ種別：
パケットをどのように処理するかを指定します。「すべて拒否/すべて通す/無通信監視タイマを有効化/無通信監視タイマを無効化」から選択できます。

送信元 IP アドレス：
処理したいパケットの発信元 IP アドレスを指定します。

宛先 IP アドレス：
処理したいパケットの宛先 IP アドレスを指定します。

プロトコル種別：
処理したいパケットのプロトコル種別を「TCP/UDP/ICMP/TCP・UDP・ICMP すべて」から選択します。

送信元ポート：
処理したいパケットのポート番号を指定します。

宛先ポート：
処理したいパケットのポート番号を指定します。

（次ページに続く）

方向：

処理したいパケットの方向を「順方向/逆方向/両方向」から選択します。（送信元IPアドレスから宛先IPアドレスの方向を順方向といいます。）

7 ［編集］をクリックする

8 ［フィルタエントリ］欄で設定したエントリ番号を☑する

9 ［フィルタエントリ］欄で［適用］をクリックする

10 ［登録］をクリックする

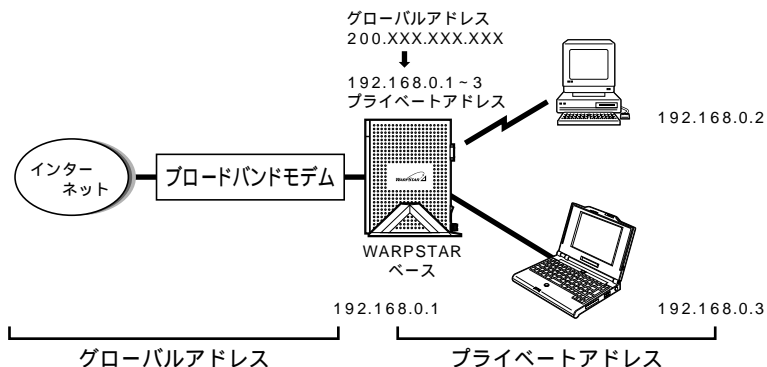
WARPSTARベースの前面の各ランプが点滅して、WARPSTARベースが再起動します。

7-3 IP マスカレード機能（アドバンスドNAT）

IP マスカレード（アドバンスドNAT）とは

NAT（Network Address Translator）とは、インターネット上で使われるグローバルアドレス（インターネット上で1つしかないIPアドレス）をプライベートアドレス（LANで任意に設定できるIPアドレス）に変換する機能です。IPマスカレードは、1つのグローバルアドレスを複数のプライベートアドレスに変換することができます。
このアドバンスドNAT機能により、外部からは、各パソコンのIPアドレスは見えず、LAN側のパソコンへの不正な直接アクセスを防ぐ効果があります。
また、アプリケーションプロファイリング機能の設定で、接続先ごとに細かいアクセス制御をすることで、ネットワークゲームに対応することも可能です。（☛P8-7）
※WAN側にプライベートIPアドレスを割り振るブロードバンド接続事業者の場合、ネットワークゲームがご利用になれない場合があります。接続事業者にご確認ください。

●IPアドレス

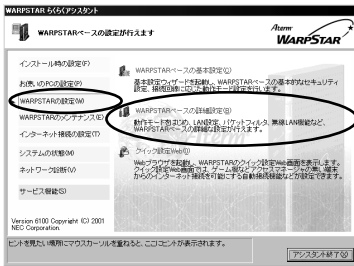
IP（Internet Protocol）アドレスとは、ネットワーク上でパソコンを識別する番号です。「192.168.0.1」のようにピリオドをはさんだ4つの数字で表します。

お知らせ

●初期設定は、「NAT機能を使用する」「動的変換テーブルの有効時間300秒」に設定されています。

らくらくアシスタントで設定する

■ NAT 機能を利用する設定

1 **らくらくアシスタントを起動する**

2 **［WARPSTAR の設定］をクリックし、［WARPSTAR ベースの詳細設定］をクリックする**

3 **管理者用パスワードを入力し、［OK］をクリックする**

4 **［LAN 設定］タブをクリックする**

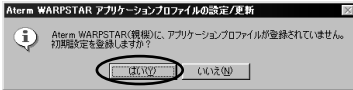
5 **［NAT 機能を使用する］に☑する**

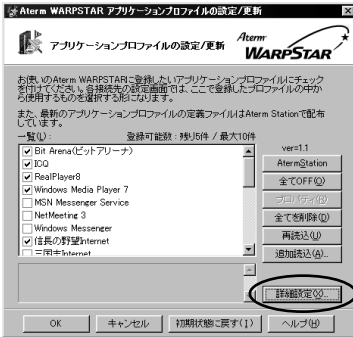
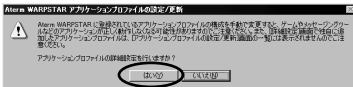
6 **［OK］をクリックする**

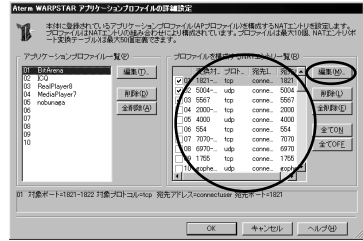
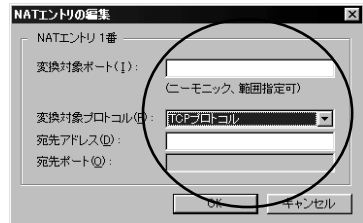
■ NAT エントリを編集する

1 **らくらくアシスタントを起動する**

2 **［インターネット接続の設定］をクリックし、［アプリケーションプロファイルの設定］をクリックする**

3 **［はい］をクリックする**

以降この画面は表示されません。

4 **［詳細設定］をクリックする**

5 **［はい］をクリックする**

6 **管理者用パスワードを入力し、［OK］をクリックする**

7 **［プロファイルを構成する NAT エントリ一覧］欄で編集する NAT エントリをクリックし、［編集］をクリックする**

8 **NAT エントリを編集する**

変換対象ポート：

0 ～ 65535 のポート番号を指定します。

ハイフンで区切っての範囲設定、ニーモニックでも指定できます。

変換対象プロトコル：

UDP、TCP から選択します。

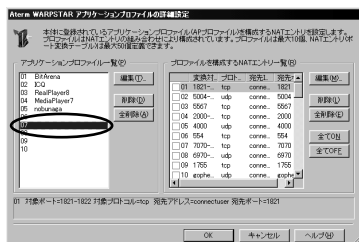
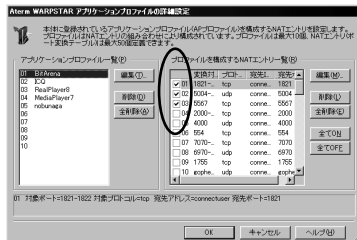
宛先アドレス／宛先ポート：

上で設定したポートに対して固定的に割り当てるクライアントパソコンの IP アドレス／宛先ポートを指定します。

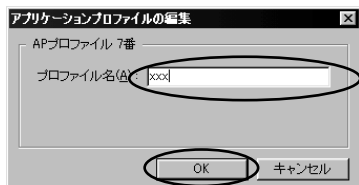
9 **［OK］をクリックする**

■NATエントリを設定する

設定したNATエントリをアプリケーションプロファイルに自由に適応させることができます。

1 **［アプリケーションプロファイルの詳細設定］画面で、［アプリケーションプロファイル一覧］から空いている番号を選択する**

2 **［編集］をクリックする**

3 **プロファイル名を入力し、［OK］をクリックする**

4 **［プロファイルを構成するNATエントリ一覧］欄から使用するエントリを☑する**

5 **［OK］をクリックする**

■NATエントリを使用するには

設定したNATエントリをLAN側や接続先ごとに適応させることができます。

適用させるには作成したアプリケーションプロファイルを接続先と関連づける必要があります。

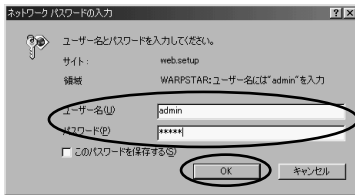
「接続先のアプリケーションプロファイルの設定をする」（☞P8-7）を参照して設定してください。

クイック設定 Web で設定する

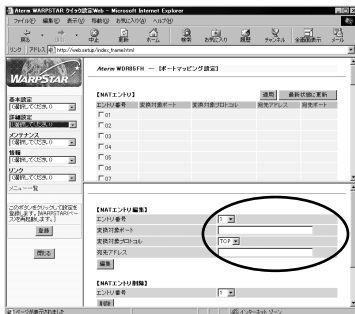
1 **パソコンを起動する**

2 **ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く**

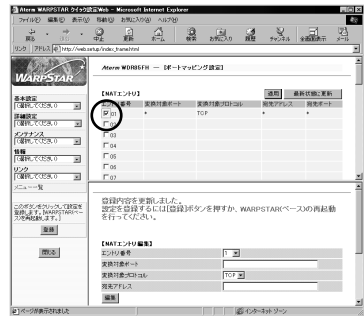
WARPSTAR ベースの IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例：http://192.168.0.1/

3 **ユーザ名に「admin」と入力し、パスワードを入力し、[OK] をクリックする**

ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 **[詳細設定] の ▼ をクリックし、[ポートマッピング設定] を選択する**

5 **[NAT エントリ編集] 欄で設定する**

①[エントリ番号] で空いている番号を選択します。
最大 50 個設定できます。
②[変換対象ポート] でポート番号を指定します。
③[変換対象プロトコル] で TCP、UDP から選択します。
④[宛先アドレス] で上で設定したポートに対して固定的に割りあてるクライアントパソコンの IP アドレスを入力します。

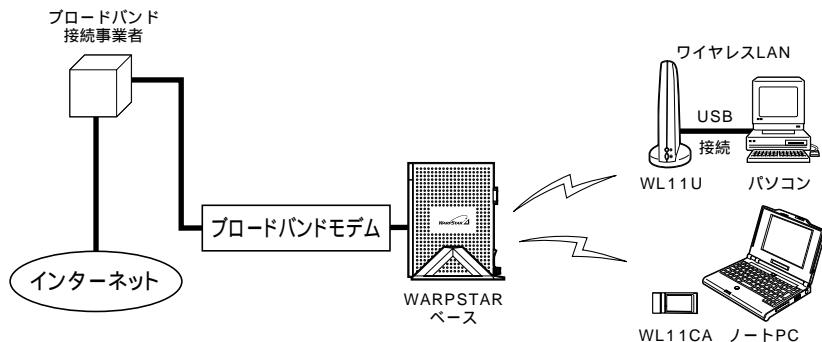
6 **[編集] をクリックする**

7 **[NAT エントリ] 欄で設定したエントリ番号を ☑ する**

8 **[NAT エントリ] 欄で [適用] をクリックする**

9 **[登録] をクリックする**

WARPSTAR ベースの前面の各ランプが点滅して、WARPSTAR ベースが再起動します。

7-4 ワイヤレスLANネットワーク内のセキュリティ機能

WARPSTARは、WARPSTARに接続されたパソコンで、ネットワーク内の無線データ通信を行うときに必要なセキュリティ機能としてWEPとMACアドレスセキュリティを搭載しています。

ネットワーク名（ESSID）

無線LAN機器が、通信するお互いを識別するIDとしてネットワーク名（ESSIDとも呼びます）を設定します。このネットワーク名が一致しないと無線通信ができません。一般にネットワーク名は検索することができますが、ネットワークの参照に応答しないようにする場合は、次のように設定してください。

■らくらくアシスタントで設定する

1 **らくらくアシスタントを起動する**

2 **[WARPSTARの設定]をクリックし、[WARPSTARベースの詳細設定]をクリックする**

3 **管理者パスワードを入力する**

4 **[無線LAN設定]タブをクリックする**

5 **[ネットワーク名が不明な場合の参照を拒否]に☑し、時間を指定する**

6 **[OK]をクリックする**

■クイック設定 Web で設定する

1 **パソコンを起動する**

2 **ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く**

WARPSTAR ベースの IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例：http://192.168.0.1/

3 **ユーザ名に「admin」と入力し、パスワードを入力し、［OK］をクリックする**

ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 **［詳細設定］の ▼ をクリックし、［無線 LAN 側設定］を選択する**

5 **［ネットワーク名が不明な場合の参照］を［拒否する］に ☑ し、時間を指定する**

6 **［設定］をクリックする**

7 **［登録］をクリックする**

WARPSTAR ベースの前面の各ランプが点滅して、WARPSTAR ベースが再起動します。

WEP ／ 128bitWEP（暗号化、データ保護の設定）

ユーザが指定した任意の文字列（暗号化キー）を WARPSTAR ベースと WARPSTAR サテライトに登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。これにより、WARPSTAR ベースとサテライトとの間で送受信される無線通信データを暗号化して保護しますので、第三者からのぼう受や盗聴から守ります。

暗号化を行う場合

●暗号化通信の利用可否表

親機	子機側			
	WL11CA	WL11E（サテライトモード）	WL11C	WL11U
WL11CA を装着した WARPSTAR ベース	◎	◎	○	○
WL11C を装着した WARPSTAR ベース	○	○	○	○
WL11E（アクセスポイントモード）	◎	◎	○	○

同一無線ネットワークにおいて WEP と 128bitWEP の混在はできません。
◎の組み合わせの場合だけ 128bitWEP が使用できます。
○の組み合わせでは WEP が利用できます。
128bitWEP は従来の 40bit 鍵の WEP を拡張して 104bit 鍵にした暗号化機能です。

お知らせ

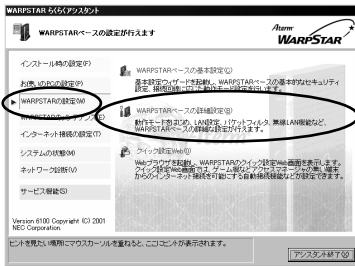
●Aterm WBR75H ワイヤレス LAN セット、Aterm WBR75H ワイヤレス LAN ベース、Aterm WDR85FH ワイヤレス LAN セット、Aterm WDR85FH ワイヤレス LAN ベースに同梱の WL11CA は 128bitWEP に対応しています。
WARPSTAR サテライトが 128bitWEP に対応していない WL11C のときは暗号化キーは 40bit になります。

■ WEP の設定（WARPSTAR ベース）

WARPSTAR ベースの WEP を設定するときは、以下の操作を行います。
WARPSTAR ベース→ WARPSTAR サテライトの順で設定してください。

●らくらくアシスタントで設定する

1 らくらくアシスタントを起動する

2 [WARPSTAR の設定] をクリックし、[WARPSTAR ベースの詳細設定] をクリックする

3 管理者パスワードを入力する

4 [無線 LAN 設定] タブをクリックする

5 [暗号化] 欄で設定する

① [送受信データを暗号化する] を☑します。
② 暗号強度を [標準] または [拡張] から選択します。
③ [指定方法] から暗号化キーの種類を [英数字] または [16 進数] のどちらかを選択します。
④ [使用する暗号化キー] を [暗号化キー 1 番〜 4 番] で選択します。
⑤ [1 番〜 4 番] に暗号化キーを入力します。

●Air Mac を使用する場合は WARPSTAR ベースの「キー 1」をキーとして使用します。

6 [OK] をクリックする

WARPSTARベースのWEPの設定は、クイック設定Webでも行うことができます。

●クイック設定Webで設定する

1 **パソコンを起動する**

2 **ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定Webのページを開く**

WARPSTARベースのIPアドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は192.168.0.1です。）
例：http://192.168.0.1/

3 **ユーザ名に「admin」と入力し、パスワードを入力し、［OK］をクリックする**

ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 **［詳細設定］の ▼ をクリックし、［無線LAN側設定］を選択する**

5 **［暗号化（WEP）］の項目で設定する**

①［暗号化する］を ☑ します。
②暗号強度を［標準］または［拡張］から選択します。
③［指定方法］から暗号化キーの種類を［英数字］または［16進］のどちらかを選択します。
④［使用する暗号化キー番号］を1番〜4番で選択します。
⑤［暗号化キー1番〜4番］に暗号化キーを入力します。

6 **［設定］をクリックする**

7 **［登録］をクリックする**

WARPSTARベースの前面の各ランプが点滅して、WARPSTARベースが再起動します。

■WEPの設定（WARPSTARサテライト）

以下の操作をサテライトのパソコンで行ってください。

●Windows® XPでWEPを設定する場合は、Windows® XPのワイヤレスネットワークの設定で行ってください。**（☞P3-28）**

1 タスクトレイの［サテライトマネージャ］アイコンを右クリックする

2 ［設定］をクリックする

3 ［データ保護］タブをクリックする

4 ［データ保護を有効］を**する**

5 ［暗号強度］から［標準］または［拡張］をクリックする

6 ［指定方法］から［英数字］または［16進］をクリックし、キーを入力する

［1番］から［4番］の4種類のキーを設定することができます。

ベースに登録されている暗号化キーを設定してください。

7 ［使用する暗号化キー］から使用するキーを選択する

WARPSTARベースで使用するキー番号と同じキー番号を使用してください。キー番号が異なると通信できません。

8 ［OK］をクリックする

お願い

●2台目以降のサテライトを追加する場合。1台目と同じ暗号化キー番号と同じ暗号化キーを入力してください。

MAC アドレスセキュリティ機能

MAC アドレスを使ってお使いの WARPSTAR が登録されたサテライトとのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、他のサテライトから LAN やインターネットへ接続されるのを防ぐことができます。

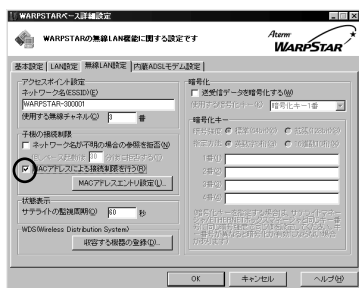
■らくらくアシスタントで設定する

1 **らくらくアシスタントを起動する**

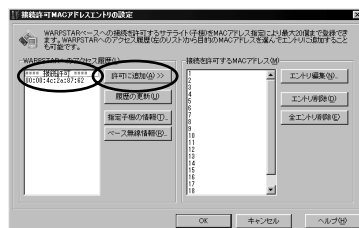
2 **［WARPSTAR の設定］をクリックし、［WARPSTAR ベースの詳細設定］をクリックする**

3 **管理者パスワードを入力する**

4 **［無線 LAN 設定］タブをクリックする**

5 **［MAC アドレスによる接続制限を行う］を☑する**

6 **［MAC アドレスエントリ設定］をクリックする**

7 **［WARPSTAR へのアクセス履歴］から接続を許可するサテライトを選択し、［許可に追加］をクリックする**

接続を許可する MAC アドレスのリストにサテライトの MAC アドレスが追加されます。

8 **［OK］をクリックする**

●WARPSTAR サテライトの MAC アドレスは WARPSTAR サテライトの裏に記載されています。

■クイック設定 Web で設定する

1 **パソコンを起動する**

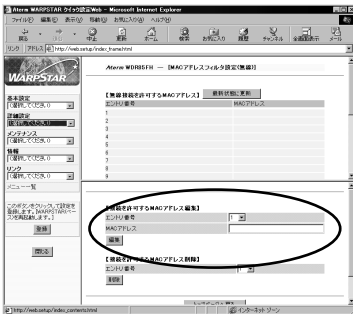
2 **ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く**

WARPSTAR ベースの IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例： http://192.168.0.1/

3 **ユーザ名に「admin」と入力し、パスワードを入力し、［OK］をクリックする**

ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 **［詳細設定］の ▼ をクリックし、［MAC アドレスフィルタ設定（無線）］を選択する**

5 **［接続を許可する MAC アドレス編集］欄で設定する**

①エントリ番号を入力します。
②登録するサテライトの MAC アドレスを入力します。
MAC アドレスは 2 文字ずつコロンで区切って入力してください。
例）xxxxxx と入力する場合
→ xx:xx:xx と入力します。

6 **［編集］をクリックする**

7 **［登録］をクリックする**

WARPSTAR ベースの前面の各ランプが点滅して、WARPSTAR ベースが再起動します。

8 WARPSTARを活用しよう

Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP operating systemの略です。
Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

8-1 ファイルとプリンタの共有（Windows®）

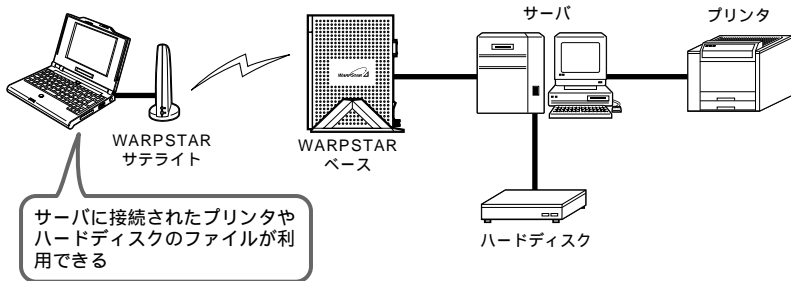
WARPSTARに接続されたパソコンどうしで、ファイルのやりとりをしたり、他のパソコンに接続されているプリンタを利用することができます。
ここでは、設定の一例をご参考に説明を行います。

お願い

●Windows®の共有機能を利用して、ファイルやプリンタを共有できるようにします（WARPSTARの機能ではありません）。設定に関するお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願いいたします。
ファイル共有には様々な方法があります。ここでは、その一例として、ワークグループを使ったファイル共有をご紹介します。
ドメインを使用した共有をご使用の場合は、システム管理者にご相談ください。

■ファイルとプリンタ共有の利用例（サーバとクライアント）

ファイルやプリンタを提供する側のパソコンをサーバ、提供されたファイルやプリンタを利用する側のパソコンをクライアントと呼びます。WARPSTARに接続されたすべてのパソコンを、サーバとしてもクライアントとしても利用することができます。
クライアントからサーバに対して、次のような利用ができます。

・クライアントからサーバのファイルを開く
・クライアントが、サーバのファイルを自分のハードディスクにコピーする
・クライアントからサーバに接続されているプリンタで印刷する

※プリントサーバを使用する場合は、上記の図と接続や設定の方法が異なることが考えられます。プリントサーバのサポート窓口にご相談ください。

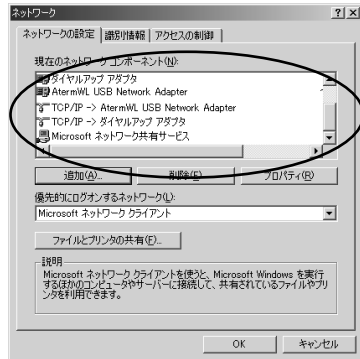
LANに接続するための準備

LANに接続する前に、それぞれのパソコンで以下の①～③の準備を行ってください。

①ネットワークコンポーネントの確認

Windows®のネットワークコンポーネントとして、以下のものがインストールされているか確認します。

- Microsoftネットワーククライアント（Windows® XP/2000は「Microsoftネットワーク用クライアント」）
- TCP/IP（Windows® XP/2000は「インターネットプロトコル（TCP/IP）」）
- Microsoftネットワーク共有サービス（Windows® XP/2000は「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」）

画面はWindows® Meの例です

ネットワークコンポーネントが1つでも不足している場合は、添付のCD-ROMに収録されている「機能詳細ガイド」「1-2　ファイルとプリンタの共有」を参照して追加してください。

〈Windows® Me/98/98SEの場合の確認操作〉

［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリック
↓
［ネットワーク］アイコンをダブルクリック

「優先的にログオンするネットワーク」は、「Microsoftネットワーククライアント」にしてください。

〈Windows® 2000の場合の確認操作〉

［スタート］－［設定］－［ネットワークとダイヤルアップ接続］をクリック
↓
［ローカルエリア接続］アイコンをダブルクリック
↓
［プロパティ］をクリック

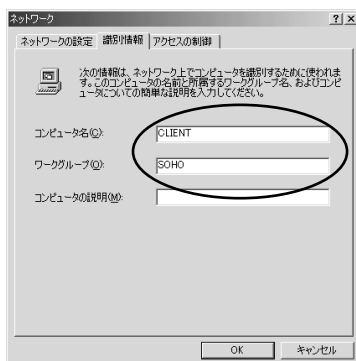
〈Windows® XPの場合の確認操作〉

パソコンをWARPSTARベースと接続してから、次の手順で行ってください。
［スタート］ボタン－［コントロールパネル］をクリック
↓
［ネットワーク接続］をダブルクリック
↓
Ethernetポート接続の場合は［ローカルエリア接続］、WARPSTARサテライトの場合は［ワイヤレスネットワーク接続］を右クリック
↓
［プロパティ］をクリック

お願い

●Windows® Me の場合は、ホームネットワークウィザードは使わないでください。インターネット接続できなくなります。
●Windows® XP の場合は、添付の CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」に従ってください。

②コンピュータ名／ワークグループ名の設定

コンピュータ名は、ネットワーク上でパソコンを識別するための名前です。半角英数字を使い、各パソコンで別々の名前をつけます。また、ファイルやプリンタを共有しあうパソコンは、ネットワーク内のワークグループ名を同じにする必要があります。
※［識別情報］タブで設定します。

③ WARPSTAR の設定

らくらくアシスタントで表示される案内に従って操作すると WARPSTAR の LAN の設定が行えます。

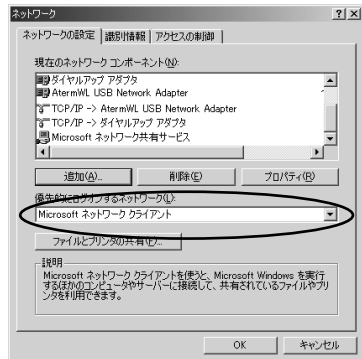
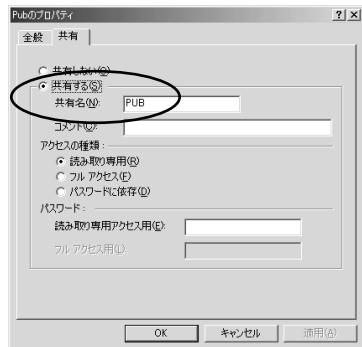
・WARPSTAR サテライトにパソコンを接続する場合（☛P3-14）
・WARPSTAR ベースの USB ポートにパソコンを接続する場合（☛P3-11）

●「ネットワークコンポーネントの確認」と「コンピュータ名／ワークグループ名の確認」の具体的な操作については、添付の CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」「1-2 ファイルとプリンタの共有」を参照してください。
●ドメインを使用したネットワークを構築する場合は、ドメインを管理するシステム管理者へご相談ください。

ファイルとプリンタを共有する

■フォルダやプリンタに共有を設定する（サーバ）

ファイルやプリンタを共有するには、サーバのパソコンで以下の①②の操作を行ってください。

①「Microsoft ネットワーク共有サービス」
Windows® XP/2000 の場合は「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」
サーバとするパソコンには、「Microsoft ネットワーク共有サービス」というネットワークコンポーネントをインストールします。
「優先的にログオンするネットワーク」は、「Microsoft ネットワーククライアント」にします。

②「フォルダの共有設定」または「プリンタの共有設定」
共有させたいファイルが保存されているフォルダに対して共有を設定します。また、プリンタに対して共有を設定すると、クライアントから利用できるようになります。
※画面はフォルダの共有設定の例です。共有したいフォルダのアイコンを右クリックして［共有］を選択すると表示されます。

お知らせ

●①②の具体的な操作については、添付の CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」「1-2　ファイルとプリンタの共有」を参照してください。

■共有フォルダや共有プリンタを利用する（クライアント）

サーバでフォルダやプリンタに共有が設定されていると、クライアント側からは、以下の手順でサーバの共有フォルダや共有プリンタに接続できます。

1 **デスクトップの［マイネットワーク］アイコンをダブルクリックする**
LAN に接続されているパソコンのアイコンが表示されます。

2 **利用したいパソコンのアイコンをダブルクリックする**
共有が設定されているフォルダやプリンタのアイコンが表示されます。

お知らせ

●具体的な操作については、添付の CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」「1-2 ファイルとプリンタの共有」を参照してください。

8-2 ネットワーク対応アプリケーション（ネットワークゲームなど）を利用する

WARPSTAR でネットワークゲームを使うには、あらかじめ設定を行う必要があります。ご使用の機器に合わせて設定を行ってください。

らくらくアシスタントで設定する場合（☞ アプリケーションプロファイル　下記）
クイック設定 Web で設定する場合（☞P8-10）

アプリケーションプロファイリング

アプリケーションプロファイルでは、オンラインゲームなどのアプリケーションの TCP/UDP ポートなどの複雑な設定をあらかじめ用意しました。
接続先ごとに使用するアプリケーションを設定できるので、利用時に接続先を選ぶことによって、自動的に設定を切り替えることができます。一度設定を行うと LAN 上のどのパソコンからでもその接続先を利用することができます。接続時に行われた設定は、アクセスマネージャの切断操作で元に戻るのでセキュリティも安心です。また、該当するプロファイルがない場合や、回線を占有して利用したい場合には、一時的に全ポートを独占利用できる「シングルユーザアクセスモード」が利用できます。さらに DHCP サーバ機能とアプリケーションプロファイル機能を併用でき、回線接続を行ったパソコンに対して自動的に有効にするため、パソコン固定 IP アドレスを設定しておく必要がありません。
※「シングルユーザアクセスモード」では外部からのアクセスが可能な状態になりますので、利用時以外は回線切断することをお勧めします。

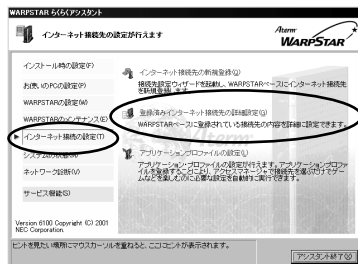
お知らせ

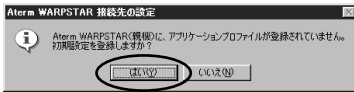
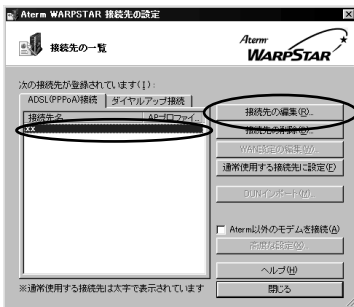
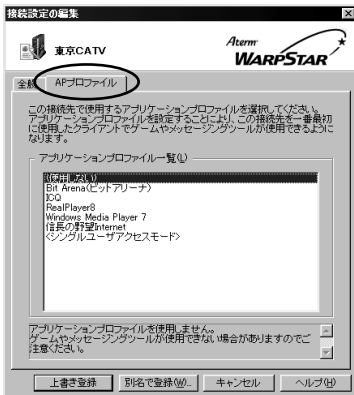
- 最新のプロファイルはホームページ Aterm Station の「アプリケーションプロファイリングコーナー」よりダウンロードすることが可能です。

■接続先のアプリケーションプロファイルの設定をする

1　らくらくアシスタントを起動する

2　［インターネット接続の設定］をクリックし、［登録済みインターネット接続先の詳細設定］をクリックする

（次ページに続く）

3 ［はい］をクリックする

以降この画面は表示されません。

4 編集する接続先を選択し、［接続先の編集］をクリックする

5 ［AP プロファイル］タブをクリックする

（画面はADSL接続の例です。）

6 使用するプロファイルを選択する

設定されたアプリケーションプロファイルが表示されていない場合は、次項「アプリケーションプロファイルの更新」を行って登録します。

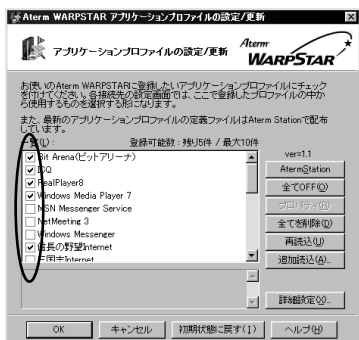
7 ［上書き登録］または［別名で登録］をクリックする

接続先設定画面に戻ります。
［別名で登録］をクリックすると、別の接続先名で登録することができます。

8 ［閉じる］をクリックする

■アプリケーションプロファイルの更新

1 **［インターネット接続の設定］をクリックし、［アプリケーションプロファイルの設定］をクリックする**

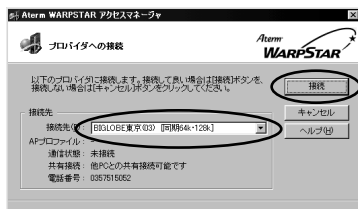
2 **WARPSTARベースに登録したいアプリケーションプロファイルを☑にする**

3 **［OK］をクリックする**

新しいアプリケーションプロファイルを読み込む場合は、［追加読込］をクリックし、ホームページAterm Stationでダウンロードしたファイルを選択します。

■アプリケーションプロファイルを設定した接続設定を利用する

1 **［スタート］－［プログラム］－［Aterm WARPSTARユーティリティ］－［アクセスマネージャ］を選択し、アクセスマネージャを起動する**

2 **［アクセスマネージャ］アイコンを右クリックし、接続方法を選択する**

3 **登録した接続先を選択し、［接続］をクリックする**

お知らせ

●アプリケーションプロファイルの詳細については、アクセスマネージャのヘルプを参照してください。

●ローカルルータモードでご使用の場合、接続するブロードバンドモデムの種類や設定、通信事業者のサービスによりオンラインによるアプリケーションがご使用になれない場合があります。詳しくは、ブロードバンドモデムの提供者か、通信事業者へご確認ください。

■クイック設定 Web で設定する

ポートマッピングを設定し、ゲームなどで使用するポートの設定を行います。

1 パソコンを起動する

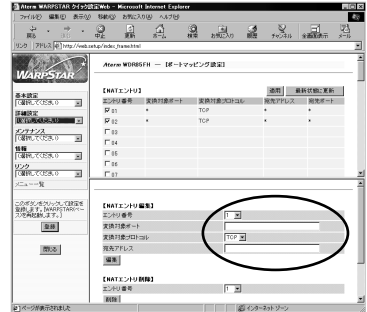
2 ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

WARPSTAR ベースの IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）

3 ユーザ名に［admin］と入力し、パスワードを入力する

ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 ［詳細設定］の ▼ をクリックし、［ポートマッピング設定］をクリックする

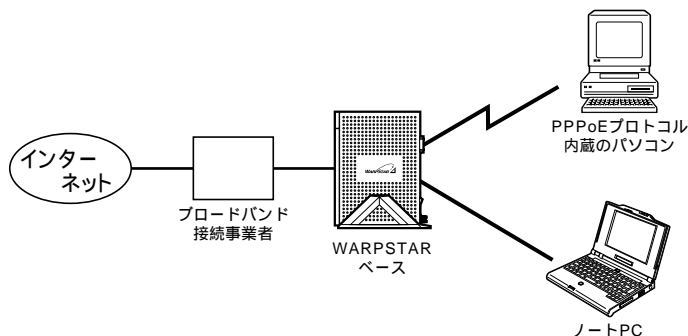
5 ［NAT エントリ編集］欄で設定する

①［エントリ番号］で空いている番号を選択します。
　最大 50 個設定できます。
②［変換対象ポート］でポート番号を指定します。
③［変換対象プロトコル］で TCP、UDP から選択します。
④［宛先アドレス］で上で設定したポートに対して固定的に割りあてるクライアントパソコンの IP アドレスを入力します。

6 ［編集］をクリックする

7 ［NAT エントリ］欄で設定したエントリ番号を☑にする

8 ［NAT エントリ］欄で［適用］をクリックする

PPPoE ブリッジ機能

PPPoE（PPP over Ethernet）プロトコルを搭載しているパソコンやゲーム機などを接続することができます。
WARPSTAR ベースが PPPoE モードのときに使用することができます。この機能を使った場合、ADSL 接続事業者や契約の内容によっては PPPoE プロトコルを搭載しているパソコンやゲーム機などで ADSL 接続した場合、他のパソコンから ADSL 接続できないことがあります。

■ PPPoE ブリッジ機能でできること

1.PPPoE ブリッジ機能を使うと次のことができるようになります。

（1）Windows® XP でサポートされている Windows Messenger などをご利用できます。
　〈利用確認アプリケーション〉
　リモートデスクトップ
　リモートアシスタンス
　Windows Messenger
　　インスタントメッセージ
　　ファイル転送
　　ホワイトボード
　　電話（音声チャット）
　　画像
　　アプリケーションの共有
（2）PPPoE 対応のゲーム機（Play Station® 2 など）を接続できます。

 お知らせ

●PPPoE ブリッジ機能を用いることにより、ご利用のパソコンは、WARPSTAR ベースのルータ機能や NAT 機能を介さずに、直接 WARPSTAR ベースに接続している ADSL モデムと PPPoE の処理を行うため、パソコンにグローバル IP アドレスを取得することができます。
●本機能を使用した場合、LAN 側に接続されているパソコンやゲーム機のうち同時に使用できるのは 1 台のみです。

2.準備

Windows® XP でサポートされている機能を PPPoE ブリッジ機能を使って実現するには次の条件が必要です。

・PPPoE をサービスにしている事業者と契約（NTT のフレッツ ADSL 等）し、PPPoE 接続していること
・使用する Windows® XP 搭載パソコンがグローバル IP アドレスを取得できること
・これらの機能を使って通信する相手も同様の環境であること

1）PPPoE の接続設定をする
2）パスポート登録をする（リモートデスクトップの場合は必要ありません）
3）Windows Messenger メンバー（接続相手）の登録をする

3.利用できること

（1）リモートデスクトップ：パスポートへの登録不要
接続した相手側のパソコンを完全に操作することができます。
そのとき接続された方は、接続されていることを表示し、キー入力を拒否します。
（2）リモートアシスタント：以下すべてパスポートへの登録が必要です。
接続した相手の画面が現在どのように表示されているかを見ることができます。
（3）Windows Messenger
（3-1）インスタントメッセージ
接続した相手とチャットのように、文字で情報のやりとりを行います。
（3-2）ファイル転送
接続した相手にファイルを送ったり、受信したりすることができます。
（3-3）ホワイトボード
（3-4）電話
パソコンにマイクとスピーカを接続して、接続した相手と電話することができます。
（3-5）画像
パソコンにカメラを接続して、こちらのカメラで写した画像を、接続相手に送ることができます。
（3-8）アプリケーションの共有
接続した相手とアプリケーションを共有します。

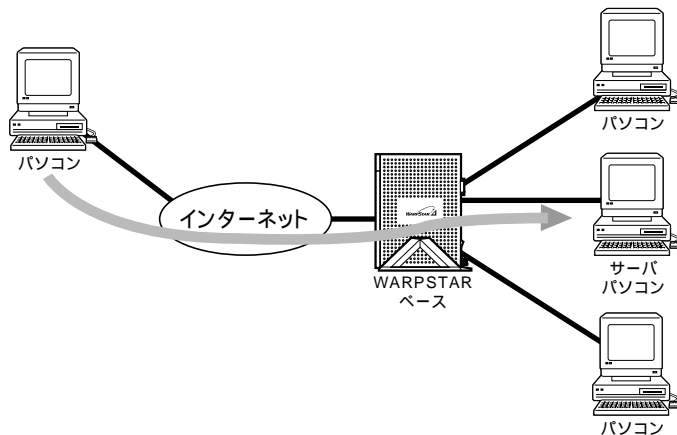
4.使いかた

（1）PPPoE をサポートしている接続ソフト（広帯域接続）を用いてプロバイダにアクセスします。
（2）各サービスに応じてサービスを起動します。

お知らせ

●アプリケーションの操作方法は、パソコンのサポート窓口でお問い合わせください。
●詳細については、添付 CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」を参照してください。

8-3 外部にサーバを公開する

WARPSTAR に接続したサーバをインターネットへ公開することができます。

次の設定が必要です。

■パソコンの設定

・パソコンの IP アドレスの設定

サーバとして公開するパソコンに、プライベート IP アドレスを設定します。
DHCP で割り当てた IP アドレスでのサーバ公開はできません。
外部にサーバを公開するときは、データ保全のため十分なセキュリティ設定を行ってください。
セキュリティの設定を行わないと、サーバが不正侵入や盗聴、妨害、データの消失、破壊に合う可能性があります。

■ WARPSTAR の設定

・グローバル IP アドレスの設定

接続事業者やプロバイダからサーバに割り当てられたグローバル IP アドレスを WARPSTAR に設定します。
プロバイダから自動的に割り当てられるグローバルアドレスを使用するには、ダイナミック DNS などのサービスを利用する必要があります。

・ポートマッピングの設定

サーバパソコンに設定した固定 IP プライベートアドレスと、WARPSTAR に設定したグローバル IP アドレスの関連づけを行います。

・ IP フィルタリングの設定

サーバパソコンへの外部からのアクセスを許可する設定をします。

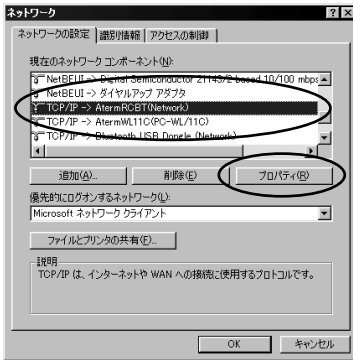
 お知らせ

●複数の固定 IP アドレスを使用するサービス（IP8/16 サービス等）ではご使用になれません。

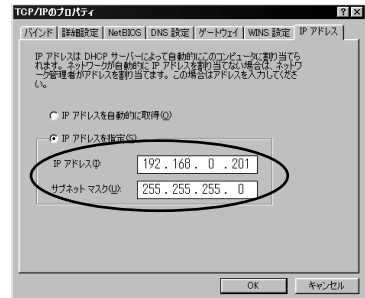
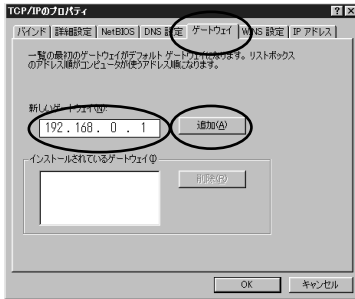
サーバとなるパソコンのIPアドレスの設定をする

■パソコンのIPアドレス設定

●Windows® Me/98の場合
画面はWindows® Meの例です。

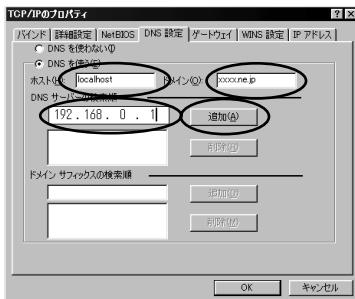
1 **[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]の[ネットワーク]を開き、リストの中の[TCP/IP->(ネットワークカードの名称)]を選択し、[プロパティ]をクリックする**

2 **[IPアドレス]タブをクリックし、[IPアドレス設定]を選択する**

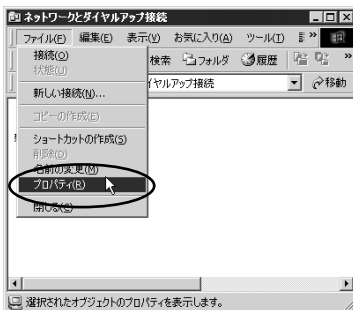
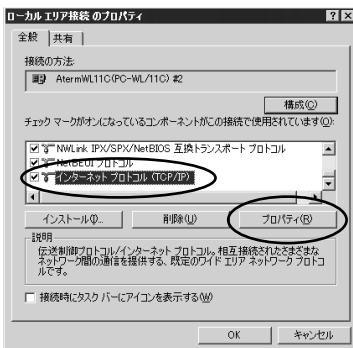
3 **IPアドレスとネットマスク欄にWindows®パソコンに割り当てるIPアドレスとサブネットマスクを入力する**

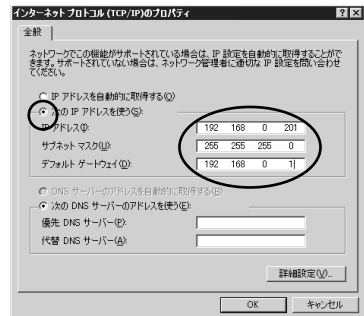
WARPSTARのIPアドレスが工場出荷状態の場合は、Windows®パソコンのIPアドレスは192.168.0.201から192.168.0.254の範囲で設定します。

4 ［ゲートウェイ］タブをクリックし、［新しいゲートウェイ］にWARPSTARのIPアドレス（工場出荷状態では192.168.0.1）を入力し、［追加］をクリックする

5 ［DNS設定］タブをクリックし、［DNSを使う］を選択する

6 ［ホスト名］にWindows®パソコンの名前を、［ドメイン］に接続するプロバイダのドメイン名を、［DNSサーバーの検索順］にはWARPSTARのIPアドレス（工場出荷設定では192.168.0.1）を入力し、［追加］をクリックする

7 ［OK］をクリックし、メッセージに従って再起動する

● Windows® 2000 の場合

1 **[マイコンピュータ] の [コントロールパネル] の [ネットワークとダイヤルアップ接続] をダブルクリックする**

2 **WARPSTAR を接続しているネットワークボード名の [ローカルエリア接続] を選択し、[ファイルメニュー] の [プロパティ] をクリックする**

3 **リストの [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする**

4 **[次の IP アドレスを使う] を選択し、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] に Windows® パソコンに割り当てる IP アドレスとネットマスクを入力する**

WARPSTAR の IP アドレスが工場出荷状態の場合は、Windows® パソコンの IP アドレスは 192.168.0.201 から 192.168.0.254 の範囲で設定します。デフォルトゲートウェイは、WARPSTAR の IP アドレス (192.168.0.1) を設定します。

5 **[次の DNS サーバーのアドレスを使う] を選択し、[優先 DNS サーバー] に WARPSTAR の IP アドレス (工場出荷設定では 192.168.0.1) を入力する**

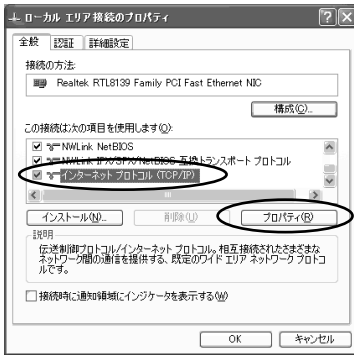
6 **[OK] をクリックし、メッセージに従って再起動する**

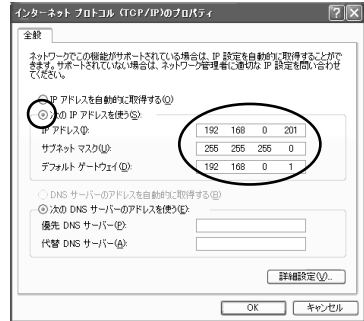
● Windows® XP の場合

1 **［スタート］－［コントロールパネル］を選択する**

2 **［ネットワーク接続］アイコンをダブルクリックする**

3 **WARPSTAR が接続されているネットワークボード名の［ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］を選択する**

4 **リストの［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］をクリックする**

5 **［次の IP アドレスを使う］を選択し、［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［デフォルトゲートウェイ］に Windows® パソコンに割り当てる IP アドレスとネットマスクを入力する**

WARPSTAR の IP アドレスが工場出荷状態の場合は、Windows® パソコンの IP アドレスは 192.168.0.201 から 192.168.0.254 の範囲で設定します。デフォルトゲートウェイは、WARPSTAR の IP アドレス（192.168.0.1）を設定します。

6 **［次の DNS サーバーのアドレスを使う］を選択し、［優先 DNS サーバー］に WARPSTAR の IP アドレス（工場出荷設定では 192.168.0.1）を入力する**

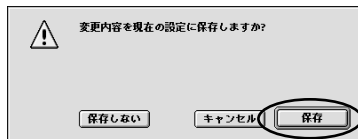
7 **［OK］をクリックし、メッセージに従って再起動する**

● Macintoshの場合

1 **アップルメニューの［コントロールパネル］の［TCP/IP］を開く**

2 **［設定方法］を［手入力］にし、［IPアドレス］にはMacintoshパソコンに割り当てるIPアドレス、［サブネットマスク］にはネットマスク、［ルータアドレス］と［ネームサーバアドレス］にはWARPSTARのIPアドレス（工場出荷設定では192.168.0.1）、［検索ドメイン名］には接続するプロバイダのドメイン名を入力し、ウィンドウを閉じる**

WARPSTARのIPアドレスが工場出荷状態の場合は、IPアドレスは192.168.0.201から192.168.0.254の範囲で設定します。

3 **確認のダイアログが表示されたら［保存］をクリックする**

WARPSTARの設定

らくらくアシスタントで設定する場合（☛P8-19 下記）
クイック設定 Web で設定する場合（☛P8-24）

らくらくアシスタントで設定する

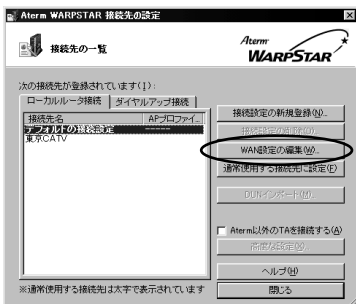
お知らせ

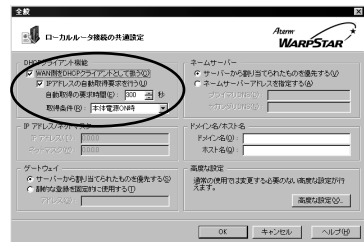
●ルータタイプモデムをご利用の場合、ルータタイプモデム側での設定が必要になる場合があります。モデム側の設定は、接続事業者などへ確認してください。

■グローバル IP アドレスの設定（ローカルルータモードの場合）

1 **アクセスマネージャを起動する**

2 **タスクトレイの［アクセスマネージャ］アイコンを右クリックし、［その他のツール］から［接続先の設定］を選択する**

3 **［WAN 設定の編集］をクリックする**

4 **管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックする**

5 **［DHCP クライアント機能］の欄で設定する**

［WAN 側を DHCP クライアントとして扱う］を☑にする

・プロバイダや接続事業者から IP アドレスを指定されている場合は、チェックをはずし、IP アドレス/ネットマスクを設定してください。

6 **［OK］をクリックする**

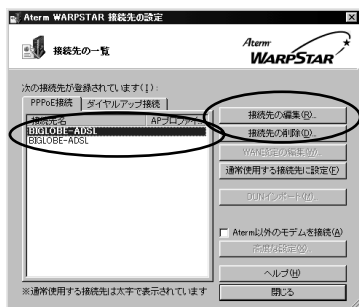
接続先設定の画面に戻ります。

7 **［閉じる］をクリックする**

■グローバル IP アドレスの設定（ADSL（PPPoE）モードの場合）

1 **アクセスマネージャを起動する**

2 **タスクトレイの［アクセスマネージャ］アイコンを右クリックし、［その他のツール］から［接続先の設定］を選択する**

3 **利用する接続先を選択し、［接続先の編集］をクリックする**

4 **［IP アドレス］欄で設定する**

プロバイダや接続事業者から IP アドレスを指定されている場合は、［次の IP アドレスを使う］を選択し、IP アドレスを入力します。

5 **［上書き登録］をクリックする**

接続設定の画面に戻ります。

6 **［閉じる］をクリックする**

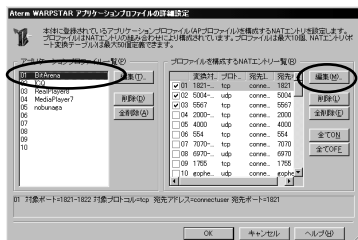
■ポートマッピングの設定

1　**［インターネット接続の設定］をクリックし、［アプリケーションプロファイルの設定］をクリックする**

2　**［詳細設定］をクリックする**

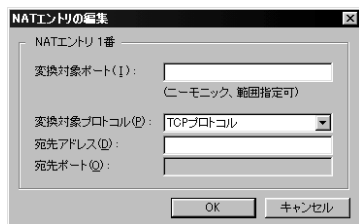
3　**［はい］をクリックする**

4　**管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックする**

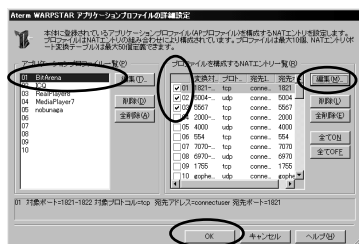
5　**［プロファイルを構成するNATエントリ一覧］欄から空いているエントリを選択し、［編集］をクリックする**

6　**NATエントリの編集画面で設定する**

変換対象ポート：
　ポート番号を指定します。

変換対象プロトコル：
　TCP、UDPから選択します。

宛先アドレス：
　公開するサーバパソコンのIPアドレスを入力します。

7　**［OK］をクリックする**

8　**［アプリケーションプロファイル一覧］欄で利用するアプリケーションプロファイルを選択し、設定したNATエントリを☑する**

新しいプロファイルを利用する場合は、［編集］をクリックし、プロファイル名を入力して［OK］をクリックします。

9　**［OK］をクリックする**

10　**［OK］をクリックする**

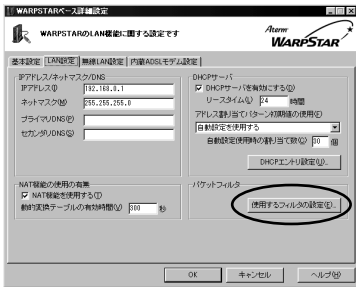
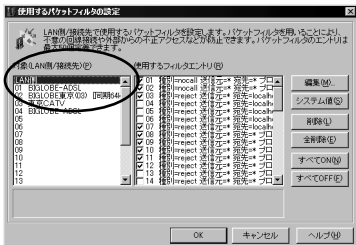
■IP フィルタの設定

1 **らくらくアシスタントを起動する**

2 **［WARPSTAR の設定］をクリックし、［WARPSTAR ベースの詳細設定］をクリックする**

3 **管理者用パスワードを入力し、［OK］をクリックする**

4 **［LAN 設定］タブを選択する**

5 **［使用するフィルタの設定］をクリックする**

6 **［対象（LAN 側/接続先)］欄で使用する接続先を選択する**

7 **［使用するフィルタエントリ］欄から空いているエントリを選択し、［編集］をクリックする**

8 **フィルタエントリの編集画面で設定する**

※画面の値は例です。

サーバとして公開するパソコンに接続を許可するフィルタの設定をします。

フィルタ種別：
　パケットをどのように処理するか「すべて拒否/すべて通す/発信しない/発信する/無通信監視タイマを無効化/無通信監視タイマを有効化」から選択できます。

送信元 IP アドレス：
　処理したいパケットの発信元 IP アドレスを指定します。公開する相手を限定したい場合は相手の IP アドレスを入力してください。

宛先 IP アドレス：
　公開するサーバパソコンの IP アドレスを指定します。

プロトコル種別：
　処理したいパケットのプロトコル種別を「TCP/UDP/ICMP/すべて」から選択します。

送信元ポート：
　処理したいパケットのポート番号を指定します。

宛先ポート：
　処理したいパケットのポート番号を指定します。

方向：
処理したいパケットの方向を「順方向/逆方向/両方向」から選択します。

9 **［OK］をクリックする**

10 **設定したエントリのチェックボックスにチェックが入っている（☑）ことを確認する**

11 **［OK］をクリックする**

12 **［OK］をクリックする**

クイック設定Webで設定する

■グローバルIPアドレスの設定（ADSL接続の場合）

1 **パソコンを起動する**

2 **ブラウザを起動し、クイック設定Webのページを開く**

WARPSTARベースのIPアドレスを入力して開きます。
（工場出荷時は192.168.0.1です。）

3 **ユーザ名に［admin］と入力し、パスワードを入力する**

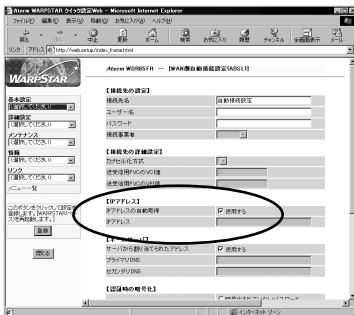
ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 **［基本設定］の ▼ をクリックし、［WAN側自動接続設定］をクリックする**

5 **IPアドレスの欄で設定する**

プロバイダや接続事業者からIPアドレスを指定されている場合は、［IPアドレス］欄で［IPアドレスの自動取得］の［使用する］のチェックをはずし、IPアドレスを入力します。

6 **［設定］をクリックする**

続けてポートマッピングの設定に進みます。

■グローバルIPアドレスの設定（ローカルルータ接続の場合）

1　**パソコンを起動する**

2　**ブラウザを起動し、クイック設定Webのページを開く**

WARPSTARベースのIPアドレスを入力して開きます。
（工場出荷時は192.168.0.1です。）

3　**ユーザ名に［admin］と入力し、パスワードを入力する**

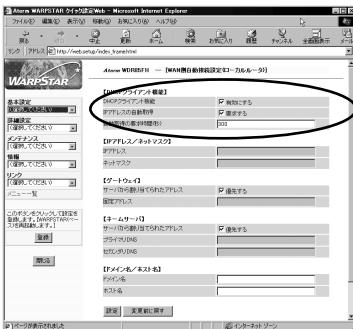
ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。

4　**［基本設定］の ▼ をクリックし、［WAN側自動接続設定］をクリックする**

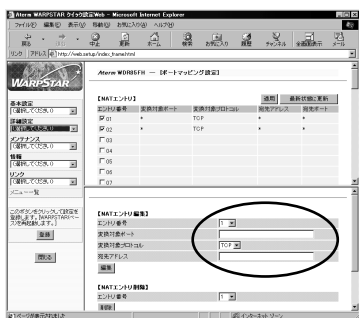
5　**［DHCPクライアント機能］の欄で設定する**

プロバイダや接続事業者からIPアドレスを指定されている場合は、［DHCPクライアント機能］の［有効にする］のチェックをはずし、IPアドレス/ネットマスクを設定してください。

6　**［設定］をクリックする**

続けてポートマッピングの設定に進みます。

■ポートマッピングの設定

1 **[詳細設定]の ▼ をクリックし、[ポートマッピング設定]をクリックする**

2 **[NAT エントリ編集]欄で設定する**

①[エントリ番号]で空いている番号を選択します。
最大 50 個設定できます。
②[変換対象ポート]でポート番号を指定します。
③[変換対象プロトコル]で TCP、UDP から選択します。
④[宛先アドレス]で上で設定したポートに対して固定的に割りあてるクライアントパソコンの IP アドレスを入力します。

〈外部にサーバを公開する場合の設定例〉

エントリ番号：
空いている番号を選択します。
変換対象ポート：
「80」を指定します。
変換対象プロトコル：
「TCP」を選択します。
宛先アドレス：
「192.168.0.201」と入力します。

3 **[編集]をクリックする**

4 **[NAT エントリ]欄で[最新状態に更新]をクリックし、登録した内容を表示する**

5 **適用するエントリ番号を ☑ にする**

6 **[適用]をクリックする**

続けて IP フィルタの設定を行います。

■IP フィルタの設定

1　［詳細設定］の ▼ をクリックし、［パケットフィルタ設定］をクリックする

2　［フィルタエントリ追加］欄で設定する

サーバとして公開するパソコンに接続を許可するフィルタの設定をします。

フィルタ種別：
パケットをどのように処理するか「すべて拒否/すべて通す/無通信監視タイマを無効化/無通信監視タイマを有効化」から選択できます。

送信元 IP アドレス：
処理したいパケットの発信元 IP アドレスを指定します。公開する相手を限定したい場合は相手の IP アドレスを入力してください。

宛先 IP アドレス：
公開するサーバパソコンの IP アドレスを指定します。

プロトコル種別：
処理したいパケットのプロトコル種別を「TCP/UDP/ICMP/すべて」から選択します。

送信元ポート：
処理したいパケットのポート番号を指定します。

宛先ポート：
処理したいパケットのポート番号を指定します。

方向：
処理したいパケットの方向を「順方向/逆方向/両方向」から選択します。
発信元 IP アドレスから宛先 IP アドレスの方向を順方向といいます。

3　［追加］をクリックする

4　［フィルタエントリ］欄で［最新状態に更新］をクリックし、登録した内容を表示する

5　設定したエントリ番号を ☑ にする

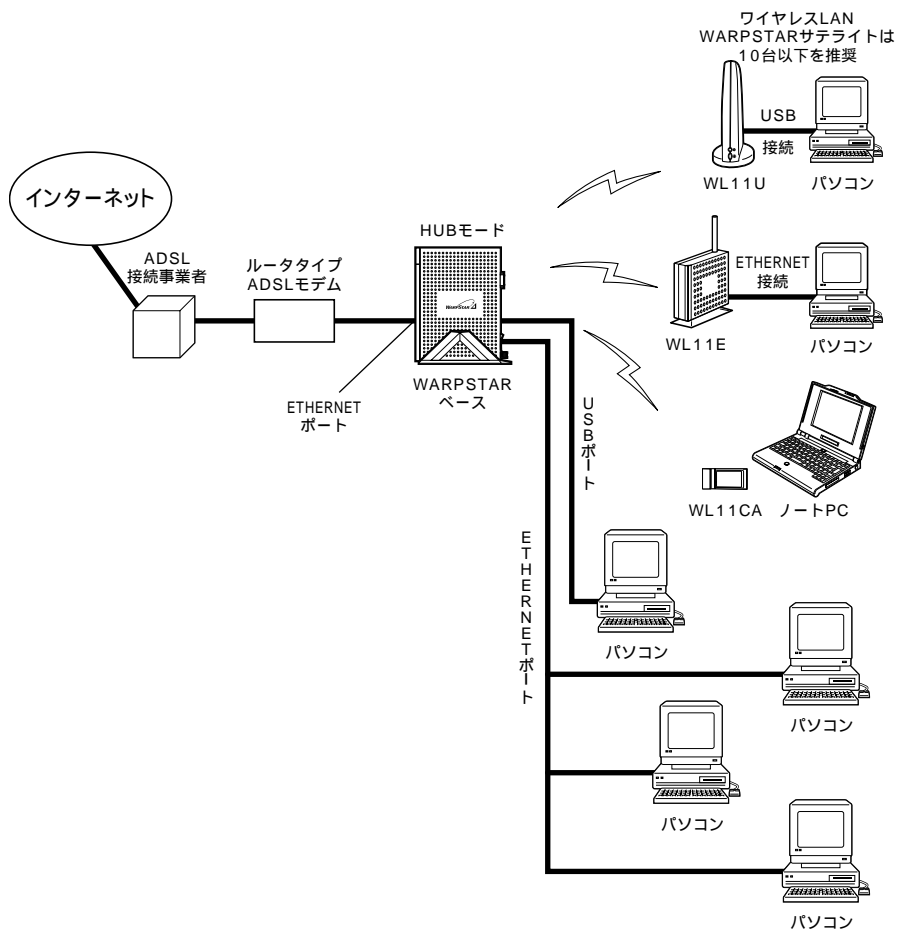
6　［適用］をクリックする

7　［登録］をクリックする

WARPSTAR ベースに設定が書き込まれます。

8-4 HUBとして使う

WARPSTARでは、HUB（ハブ）モードを利用して、ルータタイプのADSLモデムや既存のハブに接続し、下記のような構成でネットワークを拡張することができます。WARPSTARベースに無線カードWL11CAを装着して使用します。

〈WBR75Hの場合の例〉

※ルータタイプのブロードバンドルータ等、WARPSTAR以外のルータに接続する場合は、アクセスマネージャは使用できません。らくらくアシスタントでWindows® 起動時起動しない設定にしてください。
※WDR85FHでもHUBとしての利用は可能です。ただし、この場合は内蔵ADSLモデムの利用はできません。

お願い

●HUBモードの設定は次の順序で行います。
①らくらくアシスタントのインストール
②ドライバのインストール
③ディップスイッチの設定

●WARPSTARベースをHUBモードに設定すると、らくらくアシスタントやベースマネージャによる各種設定ができなくなります。設定変更する場合は、ADSLモデムの接続をはずして、ディップスイッチの3を［OFF］にし、HUBモードを解除してからベースマネージャで設定を変更してください。

ユーティリティやドライバをインストールする

■らくらくアシスタントをインストールする

らくらくアシスタントのインストール方法は、「3-1　WARPSTARベースのETHERNETポートにパソコンを接続する場合」「らくらくアシスタントをインストールする　■Windows® の場合」を参照してください。（☛P3-5）
らくらくアシスタントをインストールし、らくらくアシスタントが起動したら、次項の「らくらくアシスタントでドライバをインストールする」を行ってください。

■らくらくアシスタントでドライバをインストールする

パソコンとの接続方法によって、ドライバをインストールします。
以下のページを参照して行ってください。

WARPSTARベースのUSBポートの場合（☛P3-12）
ETHERNETポートに接続する場合（☛P3-9）
WARPSTARサテライトに接続する場合（☛P3-20）

HUB モードを設定する

ディップスイッチで、WARPSTAR ベースを HUB モードに変更します。

1 WARPSTAR ベースの電源を切る

2 装置側面の開閉カバーを開ける

3 ディップスイッチの 3 を「ON」にする

つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「ON」側に倒してください。

DIP SW
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
ON
OFF

DIP SW3
ON ：HUB モード
OFF：通常モード

4 カバーを閉める

5 WARPSTAR ベースの電源を入れる

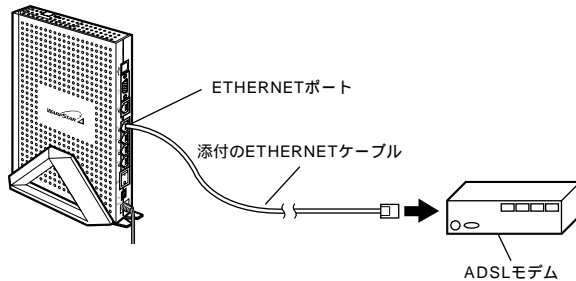
お願い

●WARPSTAR ベースを HUB モードに設定すると、らくらくアシスタントやベースマネージャによる各種設定ができなくなります。設定変更する場合は、ネットワークからはずして上記と逆に、ディップスイッチの 3 を［OFF］にして、HUB モードを解除してからベースマネージャで設定を変更してください。

●本モードは「無線 HUB モード」と同じです。

ADSLモデムと接続する

WARPSTARベースとADSLモデムまたはハブを接続します。

1 WARPSTARベースの背面にあるETHERNETポートとADSLモデムを添付のETHERNETケーブル（ストレート）で接続する

2 WARPSTARベースおよびハブの接続を確認する

WARPSTARベースおよびハブの電源を入れ、それぞれのLAN ポートが正しく接続されていることを確認します。

・WARPSTARベースの背面のETHERNETポート状態表示LEDが点灯します。

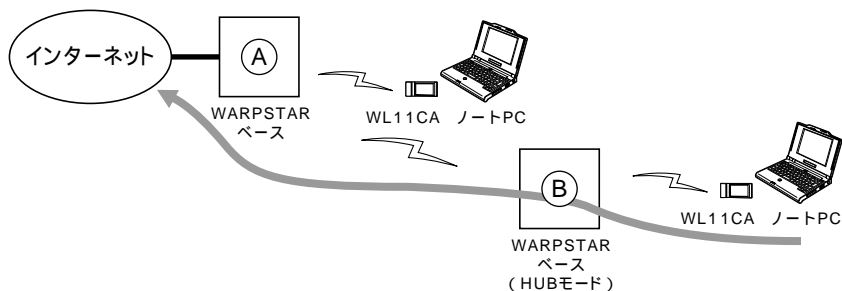
お願い

●HUBモードでは、ブロードバンド接続ポートはご利用になれません。ETHERNETポートに接続してください。
●ハブを接続する場合は、ハブのアップリンクポートに接続します。アップリンクポートがない場合は、クロス変換アダプタ／ケーブルを使用してETHERNETポートに接続してください。

インターネット接続を確認する

ルータタイプのブロードバンドモデムにネットワークで接続している場合は、アクセスマネージャは使えません。アクセスマネージャを終了させ、ブロードバンドモデムの取扱説明書に従ってインターネット接続ができることを確認してください。

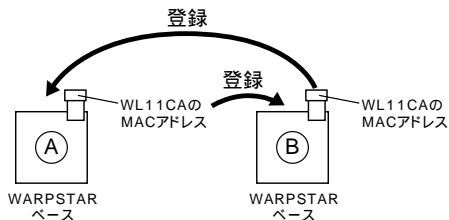
8-5 ワイヤレス LAN 中継を使う

WARPSTAR では、ワイヤレス LAN 中継の機能を利用して下記のような構成でワイヤレス LAN を拡張できます。

お知らせ

- WARPSTAR ベース B に無線接続されたサテライトからインターネットに接続する場合の速度は、WARPSTAR ベース A に無線接続されたサテライトから接続する場合の半分以下の速度になります。
- A と B の ESSID（ネットワーク名）を同じにすることでローミングが可能です。
- 中継台数は、3 台以下でご利用ください。
- 複数台で中継を行う場合には、端末からインターネットへの複数の経路が存在するような構成にはできません。
  中継する WARPSTAR ベースに登録するインターネット側（WAN 側）への WARPSTAR ベースは 1 台のみとなります。

ワイヤレス LAN 中継の設定をする

ワイヤレス LAN 中継を利用するには、次の設定が必要です。設定の説明は上記のイラスト A B を使って説明します。

① WARPSTAR ベース A → WARPSTAR ベース B に装着された WL11CA の MAC アドレスを、WARPSTAR ベース B → WARPSTAR ベース A に装着された MAC アドレスを登録します。
② WARPSTAR ベース A、B の使用する無線チャネルを同じ値に設定します。
③ WARPSTAR ベース B を HUB モードに設定します。

※中継台数を増やし、3 台目に WARPSTAR ベース C を登録する場合は、WARPSTAR ベース B に WARPSTAR ベース C の MAC アドレスを登録し、WARPSTAR ベース C に WARPSTAR ベース B の MAC アドレスを登録します。

MACアドレスを登録する

WARPSTARベースにそれぞれのMACアドレスを登録します。

●登録するMACアドレスを誤ると通信が正常に行えません。その場合は、無線を使わない端末にも影響する場合がありますのでご注意ください。

■らくらくアシスタントで設定する

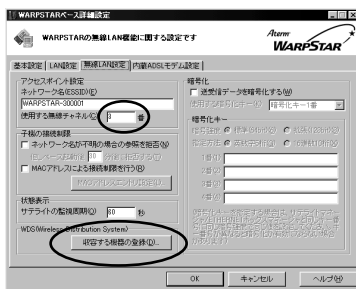
1 **らくらくアシスタントを起動する**

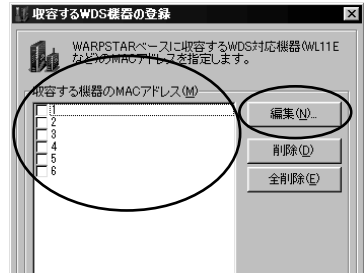
2 **［WARPSTARの設定］をクリックし、［WARPSTARベースの詳細設定］をクリックする**

3 **管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックする**

4 **［無線LAN設定］タブをクリックする**

5 **［使用する無線チャネル］をWARPSTARベースA、Bで同じ番号にする**

（チャネル番号は1～14の値で設定します。）

6 **［収容する機器の登録］をクリックする**

7 **［収容するMACアドレス］欄からエントリを選択し、［編集］をクリックする**

8 **［MACアドレス］欄に次のMACアドレスを入力する**

WARPSTARベースA
→WARPSTARベースBに装着されたWL11CAのMACアドレス
WARPSTARベースB
→WARPSTARベースAに装着されたWL11CAのMACアドレス

9 **［OK］をクリックする**

10 **追加したMACアドレスを☑にする**

11 **［OK］をクリックする**

WARPSTARベース詳細設定に戻ります。

12 **［OK］をクリックする**

WARPSTARベース詳細設定が終了し、WARPSTARベースが再起動します。

■クイック設定Webで設定する

1 **パソコンを起動する**

2 **ブラウザを起動し、「http://web.setup/」クイック設定Webのページを開く**

WARPSTARベースのIPアドレスを入力して開きます。
（工場出荷時は192.168.0.1です。）
例：http://192.168.0.1/

3 **ユーザ名に「admin」と入力し、パスワードを入力し、[OK]をクリックする**

ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 **[詳細設定]の ▼ をクリックし、[無線LAN側設定]を選択する**

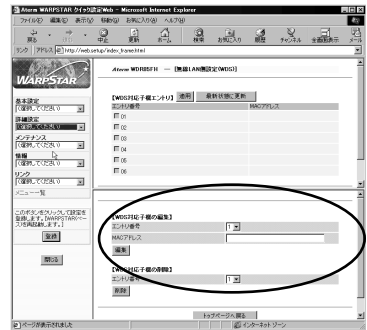
5 **[アクセスポイント設定]の[使用チャネル]をWARPSTARベース A、B で同じ番号にする**

（チャネル番号は1～14の値で設定します。）

6 **[設定]をクリックする**

7 **[詳細設定]の ▼ をクリックし、[無線LAN側設定(WDS)]を選択する**

8 **[WDS対応子機の編集]の項目で次のように設定する**

WARPSTARベース A
→WARPSTARベース B に装着されたWL11CAのMACアドレス
WARPSTARベース B
→WARPSTARベース A に装着されたWL11CAのMACアドレス

9 **[編集]をクリックする**

10 **[WDS対応子機エントリ]で[最新の状態に更新]をクリックする**

11 **登録したMACアドレスのエントリ番号をチェック☑にする**

12 **[適用]をクリックする**

13 **[登録]をクリックする**

WARPSTARベースの前面の各ランプが点滅して、WARPSTARベースが再起動します。

HUB モードを設定する

ディップスイッチで、WARPSTAR ベース B を HUB モードに変更します。

1 WARPSTAR ベースの電源を切る

2 装置側面の開閉カバーを開ける

3 ディップスイッチの 3 を「ON」にする

つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「ON」側に倒してください。

DIP SW
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
ON
OFF

DIP SW3
ON　：HUB モード
OFF：通常モード

4 カバーを閉める

5 WARPSTAR ベースの電源を入れる

お願い

●WARPSTAR ベースを HUB モードに設定すると、らくらくアシスタントやベースマネージャによる各種設定ができなくなります。設定変更する場合は、ネットワークからはずして上記と逆に、ディップスイッチの 3 を［OFF］にして、HUB モードを解除してからベースマネージャで設定を変更してください。
●本モードは「無線 HUB モード」と同じです。

9　お困りのときには

WARPSTARがうまく動かない、操作しても違う結果になるなど、お困りのときには本章をお読みください。

Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP operating systemの略です。
Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

9

9-1 トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、WARPSTAR ベースを初期化し（☛P9-10）、初めから設定し直してみてください。初期化を行うと WARPSTAR のすべての設定が消去されますのでご注意ください。初期化を行う前に、現在の設定内容を保存しておくことができます。
本書の他に、添付 CD-ROM 収録の電子マニュアル「お困りのときには」で、さまざまな症状と対策方法を記載しております。本章と合わせてご覧ください。（☛P10）
無線 LAN 内蔵パソコンを接続している方は、無線 LAN 内蔵パソコンの取扱説明書を参照してください。

設置に関するトラブル

症　状		原因と対策
電源を入れたとき	POWER ランプが点灯しない	電源が入っていません。 ●電源コードがはずれている →電源コードを電源コンセントに差し込んでください。 ●電源スイッチが入っていない →電源スイッチの［I］（オン）側を押してください。 ●電源コードがパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている →電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れると WARPSTAR ベースに供給されている電源も切れてしまいます。 ●電源コードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源コードをコンセントからはずしてお買い上げいただいた販売店や NEC 保守サービス受付拠点にご相談ください。
添付の CD-ROM をパソコンにセットしたとき	メニュー画面を表示したくない	CD-ROM をセットすると、メインメニュー画面が表示されるように設定されています。 →表示したくない場合は、以下のどちらかの方法でメニューを消してください。 ●不要な場合はメニューの［終了］をクリックします。 ●Windows® Me/98/XP/2000 の場合、Shift キーを押しながら CD-ROM をセットします。 ●Windows® Me/98 の場合、CD-ROM を入れたときに最初の画面が表示されないようにできます（ただし、WARPSTAR だけでなく、ほかの CD-ROM でも表示されなくなります）。 ①［コントロールパネル］の［システム］をダブルクリックする ②［デバイスマネージャ］タブの［CD-ROM］をダブルクリックする ③使用する CD-ROM ドライブをクリックし、［プロパティ］をクリックする ④［設定］タブをクリックする ⑤［オプション］の［自動挿入］または［挿入の自動通知］のチェックをはずす ⑥［OK］をクリックし、Windows® Me/98 を再起動する

症　状		原因と対策
Aterm が正常に動作しないが、原因がわからない	設定に誤りがある	●設定に誤りがある場合があります。 →以下のようにして、現在の設定内容を表示、または印刷して確認してみてください。 ①らくらくアシスタントを起動する ②［WARPSTAR のメンテナンス］－［設定値の確認・保存・復元］をクリックする 設定内容の一覧が表示されます。 ③設定内容を印刷する場合は、［ファイル］メニューの［印刷］をクリックし、印刷条件を指定して［OK］をクリックする ※どうしても動作しない場合は、購入時の状態に戻し、最初から設定し直してください。
WARPSTAR やユーティリティのバージョンを確認したい		アクセスマネージャで確認することができます。 ①タスクトレイの［アクセスマネージャ］アイコンを右クリックする ②［ヘルプ］の［バージョン情報］を選択する
ETHERNET ポート状態表示 LED が点灯しない	ご利用の LAN ケーブルのストレート／クロスが違っている可能性がある	クロス変換アダプタ／ケーブルを使って接続するか、市販の LAN ケーブル（クロスケーブル）を使って接続してください。 LAN ケーブルにはストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類が存在します。基本的には、パソコン-HUB 間はストレートケーブルを利用し、HUB-HUB 間、パソコン-パソコン間はクロスケーブルを利用します。通常は WARPSTAR ベースとパソコンの間はストレートケーブルで接続してください。ただし、利用している LAN ボード等、環境によって異なる場合があります。
WARPSTAR ベースとワイヤレス子機間の電波状態が悪い		別売のワイヤレス LAN 外部アンテナ（PA-WL/ANT1）〔121ware(http://121ware.com/)で購入可能〕をご使用ください。ただし、周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、改善状態は異なります。（改善できないこともあります。）

通信に関するトラブル

症　状	原因と対策
使用可能状態において突然 「IP アドレス 192.168.0.xxx　は、ハードウェアのアドレスが....と競合していることが検出されました。」 というアドレス競合に関するエラーが表示された	● ［OK］をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう一台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記手順を行ってください。 〈Windows ® Me/98 の場合〉 ①［スタート］－［ファイル名を指定して実行(R)］をクリックします。 ②「winipcfg」を入力して［OK］をクリックします。 ③ETHERNET アダプタ情報のプルダウンウィンドウから WARPSTAR ベースとの接続に使用しているアダプタ名（Aterm WL USB Network Adapter、Aterm WL11U（PC-WL/11U)、または Aterm WL11C（PC-WL/11C)）を選択します。 ④［解放(S)］をクリックして、IP アドレスが 0.0.0.0 になることを確認します。IP アドレスはすでに解放されていますと表示されたときは、［OK］をクリックして⑤へ進んでください。 ⑤［書き換え(N)］をクリックして、IP アドレスが［192.168.0.xxx］になることを確認します。 〈Windows ® 2000 Professional の場合〉 ①［プログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックします。 ②「ipconfig /renew」を入力して［Enter］キーを押します。 ③IP アドレスが［192.168.0.xxx］になることを確認します。 〈Windows ® XP の場合〉 ①［スタート］－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックします。 ②「ipconfig /renew」を入力して［Enter］キーを押します。 ③IP アドレスが［192.168.0.xxx］になることを確認します。

アクセスマネージャでインターネットに接続した場合、切断の際にエラーコードが表示されます。
以下に代表的なエラーコードを示します。エラーコードの詳細については、添付の CD-ROM に収録されている「お困りのときには」を参照してください。

エラーコード	表示理由	表示
144	正常切断	（正常切断）回線を切断しました。 無通信監視タイマによる切断の使用可否は接続先設定のオプションをご確認ください。
146	ディスカバリーステージで相手応答せず	接続先が応答しないため、回線を接続できませんでした。（応答無し）
147	相手無応答	回線を切断しました。（PPP） 接続先からの応答がありませんでした。 しばらく待ってから接続し直してください。
149	認証失敗	回線が切断されました。（PPP） ID ／パスワードが間違っている可能性があります。 接続先設定をご確認ください。

らくらくアシスタントに関するトラブル

症　状		原因と対策
らくらくアシスタント、ベースマネージャ、アクセスマネージャを使用できない	「Aterm WARPSTARが見つかりません。…」と表示される	●WARPSTARベースの電源スイッチが入っていない →電源スイッチの［ I ］（オン）を押した状態にしてください。 ●ETHERNET接続の場合はETHERNETケーブルが正しく接続されているか確認してください。ETHERNETポート横のETHERNETポート状態表示LEDで確認できます。 ランプが点灯していない場合、ケーブルを確認してください。 ●USB-LANポート接続の場合は、USBケーブルが正しく接続されているか確認してください。WARPSTARベースのREADYランプが緑に点灯していることで確認できます。READYランプが正しく点灯しない場合はUSBドライバが正しくインストールされているか確認してください。 ●WARPSTARサテライト（WL11CA/WL11U）からの接続の場合は、サテライトマネージャで無線が正しく通信できているか確認してください。通信状態が範囲外または異常の場合はサテライトマネージャの設定を確認してください。
	使用可能状態において、突然「Aterm WARPSTARが見つかりません。...」と表示される	●上記トラブルの１項目を参照してください。 ●通信に関するトラブルの項目を参照して、IPアドレスを更新してください。
WARPSTARサテライトが使えない	［サテライトマネージャ］アイコンが使える状態（青表示）にならない	●WARPSTARベースの電源スイッチが入っていない →電源スイッチの［ I ］（オン）を押した状態にしてください。 ●無線のネットワーク名（ESSID）が間違っている（一致していない）。 →WARPSTARベースに登録されているネットワーク名とサテライトマネージャで設定しているネットワーク名が同じか確認してください。 WARPSTARベースの出荷時設定は、WARPSTAR-＊＊＊＊＊＊（＊＊＊＊＊＊はWAN/PC（MACアドレス）の下6桁です）。 ●WARPSTARベースの拡張カードスロットにWL11CAが差し込まれていない。 →正しく差し込んでください。
	［サテライトマネージャ］は使える状態（青表示）になるがWARPSTARベースに接続できない	●暗号化（WEP）の設定が一致していない。 →ベースとサテライトは、暗号化のWEPキーが一致しないと通信できません。WEPの暗号キーを確認してください。初期化すると暗号化が解除されます。

ADSL 接続でのトラブル

症　状		原因と対策
通信中の速度が遅い（ADSL）		●次のような場合十分な速度が出ないことがあります。NTT に回線の収容替えを要求すると通信速度が速くなる場合があります（有料）。 ・お客様の設置場所が NTT 局舎から離れている場合 ・お客様の設置場所が幹線道路、鉄道のそばにある場合
途中から通信中の速度が遅くなった（ADSL）		●ADSL 回線にアマチュア無線、CB 無線、放送、電車、電力線などのノイズが入った場合、通信速度が遅くなることがあります。 ●ADSL と ISDN を併用する場合、回線の問題があり、速度が遅くなったり、つながらなくなる場合があります。
通信が切断されることがある（ADSL）		●次のような場合切断されることがあります。 ・お客様の設置場所が幹線道路、鉄道のそばにある場合 ・電話回線で着信があった場合
外付けブロードバンドモデムでブロードバンド通信網に接続できない	ブロードバンド接続ポート状態表示 LED が点灯しない	●ブロードバンドモデムの電源が入っていない →ブロードバンドモデムの電源を入れて、正しく回線のリンクが確立できていることを確認してください。 ●ブロードバンドモデムのコネクタタイプが違う →ブロードバンドモデムの 10BASE-T ポートにはストレートタイプとクロスタイプがあります。クロスタイプの場合は添付のクロス変換アダプタ／ケーブルを使用するか市販のクロスタイプの 10BASE-T ケーブルで接続してください。
ADSL(PPPoE) モードでインターネットに接続できない	接続に失敗する	●ユーザ ID とパスワードが間違っている →ADSL インターネット接続のユーザ ID は、「＊＊＊＊＊＊＊@biglobe.ne.jp」のように @ 以下のプロバイダのアドレスまですべて入力するのが一般的です。プロバイダからのユーザ ID とパスワードを再確認して正しく設定してください。 ●外付け ADSL モデムを使用してフレッツ ADSL 接続中に WARPSTAR ベースの電源を切ったり、リセットが発生すると WARPSTAR ベースが再起動後、一定時間（5 分程度）接続できない場合があります。しばらく待ってから接続し直してください。 ●使用する WARPSTAR ベースの動作モードは正しいですか？ →ADSL モデムに接続して使用する場合、お使いの ADSL モデムによって WARPSTAR の動作モードが異なります。あらかじめ ADSL モデムのタイプを確認してください。 ●アクセスマネージャが常駐しているがインターネットに接続していない →アクセスマネージャでの接続を行ってください。

症　状		原因と対策
内蔵ADSLモデムでADSL網に接続できない		●パソコンやADSL回線と正しく接続されているか確認してください。 ●お客様の設置場所がNTT局舎から離れている場合は、お使いになれないことがあります。 ●セキュリティアダプタやガス検針器などが接続されている場合は、ADSLと併用できない場合があります。詳しくは、ADSL接続業者、管理会社、住宅管理会社などへお問い合わせください。 ●WARPSTARベースの電源を切ったあと、すぐに再び電源を入れないでください。5秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。
ADSL(PPPoE)モードでインターネットに接続できない	接続成功してもホームページが開けない	●IPアドレス、ネームサーバアドレスが違っている →自動取得できないプロバイダの場合、プロバイダから指定されたIPアドレスやネームサーバアドレスをプロバイダからの情報に従って、接続先の設定画面で入力してください。 ●アクセスマネージャの接続操作タイミングやインターネットからの応答遅延によっては最初のトップページが開けない場合があります。この場合は、［更新］をクリックして再表示してください。 自動接続モード（接続確認をしないモード）にすると改善する場合があります。 ●WAN側とLAN側のIPアドレスが同じになっている 次の手順でIPアドレスが同じか確認したあとでLAN側IPアドレスを変更します。 （1）WAN側： アクセスマネージャの「状態」-「ローカルルータ接続」の「ゲートウェイ」が192.168.0.1になっている （2）LAN側（WARPSTAR）： パソコンのIPアドレスを確認する →IPアドレスを変更します。 らくらくアシスタントの［WARPSTARの設定］－［WARPSTARの詳細設定］で変更します。 192.168.2.1など下から2ケタ目を変更して、［OK］ボタンをクリックします。 パソコンを再起動します。
PPPoEモードでインターネットに接続できない	外付けADSLモデムを接続してPPPoEモードで接続しているがインターネットに接続できない	●パソコンにADSLモデムに添付されたPPPoE接続専用ソフトを入れたまま使用していたりWindows® XPのPPPoE機能を使用している場合は、ADSLのサービスによっては、1台のパソコンしかインターネットに接続できません。複数のパソコンを同時に接続できるADSLサービスを契約せずに、同時に2台以上接続したい場合は、ADSLモデム用のPPPoE接続専用ソフトウェアをパソコンからアンインストールしたりWindows® XPのPPPoE機能の使用は止めて、再度、WARPSTARのユーティリティで設定し直してください。

CATV 接続でのトラブル

症　状		原因と対策
CATV インターネット接続ができない	接続に失敗する	●回線側の IP アドレスが取得できていない →アクセスマネージャの状態表示で IP アドレス他詳細情報を確認してください。正しく IP が取得できていない場合は、いったん［IP 解放］をクリックしてから［IP 再取得］をクリックして正しく IP を更新してください。 ●他のブロードバンドルータやパソコンに接続していたケーブルモデムを WARPSTAR ベースに接続し直して通信しようとしている →ケーブルモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンの MAC アドレスを記憶して、この MAC アドレスが一致しないと通信できない場合があります。 この場合は、ケーブルモデムの電源を一旦切って、20 分ほど待ってから電源を入れ直すことで回避できる場合があります。 ● CATV 接続事業者によっては、WARPSTAR の MAC アドレスを申請する必要があります。
	接続成功してもホームページが開けない	●ドメイン名、ホスト名が指定されていない →CATV 接続事業者によってはドメイン名やホスト名を入力しないと接続できない場合があります。 接続事業者に確認して WAN 設定の編集からドメイン名やホスト名を入力してください。 ●ゲートウェイ、ネームサーバが指定されていない →CATV 接続事業者によってはゲートウェイやネームサーバを入力しないと接続できない場合があります。 接続事業者に確認して WAN 設定の編集からゲートウェイやネームサーバを入力してください。 ●アクセスマネージャの接続操作タイミングやインターネットからの応答遅延によっては最初のトップページが開けない場合があります。 この場合は、［更新］をクリックして再表示してください。 自動接続モード（接続確認をしないモード）にすると改善する場合があります。
外付けブロードバンドモデムでブロードバンド通信網に接続できない	ブロードバンド接続ポート状態表示 LED が点灯しない	●ブロードバンドモデムの電源が入っていない →ブロードバンドモデムの電源を入れて、正しく回線のリンクが確立できていることを確認してください。 ●ブロードバンドモデムのコネクタタイプが違う →ブロードバンドモデムの 10BASE-T ポートにはストレートタイプとクロスタイプがあります。クロスタイプの場合は添付のクロス変換アダプタ／ケーブルを使用するか市販のクロスタイプの 10BASE-T ケーブルで接続してください。 ● HUB モードになっていて、CATV ケーブルモデムとブロードバンド接続ポートを接続していると点灯しません。

症　状	原因と対策
らくらくアシスタントの「Step1．PCとWARPSTAR間の通信を確立する」が正常に終了しない（☛P3-9）	ETHERNETポートにパソコンを接続している場合は、IPアドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンのIPアドレスを自動取得に設定してみてください。。
クイック設定WEBが開かない	

ダイヤルアップ接続でのトラブル

症　状		原因と対策
ダイヤルアップモードでインターネットに接続できない	接続に失敗する（149切断する）	●ユーザIDとパスワードが間違っている →プロバイダからのユーザIDとパスワードを再確認して正しく設定してください。
	接続成功してもホームページが開けない	●IPアドレス、ネームサーバアドレスが違っている →自動取得できないプロバイダの場合、プロバイダから指定されたIPアドレスやネームサーバアドレスを接続先の設定画面で入力してください。 ●アクセスマネージャの接続操作タイミングやインターネットからの応答遅延によっては最初のトップページが開けない場合があります。この場合は、［更新］をクリックして再表示してください。 自動接続モード（接続確認をしないモード）にすると改善する場合があります。

9-2 WARPSTARを初期化する

初期化とは、WARPSTARに設定した内容を消去して購入時の状態に戻すことをいいます。WARPSTARがうまく動作しない場合や今までとは違う回線に接続し直す場合は、WARPSTARを初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。
初期化には、以下の方法があります。ご利用しやすい方法で行ってください。

らくらくアシスタントで初期化する（☛ 下記）
クイック設定Webで初期化する（☛P9-11）
ディップスイッチで初期化する（☛P9-12）

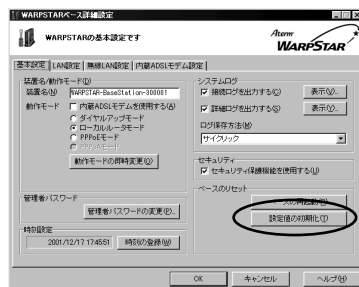
らくらくアシスタントで初期化する

らくらくアシスタントを起動して初期化を行います。

1 らくらくアシスタントを起動する

［スタート］－［プログラム］－［Aterm WARPSTARユーティリティ］－［らくらくアシスタント］をクリックします。

2 ［WARPSTARの設定］をクリックし、［WARPSTARベースの詳細設定］をクリックする

3 ［設定値の初期化］をクリックする

4 ［はい］をクリックする

前面の各ランプが点滅したあと、POWERランプが緑色に点灯すると初期化が完了します。

お願い

● WARPSTARベースの設定を初期化した場合、管理者用パスワード、パケットフィルタ等の基本設定もクリアされますので、初期化後に必ず再設定してください。

クイック設定Webで初期化する

1 パソコンを起動する

2 ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定Webのページを開く

WARPSTARベースのIPアドレスを入力しても開きます。

（工場出荷時は192.168.0.1です。）

例：http://192.168.0.1/

3 ユーザ名に「admin」と入力し、パスワードを入力し、［OK］をクリックする

ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 ［メンテナンス］の ▼ をクリックし、［設定値の初期化］を選択する

5 ［工場出荷時設定に戻す］をクリックする

6 ［OK］をクリックする

WARPSTARベースの前面の各ランプが点滅して、WARPSTARベースが再起動します。

ディップスイッチで初期化する

WARPSTAR ベースのディップスイッチを使って初期化を行います。ディップスイッチは、側面の開閉カバーを開けた中にあります。

1 WARPSTAR ベースの電源を切る

2 開閉カバーを開ける

3 ディップスイッチの 4、5 を「ON」にする

つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「ON」側に倒してください。

DIP SW
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
ON
OFF

4 WARPSTAR ベースの電源を入れる

前面ランプが交互に点滅したあと、POWER ランプが緑色に点灯すると初期化が完了します。

5 WARPSTAR ベースの電源を切る

6 ディップスイッチの 4、5 を「OFF」に戻す

DIP SW
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
ON
OFF

7 WARPSTAR ベースの電源を入れる

お願い

● WARPSTAR ベースの設定を初期化した場合、管理者用パスワード、パケットフィルタ等の基本設定もクリアされますので、初期化後に必ず再設定してください。

9-3 自己診断

自己診断を行うと、WARPSTARのハードウェアに異常がないかを確認することができます。

お願い

●自己診断中は、電源を切らないでください。電源を切ると、設定内容が正しく保持されないことがあります。

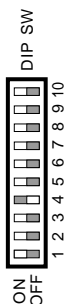
自己診断を行う

1 **WARPSTARベースのUSB-LANポート、ETHERNETポート、ブロードバンド接続ポートに接続されているケーブルを取りはずす**

2 **WARPSTARベースの電源を切る**

3 **開閉カバーを開ける**

4 **ディップスイッチの4を「ON」にする**

つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「ON」側に倒してください。

5 **WARPSTARベースの電源を入れる**

自己診断を開始します。
＜診断中のランプ表示＞
POWERランプが橙色に点灯します。
↓
正常に終了すると「ピピピ…」とブザーが鳴り、POWERランプが橙色／緑色と交互に点滅します。

6 **WARPSTARベースの電源を切る**

7 **ディップスイッチの4を「OFF」に戻す**

8 **WARPSTARベースの電源を入れる**

9 **取りはずしたケーブルを接続する**

異常が発見されたときは

●自己診断テストで異常が発見されたときは、最寄りのNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。（☛P10-12）

10 付録

10-1 製品仕様

WARPSTARベース（WDR85FH）仕様

■ 仕様一覧

項 目		WDR85FH	備 考
回線インタフェース	物理インタフェース	ADSL用（RJ-11）×1ポート	ソフトSWによる切り替えにより、ADSL回線/WANインタフェースのどちらか使用可能
		ブロードバンド用（100BASE-TX/10BASE-T）×1ポート	
		LINKポート×1ポート（RS232Cインタフェース）※1	接続の可能機種制限あり
	データ転送速度	ADSL：※ADSLモデム仕様参照 100BASE-TX/10BASE-T：100Mbps/10Mbps LINKポート：接続するTA／モデムに依存	
	ルーティングプロトコル	IP	
ADSLモデム仕様	伝送方式	ITU-T G.992.1（G.dmt/liteマルチ）Annex C	
	通信速度	下り：最高8Mbps/1.5Mbps 上り：最高1Mbps/512kbps	
	プロトコル	RFC2364（IP over PPP over ATM） RFC1483（IP over ATM）	
LANインタフェース	インタフェース	USB×1ポート 100BASE-TX/10BASE-T×4ポート	
	データ転送速度※2	USB：12Mbps 100BASE-TX/10BASE-T：100Mbps/10Mbps	
	スイッチングHUB	100BASE-TX/10BASE-T 自動認識 スイッチング方式：ストア&フォワード方式 MACアドレス数：1024（自動学習）	フローコントロールは、 全二重：IEEE802.3× 半二重：バックプレッシャー
	ルーティングプロトコル	IP	
	呼接続機能	アプリケーションによる手動接続／切断、自動接続無通信監視による自動切断	
拡張カードスロット		拡張カードスロット（1スロット）	WL11C／WL11CAを装着可能
利用可能端末		PC98-NX、PC-AT互換機、Macintosh	MacintoshはUSB（LANモード）接続不可
ユーティリティおよびドライバ等の動作確認OS		Windows® Me/98/98 Second Edition/XP/2000 Professional（日本語版） Mac OS 8.6J/9J/9.1J/9.2JおよびX日本語版 （Mac OS Xの場合、クラシックモードで使用）	MacintoshはUSB（LANモード）接続不可

※1　外付けのターミナルアダプタやアナログモデムを接続するインタフェース。接続可能機種はホームページを参照してください。
※2　規格による速度を示すものであり、実効速度は異なります。

項　目	WDR85FH	備　考
利用可能OS	Windows®、Macintosh、Linuxなど TCP/IP に対応したOS（WWW ブラウザによる設定は、Internet Explorer 4.0 以上 Netscape Communicator 4.0（推奨 6.1）以上 Net Front for Δ（デルタ）が対応する機器で可能）ただし、ブラウザによる差分およびバージョンによっては、表示等に制限がある場合があります。	
診断機能	自己診断機能	
電源	AC100V±10％　50／60Hz	
停電モード	ー	
消費電力	約13W（最大）	
外形寸法	約(W)25×(H)215×(D)157mm	突起部を除く
質量	約0.65kg	オプションを除く
動作環境	温度0～40℃ 湿度10～90％	結露しないこと

10
付録

WARPSTARベース（WBR75H）仕様

■ 仕様一覧

項　目		WBR75H	備　考
回線インタフェース	物理インタフェース	ブロードバンド用（100BASE-TX／10BASE-T）×1ポート	
		LINKポート×１ポート（RS232Cインタフェース）※1	接続可能機種制限あり
	データ転送速度	100BASE-TX／10BASE-T：100Mbps/10Mbps LINKポート：接続するTA／モデムに依存	
	ルーティングプロトコル	IP	
LANインタフェース	インタフェース	USB×１ポート 100BASE-TX／10BASE-T×4ポート	
	データ転送速度※２	USB：12Mbps 100BASE-TX／10BASE-T：100Mbps/10Mbps	
	スイッチングHUB	100BASE-TX／10BASE-T　自動認識 スイッチング方式：ストア&フォワード方式 MACアドレス数：1024（自動学習）	フローコントロールは、 全二重：IEEE802.3x 半二重：バックプレッシャー
	ルーティングプロトコル	IP	
	呼接続機能	アプリケーションによる手動接続/切断、自動接続 無通信監視による自動切断	
拡張カードスロット		拡張カードスロット（1スロット）	WL11C／WL11CAを装着可能
利用可能端末		PC98-NX、PC-AT互換機、Macintosh	MacintoshはUSB（LANモード）接続不可
ユーティリティおよびドライバ等の動作確認OS		Windows® Me/98/98 Second Edition/XP/2000 Professional（日本語版） Mac OS 8.6J/9J/9.1J/9.2JおよびX日本語版 （Mac OS Xの場合、クラシックモードで使用）	MacintoshはUSB（LANモード）接続不可
利用可能OS		Windows®、Macintosh、LinuxなどTCP/IPに対応したOS（WWWブラウザによる設定は、Internet Explorer 4.0以上 Netscape Communicator 4.0（推奨6.1）以上 Net Front for Δ（デルタ）が対応する機器で可能） ただし、ブラウザによる差分およびバージョンによっては、表示等に制限がある場合があります。	
診断機能		自己診断機能	
電源		AC100V±10％　50／60Hz	
消費電力		約10W（最大）	
外形寸法（mm）		約(W)25×(H)215×(D)157	突起部を除く
質量		約0.6kg	オプションを除く
動作環境		温度0～40℃ 湿度10～90％	結露しないこと

※１　外付けのターミナルアダプタやアナログモデムを接続するインタフェース。接続可能機種はホームページを参照してください。
※２　規格による速度を示すものであり、実効速度は異なります。

WARPSTARベースのディップスイッチ

開閉カバーを開けるとディップスイッチ（DIP SW）が見えます。ディップスイッチは以下の①～③の場合にのみ変更してください。それ以外のときは変更しないで工場出荷時の設定でお使いください。

①自己診断するとき（☛P9-13）
②購入したときの状態に戻すとき（☛P9-12）
③HUBモードを利用するとき（☛添付CD-ROM「機能詳細ガイド」「1-3　無線HUBによるネットワーク拡張」）

●ディップスイッチ工場出荷時の設定

▭は、工場出荷時の状態です。

●ディップスイッチの変更

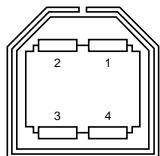
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	内容
OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	通常
OFF	OFF	OFF	**ON**	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	自己診断
OFF	OFF	OFF	**ON**	**ON**	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	購入したときの状態に戻す
OFF	OFF	**ON**	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	HUBモード

▭は、工場出荷時の状態です。

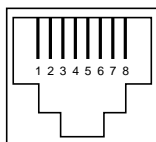
お知らせ

●電源を入れたままでディップスイッチを変更したときは、電源をいったん切って再び入れ直すとディップスイッチの設定が有効になります。

WARPSTAR ベースの USB ポートインタフェース

コネクタ形状

ピン番号	略称
1	Vcc
2	－ D
3	＋ D
4	GND

WARPSTAR ベースの ETHERNET ポートインタフェース

コネクタ形状

●ETHERNET ポート
（100BASE-TX ／ 10BASE-T）

ピン番号	略称	機能
1	RD ＋	受信データ　＋
2	RD －	受信データ　－
3	TD ＋	送信データ　＋
4	NC	未使用
5	NC	未使用
6	TD －	送信データ　－
7	NC	未使用
8	NC	未使用

●ブロードバンド接続ポート

ピン番号	略称	意味
1	TD ＋	送信データ　＋
2	TD －	送信データ　－
3	RD ＋	受信データ　＋
4	NC	未使用
5	NC	未使用
6	RD －	受信データ　－
7	NC	未使用
8	NC	未使用

WARPSTARサテライト（WL11CA）／（WL11U）仕様

■ 仕様一覧

項　目		WL11CA諸元	WL11U諸元	備　考
端末インタフェース		PCカード TYPE II	USB	
無線LAN インタフェース	規格	IEEE802.11b RCR STD-33、ARIB STD-T66		無線LAN標準プロトコル 小電力データ通信システム規格
	周波数帯域／ チャネル	2.4GHz帯（2400～2497MHz）／ ch1～ch14		
	伝送方式	DS-SS方式（スペクトラム直接拡散方式）		
	伝送速度（※1） （Mbps）	11.0/5.5/2.0/1.0		自動フォールバック
	伝送距離	屋外：50m（11Mbps）～115m（1Mbps） 屋内：25m（11Mbps）～50m（1Mbps）		環境により変動
	アンテナ	ダイバーシティアンテナ（内蔵）		
	セキュリティ	ESSID、WEP（WL11C／WL11U：40bit暗号化、WL11CA：128bit暗号化）		
ヒューマンインタフェース		状態表示LED×2		
利用可能端末		PC98-NX、PC-AT互換機		
利用可能OS		Windows® Millennium edition日本語版 Windows® 98日本語版 Windows® 98 Second Edition日本語版 Windows® XP日本語版（※2） Windows® 2000 Professional日本語版		
電源		DC5V×300mA	DC5V×500mA	パソコンから給電
消費電力		約1.5W（最大）	約2.5W（最大）	
外形寸法（mm）（W×H×D）		約54×9×119	約63×146×88	
質量		約0.06kg	約0.18kg	
動作環境		温度0～40℃　湿度10～90％		結露しないこと

※1　規格による速度を示すものであり、実効速度は異なります。
※2　単体で購入された場合は、WARPSTARベースに添付されているCD-ROM収録のソフトウェア、または最新のバージョンのソフトウェアを使用して設定を行ってください。

10
付録

10-2 別売オプション

ワイヤレス LAN セットのオプションとして次の製品を別売しています。

■ワイヤレス LAN カード
Aterm WL11CA（PC-WL/11C(A)）
Aterm WL11C（PC-WL/11C）
WARPSTAR ベースのサテライトとして増設できます。
WBR75H、WDR85FH に装着することでワイヤレス LAN セットと同等の無線機能をご利用になれます。

お知らせ

●ワイヤレス LAN ベース、ワイヤレス LAN セットに同梱の WL11CA では、128bit に対応しています。WEP の 128bit 暗号化が行えます。WL11C では、暗号化は通常の WEP（40bit）になります。

■ワイヤレス LAN USB ボックス
Aterm WL11U（PC-WL/11U）
Aterm WL11U（W）（PC-WL/11U（W））
WARPSTAR ベースのサテライトとして増設できます。
パソコンと USB で接続します。

■ワイヤレス LAN ETHERNET ボックス
Aterm WL11E（PA-WL/11E）
WARPSTAR ベースのサテライトとして増設できます。
パソコンと ETHERNET ケーブルで接続します。

■ワイヤレス LAN 外部アンテナ（PA-WL/ANT1）
電波状態が悪いときなど、WARPSTAR ベースに接続して使用します。

10-3 お問い合わせ・アフターサービス

ホームページ「Aterm Station」

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

インフォメーションサービス

PC クリーンスポットの訪問サポート

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

修理について

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

持ち込み修理先一覧

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

10-4 用語解説

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。さらに詳しくは、添付の CD-ROM に収録されている「ユーティリティ集」の「用語解説」を参照してください。

【アルファベット順】

用語	解説
ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line の略。 上り方向と下り方向の通信速度が非対称な高速データ通信で、すでに一般家庭に普及している電話線を使ってインターネットへの高速（下り 1.5 ～ 9 Mbps）で安価な常時接続環境を提供する。
AtermStation（エータームステーション）	Aterm 関連の情報を提供する NEC のホームページ。 URL は http://121 ware.com/aterm/（平成 14 年 4 月現在）。
BIGLOBE（ビッグローブ）	NEC が運営しているインターネット接続とパソコン通信のサービスプロバイダ。
bps	bit per second の略。通信速度の基本単位。秒当たりに伝送されるビット数。
CATV	Cable Television の略。ケーブルテレビ。 従来のテレビのようにアンテナで電波を受信するのではなく、通信ケーブルに映像／音声をのせるテレビ放送。
DNS(Domain Name System)	IP アドレスではなく、ドメイン名による伝送経路選択をする機能です。
IP アドレス	インターネット接続などの TCP/IP を使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32bit の値をもち、8bit ずつ 10 進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する（例： 192.168.0.10）。
LAN	Local Area Network の略。1 つの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成される小規模なコンピュータネットワーク。
PPP	Point to Point Protocol の略。遠隔地にある 2 台のコンピュータを接続するためのプロトコル。アナログ回線や INS ネット 64 回線を使ってインターネット接続するために使われる。
PPPoA	PPP over ATM の略。高速交換システムで使用される ATM（Asyncronouns Transmission Mode）の上で PPP 通信を行うための接続方式です。ATM 上でダイヤルアップ接続（PPP 接続）と同じように利用者のユーザ名やパスワードのチェックを行います。 ADSL でも PPPoE と並び使用される通信方式です。
PPPoE	PPP over ETHERNET の略。ADSL などの常時接続型サービスで使用されるユーザ認証技術です。ETHERNET 上でダイヤルアップ接続（PPP 接続）と同じように利用者のユーザ名やパスワードのチェックを行います。

【あいうえお順】

【あ行】

アップリンクポート	カスケード接続用ポートとも呼びます。100BASE-TX/10BASE-Tの接続の方向を示すもので、インターネットやWANなどの上位ハブを接続する方向をアップリンクといいます。アップリンクがないハブではクロス変換アダプタ／ケーブルを使ったり変換コネクタを使って切り替えます。

【か行】

クライアント	LANなどを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を受けるコンピュータ。

【さ行】

サーバ	LANなどを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を提供するコンピュータ。インターネット上ではWebサーバがホームページ情報を提供する。

【は行】

プロトコル	通信規約。システム（コンピュータやネットワーク）同士が正しく通信できるようにするための約束事。

【ら行】

ルータ	複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。

10-5 索引

[A ～ Z]

[ア行]

[カ行]

[サ行]

[タ行]

[ナ行]

[ハ行]

[マ行]

[ヤ行]

10
付録

[ラ行]

[ワ行]

● 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

● ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載･無断複写することは禁止されています。
（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り･記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
（4）本装置の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
（5）Atermは、災害時においてライフラインと直結した通信手段の確保を意図した設計がされていますが、せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

Aterm Stationホームページアドレス

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

安心の保守サービス体制

Aterm（エーターム）インフォメーションセンター

この取扱説明書は、エコマーク認定の再生紙を使用しています。

NECアクセステクニカ株式会社
Aterm WDR85FH WBR75H取扱説明書　第4版

ND-23020（J）
第1版
2002年5月

Aterm WDR85FH
Aterm WDR85FH ワイヤレスLANベース
Aterm WDR85FH ワイヤレスLANセット カードタイプ
Aterm WBR75H
Aterm WBR75H ワイヤレスLANベース
Aterm WBR75H ワイヤレスLANセット カードタイプ

ND-22999(J)
第1版
2002年4月

つなぎかたガイド

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されています。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

取扱説明書 P〜 は取扱説明書をご覧ください。

●回線の契約は済んでいますか？
●インターネットを利用するときは、プロバイダ（インターネット接続業者）への加入が必要です。

STEP 1 箱の中身をチェックしよう

不足しているものがありましたら、お買い上げいただいた販売店にご連絡ください。

□WDR85FHまたはWBR75H

WARPSTARベース

□縦置きスタンド

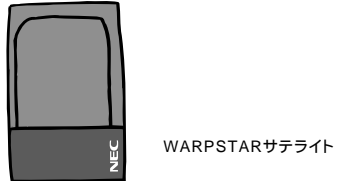
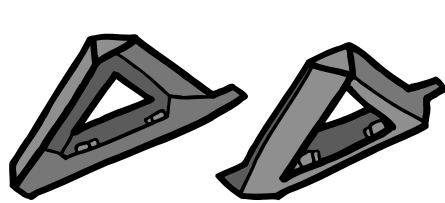
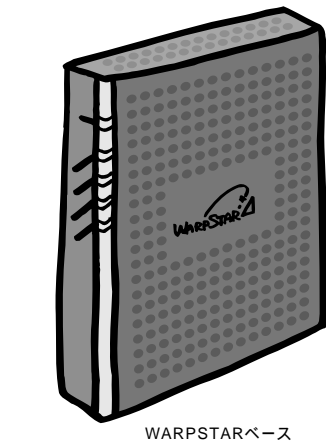
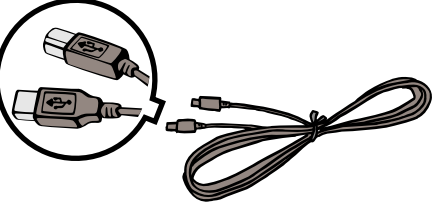
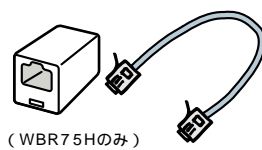
□WL11CA

WARPSTARサテライト

ワイヤレスLANベースにはWL11CAが1つ、ワイヤレスLANセット（カードタイプ）には、WL11CAが2つ同梱されています。WBR75H、WDR85FHには同梱されていません。

□USBケーブル

□スプリッタ

（WDR85FHのみ）
※形状が異なる場合があります。

□クロス変換アダプタ/ケーブル

（WBR75Hのみ）

□ETHERNETケーブル

□ADSL回線ケーブル

（WDR85FHのみ）

□取扱説明書

□つなぎかたガイド

（本書）

□CD-ROM
（ユーティリティ集）

□保証書

□無線注意シール
（ワイヤレスLANセット、ワイヤレスLANベースのみ）

STEP 2 接続しよう

パソコンはまだつながないでください。あとでつなぎます。

WBR75Hの場合

WARPSTARの設定の際に必要になりますので、お使いのブロードバンドモデムの種類を確認しておきましょう。
ブロードバンドモデムには次の種類があります。
● ADSLモデム（ブリッジタイプ）
● ADSLモデム（ルータタイプ）
● CATVケーブルモデム
※ADSL/CATVモデムの電源はあらかじめ入れておきましょう。

WDR85FHの場合

1 縦置きスタンドを取り付ける

4-1 スプリッタを接続する
① 電話機とスプリッタを接続する
電話機の回線種別は電話回線の契約にあわせてください。
② スプリッタとADSL回線を接続する
PHONE / LINE / スプリッタ / MODEM
電話機に付属の電話機コード
添付のADSL回線ケーブル
③ スプリッタとWDR85FHを接続する

4-2 ISDNやアナログ回線に接続する場合は、TAまたはモデムを接続する
シリアルポート
RS232Cケーブル（市販ストレート）
TAまたはモデム

2 アース線を接続する
アース線は添付されていません。別途購入してください。

3 電源コードを接続する

WDR85FHの背面

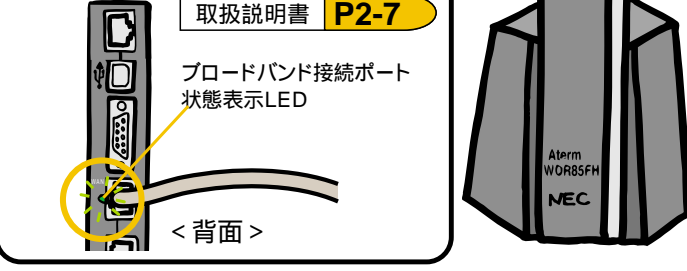
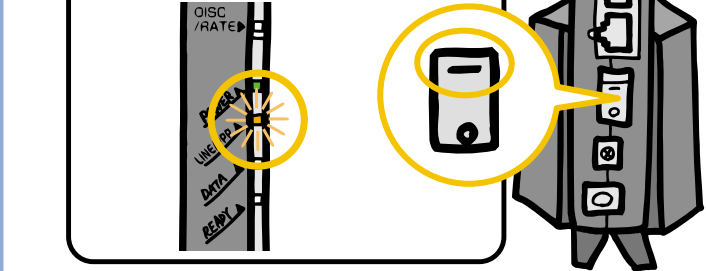
4-3 ワイヤレスLAN通信をする場合は、WL11CAを取り付ける
WDR85FHの電源を切った状態で取り付けてください。
① WDR85FH側面のカバー（拡張カードスロットカバー）を開ける
② WL11CAを拡張カードスロットに奥までしっかりと入れる
③ 拡張カードスロットカバーを元に戻す

STEP 3 電源を入れよう

1 電源スイッチの「ー」側を押す

2 しばらくすると、POWERランプが緑色に点灯する

<WDR85FHの背面>

<WDR85FHの前面>

STEP 4 パソコンを接続しよう

らくらくアシスタントで画面にWARPSTARを接続する旨のメッセージが表示されるまで、USBケーブル／ワイヤレスLANカードはパソコンに接続しないでください。

WARPSTARの設定方法には、「らくらくアシスタント」と「クイック設定Web」があります。
パソコンを接続するポートに合わせて設定方法を選んでください。

WARPSTARベースのETHERNETポートに接続する場合は

らくらくアシスタントをインストールして、パソコンとWARPSTARの設定を簡単に行うことができます。
また、ドライバのインストールが不要なので、ゲーム機からも、ブラウザが使用できれば、クイック設定Webで設定を行うことができます。
クイック設定Webで設定する場合は裏面の「クイック設定Webでかんたん設定」をご覧ください。

WARPSTARベースのUSB-LANポート、WL11U、WL11CAに接続する場合は

パソコンにドライバのインストールが必要なので、パソコンに接続する前に、らくらくアシスタントをインストールして設定します。

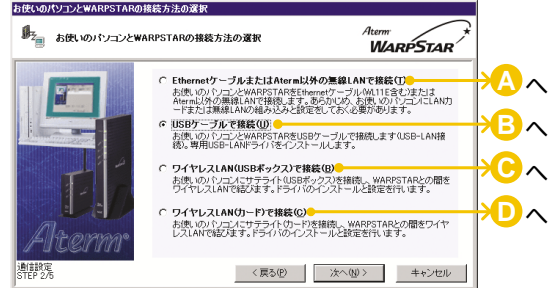
裏面の手順にすすみます。

裏面につづく

STEP ④ のつづき

らくらくアシスタントで設定する

① パソコンを起動して、添付CD-ROM（ユーティリティ集）をCD-ROMドライブに入れる
② メニュー画面から[らくらくアシスタントのインストール]をクリックする
③ インストール画面に従ってインストールする
④ らくらくアシスタントの画面に従って設定する

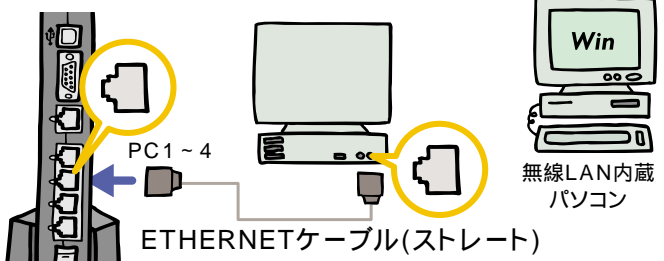
詳細は取扱説明書をご覧ください　取扱説明書 P3-9, 3-12, 3-20

※画面の指示があるまでUSBケーブル／ワイヤレスLANカードをパソコンと接続しないでください。

2台目以降のパソコンの場合は、STEP ④「パソコンを接続しよう」の手順を行ってください。1台目のパソコンで設定したインターネットの接続先の設定を利用して、インターネットに接続できます。

Ⓐ WARPSTARのETHERNETポートまたはAterm以外の無線LANにパソコンを接続する場合

➡「ETHERNETケーブルで接続」を選択　取扱説明書 P3-2

＜WARPSTARの背面＞　＜パソコンの背面＞

PC1～4
ETHERNETケーブル(ストレート)
無線LAN内蔵パソコン

※正しくETHERNETケーブルが接続されているか、ETHERNETポート状態表示LEDが緑色に点灯することを確認してください。
※他の無線LAN内蔵パソコン、WL11Eの場合も「ETHERNETケーブルで接続」を選択します。
※あらかじめ、お使いのパソコンにLANカード、または無線LANの組み込みと設定をしておく必要があります。
LANカード、無線LANの組み込みと設定方法はそれぞれの取扱説明書を参照してください。

Ⓑ WARPSTARのUSB-LANポートにパソコンを接続する場合

➡「USBケーブルで接続」を選択　取扱説明書 P3-11

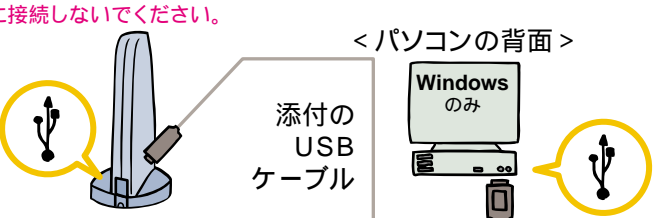
画面にWARPSTARを接続する旨のメッセージが表示されるまではパソコンに接続しないでください。

＜WARPSTARの背面＞　＜パソコンの背面＞

Windowsのみ
添付のUSBケーブル

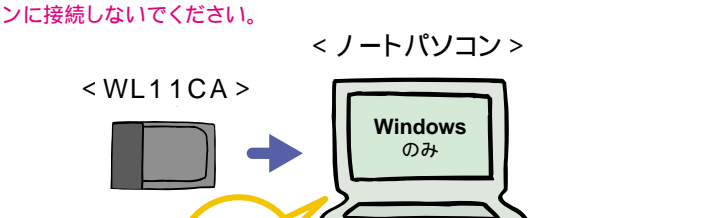
Ⓒ WL11Uにパソコンを接続する場合

➡「ワイヤレスLAN（USBボックス）で接続」を選択　取扱説明書 P3-15

画面にWARPSTARを接続する旨のメッセージが表示されるまではパソコンに接続しないでください。

※設定の途中で「ネットワークが見つかりません」と表示された場合は、WERPSTARベースの電源を入れ直したあと、[ネットワークの参照]ボタンをクリックしてください。　取扱説明書 P3-22

Ⓓ WL11CAをノートパソコンに取り付ける場合

➡「ワイヤレスLAN（カード）で接続」を選択　取扱説明書 P3-14

画面にWARPSTARを接続する旨のメッセージが表示されるまではパソコンに接続しないでください。

「クイック設定Web」でかんたん設定

クイック設定Webでは、Internet Explorer4.0以上やNetscape Communicator4.0以上、Net Front ForΔ（デルタ）のブラウザを使ってWARPSTARの基本的な設定をすることができます。あらかじめパソコンとWARPSTARを接続しておきましょう。

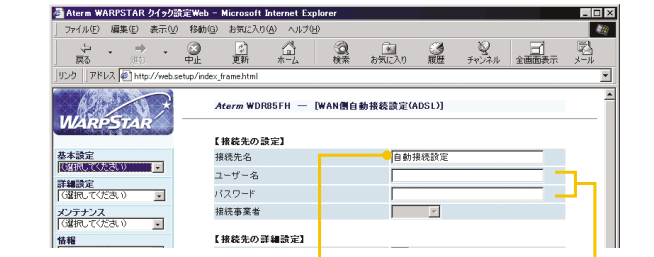
詳細は取扱説明書をご覧ください　取扱説明書 P6-2

①ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定Webのページを開く
WARPSTARベースのIPアドレスを入力して開くこともできます。
（工場出荷状態は「http://192.168.0.1/」）
② 初めて設定する際、管理者パスワードを設定し、[設定]をクリックする
③ ユーザ名に「admin」と入力し、パスワードの欄に管理者用パスワードを入力して、[OK]をクリックする
④ [基本設定]の▼をクリックし、[基本設定]を選択し、次の設定を行う

[内蔵ADSL]モデムを使用するかどうかの設定をします。（WDR85FHのみ）
[動作モード]を設定します。（接続回線と動作モードについては STEP ⑤ を参照してください）
[自動接続]を[する]に設定します。（STEP ⑥ の設定は不要です。[しない]に設定するとアクセスマネージャでのみ接続できるようになります。）

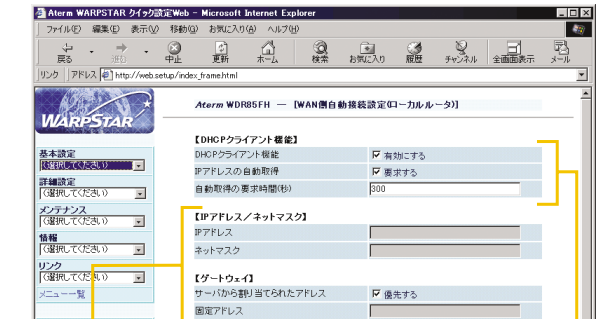
⑤ 入力が完了したら、[設定]をクリックする
⑥ [基本設定]の▼をクリックし、[WAN側自動接続設定]をクリックする
プロバイダまたは接続事業者の設定情報を見ながら設定します。

ADSL（PPPoE/PPPoA）モードで接続する場合

※WDR85FHの内蔵ADSLモデムを利用する場合やフレッツADSL、Bフレッツなどで、PPPoE利用のブリッジタイプADSLモデムを接続する場合

[接続先名]にプロバイダの名称を任意に入力します。

[ユーザー名]/[パスワード]を接続事業者/プロバイダの資料に従って入力します（「ログインID（ユーザーID）」はxxxx@biglobe.ne.jpなど）。

ローカルルータモードで接続する場合

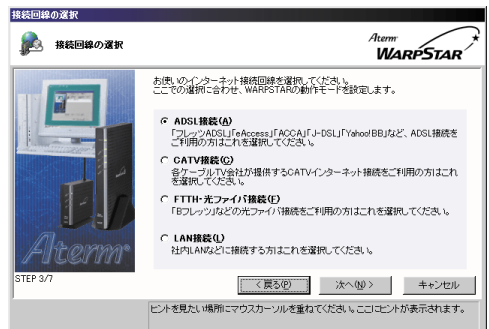
※Yahoo!BBなど、ルータタイプADSLモデムをご利用の場合や各種CATVケーブルモデムを接続する場合

WARPSTARのWAN側をブロードバンド通信網のDHCPクライアントとして利用するかどうかを設定します。

プロバイダまたは接続事業者から指定されている場合は、IPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイを設定します。WAN側をDHCPクライアントとして使用する場合は、特に指定する必要はありません。
※ホスト名、ドメイン名の指定が必要な場合があります。

⑦ 入力が完了したら、[設定]をクリックする
⑧ [登録]をクリックする
WARPSTARベースの前面の各ランプが点滅して、WARPSTARベースが再起動します。
⑨ インターネットに接続する
外部のホームページを開くことでインターネットに自動接続できます。
例）Aterm Stationのホームページ　http://121ware.com/aterm/（左側メニューのリンクでAterm Stationを選択）
※自動接続の場合は、アクセスマネージャがタスクトレイに常駐していると接続できません。
インターネットに接続できているかどうかは、前面のDISCランプが緑色に点灯していることで確認できます。

「らくらくアシスタント」で設定した場合は、STEP ⑤「接続回線を設定する」に進んでください。

STEP 5 接続回線を設定する

①[接続回線の選択とWARPSTARベースの動作設定]をクリックして、画面の指示に従って設定する
②[接続回線の選択]、[WARPSTARの動作モードの選択]のところでは接続回線にあわせて次のように選択する

接続回線	WARPSTARの動作モード
内蔵ADSLモデムを使う	[PPPoEモード]
	[PPPoAモード]
ADSLモデムに接続	[PPPoEモード]（フレッツ・ADSLなどPPPoE対応ブリッジタイプ）
	[ローカルルータモード]（Yahoo! BBなどルータタイプ）
CATVケーブルモデム	[ローカルルータモード]
FTTH・光ファイバなど	[PPPoEモード]（BフレッツなどPPPoE接続）
	[ローカルルータモード]（IP接続）
既存のLAN	[ローカルルータモード]

※無線HUBモードでご利用になる場合は　取扱説明書 P8-28

STEP 6 インターネットに接続しよう

①インターネット接続を設定する　取扱説明書 P4-1

Win　らくらくアシスタントの[インストール時の設定]で[インターネット接続先の登録]をクリックして設定を行います。

Mac　らくらくアシスタントのメニュー画面から[初期導入時の設定]の[インターネット接続先の登録]をクリックして設定を行います。

②インターネットに接続する　取扱説明書 P5-1

アクセスマネージャを起動して、メニュー画面から[接続]をクリックし、インターネットに接続します。

インターネットに接続できないときは
取扱説明書 P9-2　CD-ROM お困りのときは

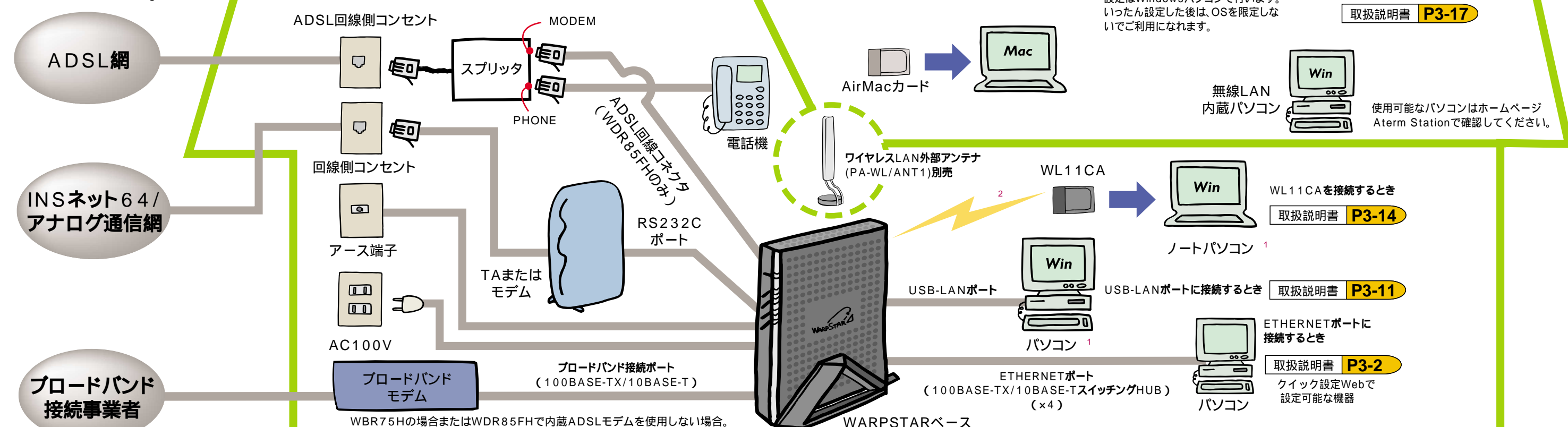
※ アクセスマネージャを使用しない場合は、「クイック設定Web」による接続先の登録が必要です。

セキュリティの設定をしよう

WARPSTARには、ブロードバンド（CATV/ADSL網）からの不正なアクセスを防ぐWAN側のセキュリティ機能と、無線ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されたりしないためのワイヤレスLAN内ネットワークセキュリティ機能があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。

● WAN側セキュリティの設定
IPパケットフィルタリング　取扱説明書 P7-3
IPマスカレード（アドバンスドNAT）　取扱説明書 P7-7
● ワイヤレスLANネットワーク内のセキュリティ機能　取扱説明書 P7-12

つなぎかたいろいろ

お買い上げいただいたWARPSTARには、全部でこれだけつなぐことができます。

裏面からの「つなぎかたガイド」を見て接続してください。
※ 接続できるパソコンは全部で32台までです。
10台以下でのご使用を推奨します。

※1　これらのパソコンはWindows® Me/98/XP/2000のみ対応です。Macintoshはご利用になれません。
※2　WARPSTARベースにWL11CAを装着すると、ワイヤレスLAN通信がご利用できます。パソコン側には、別にサテライト（別売のWL11UやWL11CA、WL11C、WL11E）が必要です。
WARPSTARベースからWL11UまたはWL11CA、WL11C、WL11Eに電波が届くのは、屋内で25～50m、屋外で50～115mです（環境により変わります）。
電波状態が悪いときは、別売のワイヤレスLAN外部アンテナ（PA-WL/ANT1）（121ware（http://121ware.com/）で購入可能）をご使用ください。
ただし、周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋、防音壁、断熱壁）などにより、改善状況は異なります。